令和 7 年度

大阪市立科学館外壁補修その他工事

設 計 書

工事期限

令和8年1月30日

地方独立行政法人大阪市博物館機構

建設リサイクル法

●適用

○適用外

概要

工事場所

大阪市北区中之島 4-2-1 大阪市立科学館 (電話) 06-6444-5656

工事概要

本工事は、建築基準法第12条点検結果による外壁仕上の落下を防止するための工事である。

付 記

- ・本工事は、本設計書及び設計図面に基づくほか、国土交通省大臣官 房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書最新版」、「公共建築改 修工事標準仕様書最新版」、及び「公共建築設備工事標準図最新版」 に基づいて施工しなければならない。
- ・本契約において、工事を下請負に付する場合には、下請け人が大阪 市競争入札参加停止措置要綱に基づく競争入札参加停止期間中で ないこと。

前 払 金

前払いが必要な場合は、保証事業会社と前払金保証契約を締結する こと。前払金は契約金額の10分の3以内の範囲とする。

仕 様 書

1. 工事内容

本工事は、大阪市立科学館(以下、「当館」という。)の外壁補修を行うため、以下の工事を行うものである。

- ・タイル貼外壁部分再打診の結果、外壁の浮き(接着不良)が確認された部分についてピン止め補修を行う。
- ・詳細内容については特記仕様書参照。

2. 作業日時等

- (1) 作業時間は、原則として午前9時~午後5時30分(当館退出時間)までとする。 やむを得ず、時間外に工事を行う場合は、監督職員と協議すること。
- (2) 工事実施時期については監督職員と協議の上実施することとし、その都度、館内工事届を提出すること。

3. 特記事項

- (1) 工事を行う際は作業靴に履き替えるなど、汚れを廊下等に持ち込まないよう配慮すること。
- (2) 外部との出入口の扉・シャッターの開閉は、害虫等の侵入を防ぐため迅速に行うこと。
- (3) 工事前にピン止め補修(タイル斫り含)について、本工事と同様の作業(作業人数含)を想定して試験施工を行い、工事により発生する音が当館の業務に影響しない事を確認する事。(最終ピン打ち込み音確認含む)
- (4) 当館開館期間中に工事を行うため、工事中に開館している事がわかる表示を行う事。
- (5) 当館設備等を使用する場合は事前に動作確認を行う事。(ゴンドラ等)

4. 一般事項

(1) 提出書類等

提出書類について、あらかじめ監督職員と打合せのうえ、必要書類を提出すること。

1	工事着手届	•		•		•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•				•	1部
2	内訳明細書	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1部
3	現場代理人・主	任(監理	里)	技	術	者届	i		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1部
4	工事工程表	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1部
(5)	使用機器材承認	願		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1部
6	製作図、施工図		•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1部
7	作業責任体制、緊	※急	連絡	各さ	系 統	范、	事故	(発	生	時	0	状	況	٤	対	応	0)	報	告	書		•	1部
8	その他、法的に	定と	から	れ	た	提	出書	類			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1部

(2) 現場工事

① 工事従事者

現場代理人は、常に現場の責任体制を明確にさせておくとともに、工事中は現場 代理人または主任(監理)技術者が現場に立ち会うものとする。また、工事に従事す る要員は、十分な経験と技能を有するものとし、名札、腕章等身分の分かるものを 着用すること。

② 工程打合せ

工事を実施する場合は、事前に定期に工程打合せを行うこと。打合せ議事録は要約して、速やかに提出すること。また、工事の進捗状況を、書面で報告すること。 ※万博開催期間中及び、科学館繁忙期を考慮した工程とするため、事前に工程発注者と打合せをする事。

③ 法令等の遵守

建設リサイクル法、大気汚染防止法、労働安全衛生法など関係法令を遵守して施工すること。

④ 官公庁その他手続き

受注者は、施工に関して、法令等による官公庁その他手続きを行うこと。 なお、必要な事項は、監督職員と打合せの上処理し、結果を速やかに報告すること。

⑤ 損傷補償等

工事はすべて受注者の責任施工とし損傷補償は次による。

- a. 工事施工にあたり、既存建物に損傷を与えたり、当館敷地外の土地を踏み荒ら したり道路に損傷を与えるなど部外者(一般職員、来館者等)に与えた損傷に対 する保証は受注者の負担とする。
- b. 機器材料の運搬、その他施工にあたり、既存建物および設備等に損傷を与えないよう注意し、万一破損した場合は監督職員の指示に従い、無償で速やかに原形に修復する。
- c. 工事において、既存建物のはつり、孔あけなどを行う場合は、事前に打ち合わせを行い、防災上、構造上問題なく施工するとともに、監督職員の業務に支障のないよう実施して、体裁よく修復する。

⑥ 撤去材の処理

本工事で発生した撤去材は、受注者の責任で場外搬出処分する。

- ⑦ 工事用電力・水その他
 - a. 本工事に必要な工事用電力、水等の費用は当館の既設電力・水道の使用を認めるものとする。但し、その受給に必要な設備は受注者負担とする。
 - b. 工事用の仮設電源を使用する場合、現場代理人または主任(監理)技術者は使用する電動工具等の機器類の安全性を確認した後、漏電遮断器付コードリール等を中継して使用する。

(3) 工事終了後の処理

受注者は、工事終了後、次の処理を行う。

① 受注者により行った官公庁、その他の手続きの処理を速やかに完了し、監督職員に報告する。

② 工事用設備・器具などは、工事終了時と同時に速やかに現場から搬出して、その 現場をもとの状態に復旧し、十分な清掃を行うこと。

(4) 工事完成図書

工事が完成した際には、下記書類を提出する。

1	工事完成届 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2部
2	完成工事費内訳明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 部
3	完成図書(竣工図、施工図など) ・・・・・・・・・	2部
4	完成図 CAD データ(JW-CAD 及び DXF 形式、ウイルスチェックの上)	
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2枚
(5)	納入機器仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2部
6	機器製作図・カタログ・取扱説明書・・・・・・・・・・	2部
7	試験成績書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2部
8	工事写真(施工前、施工途中、施工後)・・・・・・・・	2部
9	官公庁届出書類など、保存を必要とするもの・・・・・・	2部

⑩ 上記書類のPDFデータ(ウイルスチェックの上) ・・・・ CD 2枚

(5) 注意事項

① 作業方法等

- a. 工事の実施にあたっては、監督職員に事前に調整を行うこと。
- b. 工事車両の進入及び工事に際し当館利用者等の安全について充分に注意すること。なお、工事車両駐車場及び資材置き場等については、事前に監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
- c. 入館にあたっては、当館の規則に従い、必要書類を事前に監督職員に提出する。また、作業日毎に作業の内容を伝え、作業終了時には報告を行うこと。
- d. 作業の進め方については、当館の中央監視室との調整が必要な場合があるため、監督職員に事前に確認し、関係各所への周知と了解のもと実施する。
- e. 電源切替等により停電を伴う作業等が必要な場合は、当館の運営に影響が出ないよう十分検討したうえで、事前に監督職員に説明し了解のもと実施する。
- f. 主要な建具・機器・配線等は、メンテナンスを考慮した作業スペースの確保 や、配線では要所に線名札を設置する。

また、配管・配線、その他の工事において、防火区画貫通部の施工がある場合は、関係法令に適合したもので、貫通部に適合するよう施工すること。

- g. 施工時は、既存施設、設置物等に作業範囲毎に適切な養生を行い、汚れや損傷 がないよう注意する。
- h. 施工終了時は、施工状態を確認するとともに、工事現場の後片付け、清掃を行う。
- i. 業務の実施に伴い発生した産業廃棄物等は、積み込みから最終処分までを 産業廃棄物処理業者に委託し、マニフェスト交付を経て適正に処理すること。

② 安全対策等

- a. 作業にあたり、当該建物、設備はもとより、部外者(一般職員、来館者等)に 危害、損害または妨害を与えないよう十分留意すること。
- b. 作業期間中は、毎日作業前に危険予知や危機管理に関する確認作業、作業内容 や手順の確認、作業員の健康状態の確認、服装点検、危険個所等の確認を行い、

安全の確保に努めること。労働安全衛生法など関係法令に基づき、以下のような必要な措置をとること。

- 安全教育、安全巡視等
- · 現場KY活動
- ・ 安全帯 (高所作業時) など安全用具の装備
- ・ 工事中であること及び工事場所への立ち入り禁止など、注意事項を明示する。
- ・ 地震時の機材転倒防止や電源工事の感電防止など、災害・電気事故防止対策 等を確実に行うこと。
- c. 作業に使用する工具、仮設材は、事前に点検し安全を確かめて使用すること。 また、常に点検整備に務め、目的に合った使用を行うこと。
- d. 工事期間中に搬入した資材等は、安全な場所に整理した状態で仮置きすること。 なお、搬入・搬出方法、保管場所については、監督職員と協議して決定する。
- e. 作業者は、定められた区域以外には無断で立ち入りせず、工事に関して立ち入る必要がある場合は監督職員に連絡し、その指示のもとで行動すること。また、工事エリアは、部外者(一般職員、来館者等)が不用意に近づけないよう防護措置を施すこと。
- f. 当館内及び敷地内は、禁煙とする。
- g. 所定時間外に作業を行う場合は、監督職員に事前に連絡し、許可を受けたうえで行うこと。
- h. 現場代理人または主任(監理)技術者がやむを得ず現場を離れる場合は、その理由を監督職員に連絡して了承を得るとともに、現場代理人または主任(監理)技術者が指名した者が代行すること。
- i. 危険物(塗料など)は、事前に監督職員と打合せを行い、当館内には当日作業 に必要な最低限の量を持ち込み作業終了後は当館外へ搬出するなど、当館内の安 全確保を徹底して、法的に定められた使用及び管理を行うこと。
- j. 作業等に際しては、原則として火気は使用しない。やむを得ず火気を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を得るものとし、その取扱いに際しては十分 注意するとともに、作業後の火気点検、施錠確認を徹底すること。
- k. 作業者は、作業に適した服装、作業靴を着用して作業すること。
- 1. 工事に関して、部外者(一般職員、来館者)から問い合わせや苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応するとともに監督職員に報告すること。
- (6) 記載のない事項

仕様書、設計図面等に記載のない事項については、監督職員に確認するとともに、 その指示を受け承認を得たうえで実施すること。

(7) 軽微な変更

工事実施にあたって、軽微な事項については、工事達成に支障なく、また、他の工作物に支障を生じない限り、監督職員の指示又は確認を得た後に行うことができるものとする。この場合契約金額の変更はしない。

(8) 他工事業者との協力

他業者の請負工事と本請負工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないように相互に工事上の配慮・協力を行うこと。

(9) その他

業務内容に疑義が生じた時や不明な点があれば、監督職員と調整すること。

5. 担当·提出先

大阪市中央区大手前 3-1-43 ホテルプリムローズ大阪 3 階 地方独立行政法人 大阪市博物館機構

事務局 (施設管理課)

TEL: 06-6940-4301

大阪市立科学館外壁補修その他工事

·	公共政策工	李標準仕標書(遺襲工事編)		(イ) 足場・運搬設備・標重設備・工事用電力・工事用給排水の利用	●1.1.18	ろえ 指走っつだっ 一人	NOTALIZENHESEL HOD	等の電子媒体により提出する。
I. 工事都要	章 项目			(ウ)貫通孔などの設置、ボルト、インサートなどの取り付け	書類の電子情			中における工事データの共有を指
1.工事場所 (地名地番) (住居表示)大阪府大阪市北区中之島 4-2-1	1	1.節 一般事項		(工) 関連別途工事用の機器、材料の取り込みに必要な搬入口・通路などの設	Malt.		者と協議の上その利用を行	
(注版数小/ A版作 A版作业商生之 6	章 [置換]	(ケ)「監理者に提出」とは、受注者等が監理者に対し、工事にかかわる書面又は		(土) 高足が圧工事内の機能、利用の取りたのにを安み載入口・短右などの数	nui c		が紙面で指示した証券も全	
2.製地面積 15,086.75 m²	●1.1.2	その他の資料に日付を明記し、受注者押印のうえ説明し、差し出すことをいう。		■ *7元/* (才) 施工図・施工計画書などの作成に際し、関連別途工事との取り合い・耕まり		(a) ADEA KUAKINA	TO MARCHA CARRIED STATE OF THE PARTY OF THE	E C7 > 10 = 18/17 9 *0 *
3工事糧目	一 用語の定義			などについて総合図を作成し、十分調整する。	C ± 301	(1) 当該連物を発注を	かろり渡したのち、工事語	賃契約に定める契約不適合創位
○ 本事権日 ○ 新聚 ○ 増聚 ○ む聚 ● その他(外壁 む 移)	8070-90-2000	(ネ)「材料」とは、工事に使用する機器・材料・製品を総称していう。		(カ)工期内に実施する必要のある関連別途工事は、相互間の工事調整に協力	O1.1.19	及び横邦に関する調		
	40-	(ノ)「受注者の検査」とは、工事の各段階で、材料または施工などについて受注者			建物经年調查		:下記による。(工事請負契	约条件を確認)
1 連続工事仕場	1~1	等自らが設計図書等との通否を判断することをいう。		to.			0.54 0.104	
1. 共通仕様	#	(ハ)「発注者」とは、受注者と工事請負契約を締結した者をいう。		(4) 関連別途工事の扱いは以下による。				「立東し、1 か月前までに監理者と
(1)図画及び特配仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕御監修の「公共建	2	(ヒ) 標準性機會及び特別性機會に記載の「監督職長」は「監理者」と読み替える。		○開達別途工事の業者と十分調整を取り、工事、検査、引渡Lに支障の無いよ		協議する。	-10000000000000000000000000000000000000	
聚工事標準仕機書(建聚工事編)(最新版)」(以下、「標仕」という。)による。		(プ)監理者とは、工事請負契約約款に規定される監理者の業務を委任されたも		うにすること。工事期間中に予定する関連別途工事は以下の通りとする。			(- Managa Septe F	と理者及び発生者に提出する。
(2)その他の通用図書類は下記による。「最新版」とは図面発行時点に刊行されている最新版とする。	, AEL	A STANDARD AND A STANDARD CONTRACTOR AND A STANDARD CONTRACTOR AND A STANDARD AND		〇情報、通信工事(連物引き込み部)				か記されて記された場合は、受注者
■ 民間(七余)運合協定工事請負契約約款に適合した工事共適仕様書(最新版)	L_I	のをいう。		〇什祭、備品設置工事				
(以下、「共仕」という。)	季	(ヘ)「同等品」とは、設計図書に記載された「要求性能・品質」を持つことを証明さ		○テナントエ事			Jつえ、建やかに工事請負	(契約に基づいて通切な対応を行
● 日本建築学会建築工事際學士禄書・同解説(JASS)		れたものをいう。		(3)関連工事と関係のある工程調整については、総合工程表を作成し、十分調整する。		₹.		
 連聚工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕卸整備課監修 最新版) 	-78	(水)「参考図」とは、設計図書に添付した図において品質や特性、形状、工法など		2000	Ci≜Xo1	1910/12001-12001 - 000000200		
■ 工事写画機影がイドブック(一般社団法人、公共連築協会 最新版)		を参考として一例を記載したものである。したがってすべての要求性能を表して	●1.1.8 疑義に対する		O1.1.20			根影、写真撮影、響板及び横断幕機
	11	いるものではなく、また、その材料や形状、工法、システム等についても特定の製	協議等	(4)設計図書における疑義は、工事請負契約締結前に質問回答書をもつて確認済みとする。請負契約締結後に疑義が発見された場合、原則として請負代金の増額及び	営業協力	示、プレス対応、顧う	各対応 (資料作成、説明、)	現場素内等)等、発注者の事業に協
○ 泉地調査共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕削監修 最新版)	11	造者、専門工事業者を示すものではない。		する。 請負人の利用を使い、機構が、元元でいる場合、原則とは C請負性をいる機能の 工期変更は行わない。	DOM: NAME OF	カする。		
鉄助コンクリート構造配助長額(建設大臣官房官庁営権制監修 最新版)	11	(マ) 標準性除書の「承諾」は「強認」と読み替える		(3)設計図書に代表箇所のみが表示され、その他の部分が省略されている場合は、代		項目	世様	数量
〇 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(日本連繁学会 最新版)		(3)「総合図」とは意匠、構造、設備の設計情報を一元化した図面をいう。		表的箇所に準じて施工する。		写真機影	〇内観 〇外観	typh .
○ 建聚鉄骨設計基準及び同解説(連設大臣官房官庁営機制監修 最新版)	11	(五) 「設計者」とは本設計図を作成した者をいう。		(6)図面に表示されていない事項でも、技術上、施工上、もしくは保安上欠くことのでき		パンフレット制作	OAS O	4 II
○ 建聚材料·設備機材等品質性能評価事業 建聚材料等評価名簿(最新版)				ない物は、監理者と協議の上、語負者の責任において施工する。		看板·横斯華制作	長さm x 高さm	枚
● 公共建築改修工事標準仕機書(建築工事編)	●1.1.3	[建記]				その他		
(国土交通省大臣官房官庁営籍部監修 最新版)	官公署その	の他 (4)工事にあたり、必要な官公署その他への手続き(協議・届出・申請、竣工までの	[達加]	(1) 図面及び参考資料に記載のない地中障害物の撤去工事が発生した場合は下		Coaliz		
 連緊物解体工事共通仕機書·同解說(国土交通省大臣官房官庁當轄卸監修 最新版)	への届出き		O1.1.14	記による。		(a) The self some		#1-14-L-#-7
● 連聚衣修工事監理指針(上·下卷)(国土交通省大臣官房官庁當補創監修 最新版)	*	に要する一切の費用は受注者負担とする。(発注者の都合による設計変更に起	地中障害物	※別逸循算とする 〇本工事に含む		(2) 支注者は、光注者は	の広帆活動、見学者対応等	#-1~16673'9 ·O₁
■ 営籍工事電子輸品要額(素)(国土交通省大臣官房官庁営籍部 最新版)	···				C ± 301	THE SHEAR	(物类型由性 医单苯基由	告等に関し、図面作成等協力する。
 連股工事に伴う騒音振動対策技術指針(連設省大臣官房技術参事官通道 昭和 823 改正) 		因する関係官庁への構造評定・確認申請に関する届出は除くが、施工上の都合		(2) 前(1)項の地中障害物の種類、数量等を記録し、工期に影響する場合は、監理	O1.1.21	AMERICA, TOTAL OF	加重配子網、李素可配子	日本に関係、四周に次年間のうる。
● 手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 最新版)	11	により必要な同手続きはこれに含む)なお、協議による想定外の仮設計画、エー		者・発生者と協議を行う。	登記·事務所、	į.		
参考图書		法が必要になった場合はすべて本工事に含まれるものとは、費用は受注者の負			税対応への協	ĺ		
● 連黎工事監理指針(上·下卷)(国土交通省大臣官房官庁営繕舶監修、長新版)		担とする。	[達加]	(1) 土壌汚染状烷調査	998	i		
○ 総合図作成ガイドライン 日本連聚士会連合会 最新版		(3) 工事の各段階に必要な官公署その他への各種申請または届出の種別・手穂	O1.1.15	〇本工事に含む	C差和]	当該建物に関し、発注	者が下記の補助金申請を	行5場合,受注者は図面作成、見種
○ 建築工事標準性機會连續與安全·品質管理欄		き・時期などをあらかじめ調査したうえで、一覧表を作成して監理者に提出する。	83	253 27 27373	O1.1.22	内积害作成。现场就会	r対応等に関し、発注者にti	6力する。
○ 建聚工事學學性除書達補販通信事故防止管理編)	11	(4) 建築性器中語書の作成及びその中語書の行動庁等。の提出・対応等は。	土壤污染対象		福助金申請業 務への協力	0	14.12.47.100-47.20.20.10	
\$20050075150000009900000000000000000000000	11	()**₹₹5 •	工事	※調査結果の上協議とする 〇本工事に含む	48, -03 (8) 23	0		
		その他、()の手機をは()が行い、その費用負	[達加]	70 十十万五十十万日元十十四四十 机制度量 日本元明章五十二十二十二		- 1	- 12	
2. 特記仕様		但b()45行う。	●1,1,15	(1) 本工事及び工事別の施工範囲は、設計図書・見積長編書及び添付資料による。	Ci≜Xo1	NAME TO A CONTRACT		
(1)特配仕様は標準仕様書を基に特に記すこと、追加、追記、置機する内容を示すものである。		(7) 工事の各段階に必要な官公署その他関係機関の立会検査や審査のうち、発生	工事範囲及び		O1.1.23			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
(2)項目は、番号に ●印の付いたものを適用する。○印のついたものは適用しない。		者が申請者となるもの(以下、法定検査という)について、その種別・手粮・時期・	工事費に含まれる費用		無價保守期間			に、下記設備の無償保守を行
		実施内容などをあらかじめ調査し、一覧表を作成して発注者及び監理者に提出	400 a m	(2) 本工事に必要な下記工事及び費用は本工事に含まれる。			詳細を示した「設備メンテナ	ナンス計画書」を発注者に提出し発誘
(3)項目欄、特配仕機欄に参印、※印のある場合の適用は下記による。		する。法定検査には、次を含む。		(ア)施工、材料及び製品の試験、見本等の作成、検査に要する費用。		を得る。		
(4)項目標に●印のついたものは本特記は除書を通用する。		MARCHALL ARROBERT STATE		(イ)工事施工に必要な敷地周辺の障害となるものの移設と復旧。		建物引渡し後の保守業	務の実施にあたっては、対	動物管理者と協議し、その指示に従う
(6)特別仕様欄に●印のついたものを適用する。	11	性能検証法道応の有無 〇有 ※無		(ウ) 工事用機器、材料などの取り入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれらに		ものとする。		
●印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 		○階段報安全検証法 (○ルートロ ○ルートの) 適用する階は以下による		伴う補強、及び後片付け。		○昇降機設備(フルメ	ンテナンス)	
●印と※印がともについた場合は、●印を適用する。(4)特記事項に記載の項目番号(章、節、		CHARLES TRIBE (CON-10 CON-10) SHITT SHEEK THESE		(3)電力、ガス、上下水道などの引き込み負担金。特に工事期間中の下水道使用料金		○機械駐車鉄備(フル	メンテナンス)	
「張晋)は、陳仕の当該項目、当該図文は当該表を示す。	11	〇 全前設概支全接近 (〇川一ト日 - ※川一トG)		の算由・負担金。工事区分表参照。		○ゴンドラ設備 (フルノ	<i>/ンテナンス</i>)	
(5)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。				(4) 検査に関する結費用		○自動ドア/回転ドア ((フルメンテナンス)	
また()内は製品名を示す。	11	○耐火性急慢征法 (○ルート日 ○ルートG)		(5) 本工事連物内外の関連別途工事との調整、協議、協力		○電動シャッター(引)	胰山後、5回以上点後)	
(6) 四は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調通品目を示す。		○防火区画検証法 (○ルート日 ※ルートで)		(3) 近接施工協議		○その他 (3	
(7)厚仕にない項目番号・特記事項は、本工事において追加した項目番号であり、[追加]と表記する。	O1.1.4	※海田オス の海田(から		(ガ) 工事に起因する道路復旧工事		i		
(6) 存仕に特記事項が配載されていても、付け加える文章がある場合には、[達記]と表記する。	工事実積行	※適用する 〇適用しない		(8) その他発注者の指示による	[達加]	〇 建築基準法に基づ	人民圧区分等を必要とす に	が場合は構造概要書による。
(9) 存せに特記事項が記載されていても、文章をすべて、または一部を置き換える場合には、[置換]	# - E				●1.1.24		大風圧区分等を必要とする	
と表記する。	(CORINS)		[進加]	(1) 機器・材料・施工・工事が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、	品質計画	·風建 V0= <u>34</u>	L_n/s	
	登録	***	●1.1.17	それらについての施工図・工作図・製作図・見本などに対する監理者の確認、あ			OI OI OII O	
	O1.1.7	[建記]	監理者の報	を るいはそれらに対する監理者の検査文は試験は、受注者の責任を軽減するもの		・横雪区分 煙舌	i示第1495号 別表(
	開連工事等		認・検査・試験	e eltán.	G ≜ X01	(1)禁工に失さる。ま!	見(ア)~(オ)の事情及び	監理者の指示する事項について、現
	99999 SA		の在り方	(2) 施工に用いられ文は当談建物に組み込まれた製品の欠陥文はこれに残する原	●1.1.25			を注着の指示する事場について、例 画にまとの連やかに監理者に報告す
	調整	() (3)本工事の「関連別途工事」は下記とする		因による品質上・性能上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、当該部	現地調查			
	11	The state of the s		位についての施工図・工作図・製作図・見本などに対する監理者の確認、あるい			果は仮設計画に十分に反映 よって影響を受ける可能は	見させる。 性のある項目について行い、その現
	 	£ 1		はそれらに対する監理者の検査又は試験は受圧者の責任を経現するものでは			必要に応じて調査書を作成	
	11	(4) 別に走めのない限り、関連別途工事の受注者に対し、次のものについて調整・		はてからに対する基準者の保証メルが取り支持者の責任を経過するものでは、 ない。				國、支持杭の有無、常水位等)、周辺
		貸与し、円滑な統括管理を図る。これらに関する費用の負担は、工事費に含むも		944.1				(・一方通行・車両規制の有無、道路
		のとする。	[差加]	(1)監理者に提出する全ての書類のうち監理者の指示するものは、監理者と協議の		植や作業時間規制		
		(ア) 関連別途工事を行う場所への出入り及び安全管理等にかかわる費用	0.000				37075	
株式会社 NTTファシリティーズ 一級連生を無禁 ※22回 を成	· D.大 一知/80	主登縣 第 898114 号 無地 職太 担当 特配		工事名	2909 E	特記仕	## # 1	図8番号 区分 C一1 油気
● NTTファシリティーズ 一級連挙士事務所 西日本事業本部 - 銀建拳士全景 射 955 942 号 里	見和刺 —	* 電視 ・	At the later of the later	大阪市立科学館外壁補修その他工事		神 紀江	PK ■ !	で一1 建築 年月(西藤美和
大阪府知事登録 (h)第 14884 号	×	4HM-	12-0LD-1		織民			2025年 1月

	(イ)近底建物の機構程度や構築物の構造、形状、特に基礎、地下構築物などの詳 組な状況及び電調順管の有無など		(5) 施工図・工作図・製作図などの作成に除しては総合図に基く。 (6) 監理者の指示する原寸図などは、施工に先立つ週初な時期に作成し、監理者の		を補佐し、1 ※ 要 〇	電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・		行する。これらの計画に際しては、事前に近隣住民の十分な了解を得ることによって、工事の進捗に差支えのないように責任をもって処置する。必要な場合は辺縁的
	(ウ)最地周辺及び周辺遺路に埋設されている通信ケーブル、上下水道、ガス管、		確認を受ける。	●1.3.5	10000000	8 900 00 PD		民と協定書を取り交わす。
	電気ケーブル、マンホールなどの仕様、位置、レベル、共同層、とう差、電柱、撃		(7) 模型・モックアップ・モデルルームなどの作製、見本能工は次による。これらは、	施工条件		包工条件は下記による。	Name of Street	What a beautiful and the second of the secon
	空ケーブル、高速道路、鉄道、地下鉄等、重要度の高い項目。		施工に先立つ通切な時期に実施し、監理者の確認を受ける。	2000 SESSE		間などは次による。 の意味は大変可見を除った見しの見なさんかものです。	●1.3.11 発生材の処理	(2)発生柱の処理等
	(工) その他発生者の指示による。		(ア)関型の作例 0 する 0 L&い()		200000000000000000000000000000000000000	図書文は工事現場近隣の住民との間で交わされる工事に対する協定 :、「近隣協定」という。)に、作業内容、作業日・時間などについての定め	*	U /発生科 いつら、発注者に引き返すものは下記による。
	(オ)必要により所轄官公署と事前調査・協議する		(イ) 見す施士		0.000	5場合はそれを連守する。		**A() ●#
D±X01			見主施工とは、当該連携のある部分を、その施工方法、即合い、出来ばそれどを施 開きてきます。 1987年とも、1987年によりによりによりにはまりまりののではよりまりによりによりによりによりにはまりまりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりにより			壁タイル散表などの騒音・振動作業については、休館日又は開閉館時		(イ) 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は下記による。
O1.1.27	界階機に関する確認申請は、界階機受注者が決定した段階で、同受注者が発注者 の代理者及び界階機設計者として申請を行う。また、検査及び申請に伴う申請料も		線するために、強調された地工図・地工計画書のとおりに地工することをいう。 場所・住機については、本説と同じとするが、見本地工は、原創として本説として		1	間に工事の施工を行う場合は、あらかじめ関係者と協議する。		※有() ●無 (ウ)再利用及び再資源化を図るものは下記による。
界降機の強認 申請	同受注者の負担とする。		使用LCL		また、	プラネタリクムに面する外壁の騒音作業は、休館日にて施工することを		※有() ●無
708	なお、昇降機の厚、内装、ホールランタンなど、当該建物設計者がデザインした意		(ケ) モックアップの作材 - Oする - OL&(*) - (前提	: する,		(工)既存仕上げ御のアスペスト使用村
	匠についての意匠権等の登録する権利は当該建物設計者が保有する。		モックアップとは、当該建物のある部分の設計内容を確定するための実物大模型		休館日	:(毎選月曜日)、開館時間: (9 時半~17時)		※ 有() ●無
			または権民機型のことをいう、使用材料は、本語と同じでなくてもよく、発生者及			する事項は現場経費に含むものとする。		(オ)魔魔物のリサイクル目標本は下記による。
[進和]	請負金額の範囲内で施工するものとする。		び歴史者との依護による。また、思霊場所は工事製も内とし、情報についても発		(a) 式典			O96
●1.1.28 軽微な変更等			<u>注着及び監理者との協議による。モックアップは一定期間設置した状態を保てる</u>		88	来古 <u>人程度 武場 祭場 供物 直会 神言への謝礼</u> 本古 <u>人程度 武場 祭場 供物 直会 神言への謝礼</u>		[進記]
Die No 1	部分的な変更、文は一部の連加工事等により請負金額の変更を行う場合は、その都		スケジュールとすること。		**************************************			(3)その他現場説明書による
●1.1.29 設計変更	度施工に着手する前に請負代金額を明示した請負代金増減内訳書(増減内訳書)を提		(エ) モデルルー J. の作数 O する O Lだお ()		10000000000000000000000000000000000000	来古 <u>人程度 武場 祭糧 供物 直会 神客への謝礼</u> 本古 <u>人程度 武場 祭糧 供物 直会 神客への謝礼</u>		※関係法令等に基づき通切に処理する。
	出し、監理者の承認を受ける。なお増減内訳書における工事単価は、見積項編書に別 の定めのある場合を除き、工事請負契約時の単価とする。		(オ)先行施工 Oする OLない()			来る 人程度 式場 谷屋 供物 座会 神宮への謝礼	●1.3.12	ideal
			先行施工とは、当該連携のある部分を、その施工方法、取合1、出来ばえなどを確		(b) 到		養生	[進記]
	なお、本工事において部分使用工事が発生した場合、係員の指示により仮使用手続きに		<u>設するために、他の同様創分の着手に先さって、施設された施工図・施工計画</u>			FIX 引込み後、完成引渡しまでの間の電力・ガス・上下水道の基本料金及び		(2) 特種を受けた部分については、連やかに原型に復元する。
	伴い必要となる書類・図面の作成を行い、法令にもとづいて必要となる官公庁への協議・ 届出について連聚主に協力する。なお、仮使用申請料の負担は連聚主が行う。		書のとおりに施工することをいう。先行施工された部分は、原則として本設として 使用する。			F金は、各種機器の試運転に要する費用を含め、全て本工事に含むも	●1.3.13	[差記]
分引度, 仮使			(対) 見本作成 ●する OLない			る。各々の基本料金及び使用料金を共通仮設費の内訳に明示するこ	後片付け	(2) 工事の完成に際しては、工事検査までに次の時間の復旧などを行う。
用			(本紙●1.7.14による)		٤,			(ア) 工事に伴い汚得が生じた既存の施設・工作物・樹木などは現状どおりに復り
	2. 如 工事関係図書		(8) 施工図の作成垃圾場にて行い、事任担当者を充てること。		本数6	の電力引込工事及び負担金、水道・ガス・排水本工事及び負担金は、本		する ,
	Salarana.		(9) 受注者は、施工図作成するにあたり覚書の結結文は書約書を交わすことにより設		工事	: 8 0.		(イ) 当該建物の施設文は設備の一部を工事用に使用した場合、設計図書の定。
●1.2.1 実施工程表	[差記]		計CADデータを貸与することができる。貸与条件については設計者との協議による。		(a) 電気	1主任技術者		る条件のとおりに復旧する。
V6V-69-20-000	(1) 工事の着手に先立ち、または着手後建やかに実施工程表の作成を行い、監理				○工事)	期間中の電気主任技術者選任料(名義料の一切の費用)は、本工事に	[達加]	// 影響基本報告//古典/- L7個人は、一本本本的例(主影響系(-)最近)影響
	者に提出する。(1.2.1(1) 一部[曹操])	●1.24 ▼##	[差記]		át.		●1.3.14	(1) 監理者の指示が口頭による場合は、この内容を記録して監理者に提出し、監理/
	監理者は実施工程表に問題があると認められる場合は、発注者及び受注者等 1-4の場合機体、複数点で	工事の記録等	(6)報告に用いる書式等は、監理者と協議の上定める。		**********	5関係車両の差入路及びやむを得ない通行止め	指示・確認・協議・報告の手	の押印・サインを受ける。 (2) 監理者の確認を受ける必要がある書類・図面・見本などは、その旨を表示して3
	にその旨を報告・通知する。 実施工程表は、着手から完成に至る工事全般の手順と日程の計画を表したも		(ガ)検査、試験又は設計図書に定められた難認などを行った場合は、終了後速やか			Sは、工事着手前に進路管理者の立余いを受け、その維持管理に努め	ME.	理者に提出し押印・サインを受ける。
	ので、本工事の工程のほか、次の内容を記載する。		に配線を作成して監理者に提出する。		V15000 X	・・破精等が生じた場合には、受注者の負担において連やかに現状復復して事業了後、整理者の確認を得ること。		(3) 監理者と協議した事項は、協議の経緯及び結果を記録して監理者に提出し、監理
	(ア) 主要な施工図・施工計画書・製作要稿書などの作成・提出・確認の日程		(8)施工・試験などへの監理者の立会いを受けた場合は、終了後建やかに記録を作		55 A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	後にエデルーで、近年者の機能を1年のこと。 5関係車両の駐車禁止及び待機場所の確保		者の押印・サインを受ける。
	(イ) 建築主事・所籍消防署による中間検査など関係法令に基づく官公署の		成して監理者に提出し、監理者の確認を受け、最終資料については押印またはサ			深場事務所・資材置場・工事車両の駐車場所	2848240	20 00 TO 200806 CT0 NAME (NO ADDITION OF THE TOTAL OF THE
	諸検査の日程		インを受ける。確認などの結果手直しが有る場合は連やかに手直しを実施しその			発動所への仮設カーブミラー・電灯・奏生通路の設置	(E≜A0) ●1.3.15	(1) 受注者は発注者及び監理者が指示する各種会議又は打合せに出席する。また
	(ウ) 都分使用・御分引渡しの日程及び関係する検査の日程		結果を監理者へ報告する,監理者が手直し報告を確認後次工程に差めることができる。		4000000	5中の第三者の侵害防止	会議など	会議場所・会議用機材を提供するなどその開催に協力する。
	(工) 官公署への届出等手続きの日程		(a) 書類などの審査による監理者の検査を受けた場合は、その終了後途やかに該当		付近(の構築物、道路、地下埋設物等に相害を与えないよう万全の処置を行	1000000	(2) 監理者の指示により、鉄骨・屋根・外装カーテンウォールその他特殊な技術を
	(オ) 完成時の諸後章の日程		書類に監理者の確認を受け、最終資料については押印またはサインを受ける。		5,			要とする工事についての技術検討を行うため、各種の専門部会を設け、施工図:
	(カ) 関連別途工事の主要な日程		(10)施工図調整専任係員 ※設けない ●設ける(指定しない)		联 音、	振動等については公害防止条例その他の規定に従って要生及び防止		や施工計画に関する技術的な検討を行い、検討結果を工事に反映する。専門部 には、必要に応じて、受圧者の本社などの技術部門に属する専門家や専門工事
	(キ)その他、工事の差行に関係する重要事項(受護し、上棟、受電、総合試運転、クレーン解体、主要な材料の見本決定、		(11)上記の事任係員は監理者の指示により施工図調整を事任で行う。施工図に関し		対策を	₹1 7 7.		者の技術者を加える。
	地下・地上躯体完了、外側足場解体など)		て経験置富であり監理者が承諾した者とする。 (12)外装計画においても総合図同様、施工図作成に先立ち、御材単体の製作・施工			者の生命、財産に積害が生じた場合及び第三者との間に紛穢を生じた		(3) 前(1)(2)号の会議又は打合せを行った場合は、連やかに議事録を作成し、監理・
	(2) 実施工程表に変更の必要が生じた場合は、関連別途工事の工程と調整のうえ、		図とは別に全ての関連情報を盛り込んだ連物外観立面図(四面・糖尺 1/100 程			は、受注者において解決し、その費用を負担する。		に提出する。
	建やかに移正実施工程表を作成し、監理者に提出する。監理者は、移正実施工程		度以上)作成の上、整合を図り監理者の確認を受けること。			施設等(下水道管等)に影響を及ぼした場合の復旧	*****	**************************************
	表に重大な問題があると認められる場合は、直ちに発生者及び受生者等にその旨					間げる近隣対応は受注者が責任を持つて自己の費用で対処する。 着手前の近隣往戸写真の事前機影及び調査、機影日時の証明、機影	[達和] ●1.3.16	(1) 当該建物に組み込まれた機器・材料・施工などについて、その履歴、使用丈は
	を報告・通知する。		3.節 工事現場管理		22 (A. C.	東三者業者有り)	トレーサビリテ	在を辿ることのできるトレーサビリティ管理を行い、記録を監理者に提出する。
	(3)必要により全体・月間・週間実施工程表を作成し、通宜実情に合わせフォロー修工される(2)を保証を発表します。	● 1.31	rem			7、振動、防壓対策	1	(2) トレーザビリティ管理は設計図書に定めのあるもののほか次の条件に同時に
	正する建築他関連業者と調整の上作成)	施工管理	Lをおり (3)監理者が掲示した監理方針に基づき受注者は工事運営及び施工管理に沿って実			3・祝日の作業の通知		当する機器・材料・施工について行う。その対象と管理方法については、事前に 理者と協議のうえ定める。
●1.22	[注記]		(3) 監任者が何かいで監任力対にあつさま注音は工事連絡の(6) 配工管任に行って共 施する。			日における夜間作業の通知		を育といめのフスとのの。 (ア) 識別記載がなければ、履歴や使用部位が辿れないもの
施工計画書	(3) 総合施工計画書は工事全体を適じて受性者等が行う工事組織の構成と運営、工		(4) 本工事の品質・工程・予算管理については、受注者による自主管理を原則とする		(e) 近隣	住民への説明会の開催(工事着手時を含む)並びに工程表の配布及び		(イ) 不具合が発生した場合、当該建物の品質に重大かつ広範囲の影響を及
	事環境の整備と維持、工事請負契約に基づく <u>監</u> 理者への対応などについて、		が、発注者が管理方法、提出書類の書式、使用するシフトウェア等について指定す		着工作	市近隊住民との間でかわす工事協定締結業務		す恐れのあるもので、手直し、取替えが困難なもの
	本工事の固有の条件に適応した最適な方針を定めたものとし作成する。また、		る場合は、これに使うものとする。		(8 工事	に起因する電波障害対策の連やかな実施	(连和)	(i) 検査・測定・試験などの測定機器及びモニタリングに使用する機器のうち、管理
	監理者が監理方針書を示した場合は、それに基づいたものとする。	2722	VISCOUST NATIONAL PROGRAMMENT CONTRACTOR AND		[進記]		O1.3.17	が必要な対象機器とその管理方法について、あらかに必監理者に報告する。
	(7) 工程別能工計画書うち品質管理に係る部分については、設計図書の定めるとこ	●1.3.2 施工監理技術	[差記]		155000000000000000000000000000000000000	〇行なう ※行なわない	測定機器及び モニタリング機	(2) 前(1)号に該当する機器は通正に維持・管理・訂正し、その記録を監理者に提
	るとし、 <u>監理者の確認を受ける。</u>	*	(3) 工事の者手に先立ち建設表法に基づく規模化理人及の同法に基づく有責格者で		工事(9克成前に部分使用する部屋等は下記によるものとに、指定された期	器の管理	† る.
●1.23	[進記]		ある監理技術者又は主任技術者を選任し監理者、発注者へ文書提出の上、承認 を受ける。			*に使用上支障がないように完成させる。なお、側分使用に伴う検査な ・検きについては、1.63 による。		(3) 監視及び測定に使用する機器が、公的試験所又はこれに準ずる試験所の管
施工图等	(4)施工図などの作成に先立ち総合図を作成し、監理者に提出する。基本的勅まり、		(example		258 435840	・観ぎについては、1.53 による。 使用する創屋等:		の下にある場合は、前(1)号による管理方法の報告及び前(2)号による記録の提
	特殊な動まり、関連別途工事などとの調整を必要とする事項、その他監理者の指	O1.33	[差記]	●1.3.7	[進記]			を省略することができる。
	示する事項について、基準施工図を作成し、監理者の承認を受けた上で、総合図	電気保安技術	(4) 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務	施工中の安5 確保	술	危害防止対策、工事用車輌による交通障害対策、領対策など工事の差	[注加]	(1) 選定された材料製造者の能力・経歴などを証する資料を監理者に提出し、監り
0 0	の作成を行う。総合図には必要に応じ展開図も含む。	4 00	er newane denotes the passes and interest correspond for the entire new terms of the first terms.	PEIT-	行によって	発生が予想される障害に対しては、事前に万全の工事計画を立てて実	●1.3.18	(1))直にさいて性料数に含い能力・程度ならを辿する資料を基定者に提出し、監り
	株式会社 NTTファシリティーズ - 知識主主義 第 82141 号 阜 良太	一知难整士会	機動 2021年 新地 職太 担当 特配			工事名	290 E	Digi 番号 区分 区分 産祭 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日
ツ אדד ファ	アシリティーズ 一級連撃士事務所 西日本事業本部 一般建・主会機 第 896842 寺 里見 701		世界 4			大阪市立科学館外壁補修その他工事	and R	行記"江怀書·2 C=2 建杂 年表回信表示
	大阪府知事登録 (ト)第14884 号	777	4HM-1	2-0LD-1				2025年 1月

製造者及び事			一ク表示のあるものとして使用しない。		Ø-84		度測定	
門工事業者の	者の確認を受ける。 (2) 四年間 毎日 別注 チャッ 電話がはいれば アンファー・選 またと 早また原 7 元キ 2 利		ーク表示のあるものとして使用しない。 (13) 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有す		③下記表示のある JAS カ・ 非ホッ(マッギャン)		JOURNACE .	(2) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベン
製 走	(2) 設計図書に製造者名の記載がない材料については、適正な品質を確保できる製		るものとし、JS 及び JAS マーク表示品とする。JS または JAS マークの表示のない		a. 非ホルムアルデヒド	和技 着科使用		ン、ステレンの濃度を測定し、監理者に報告する。
	連者を選定し、監理者と協議する。ただし、設計図書に製造者の条件が示される		村邦及びその製造者等(海外製材料含む)は、次の(ア)~(カ)の事項を満たすもの		b. 接着材等不使用			別定はかシップ型保取機器により行う。 着工前の別定 ※行う ○ 行わない
	場合は、これに適合する製造者を選定して、条件に適合することを証明する資料		243.			系接着材及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用		測定対象率 ※対象率() O図示
	を監理者に提出し、監理者の確認を受ける。		(ア) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること		d. ホルムアルデヒドを			利定箇所数 ※()箇所 O 图示
	(3) 設計図書に専門工事業者名の記載がない工程については、適正な品質を確保		(イ) 生産施設及び品質の管理が通切に行われていること			新校着村及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用		(3)測定後速やかに報告書を作成し監理者の確認を受ける。
	できる工事業者を選定し、「専門技術者・下請負人屋」を監理者に提出する。ただ		(ク) 安定的な供給が可能であること。		f. 非ホルムアルデヒド	R 接着材及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用		[進記]
	し、設計図書で「専門工事業者による」としている工程のものは選定について監理		(エ) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること		*************************************	.げ、居室と空気の出入りのある御分の仕上げ(表面材)		(4) 探取、測定方法は厚生労働者『室内空気中化学物質の探取方法と測定方
	者と協議する。					の、店室と学れのログラののの同方の仕上げて表面が、		による の State And
	(4) 特別の理由により設計図書に記載された機器・材料設造者や専門工事業者以		(オ) 製造文は施工の実績があり、その信頼生があること (カ) 販売、保守等の営業体制が整えられていること		同様の扱いとする。			⑤ 引き渡し発件は、次による。 ※別定化学物質濃度がすべて指針値以下であることを引渡し発件とする。
	外のものを選定する場合は、選定された機器・材料製造者や専門工事業者の 他		(の) 駅で、1木生車の音楽体制が金えられていること					化学物質濃度のいずれかが指針値を超える場合、低減対策を施したのち、
	カ・経歴などを証する資料を発生者及び監理者に提出し、発生者及び監理者の確		かめ、一切さればた原田よる場合は、特別関係に乗ぶる中屋孔が集めた方よる。	[進和]		別な材料の工法については、材料製造所の指定する工		定して、全ての課度が指針値以下である事を確認したのちに引き腹す。 へ引きしてきたした。
	認を受ける。		なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に走める品質及び性能を有するこ	●1,4.8	法とし、施工計画、要領書等	を提出し、監理者の強調を受ける。		〇引腹し条件としない。
達加]	マボルスの前により8.06時間の大幅ではよった。4.1699月1日から100日間に乗り出		との証明となる資料又は外側機関((社)公共連盟協会他)が発行する「建築材料・設 機機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを、整理者に提出して確認を受けるも	特別な材料の			[達加]	
O1.3.19	工事中の粉層による設備機器の補傷防止のため機器搬入前及び搬入機は精棒を徹底し、粉層発生の工事は実施しない。機器搬入後の当該エリアの精浄度クラス			工法			O1.5.10 プロセスの 姿	(1) 事後の検査・試験で結果が十分に検証できない工程については、選定されが認定された設備を使用して、定められた方法及び手順により作業を行い、
情抒度管理			のとする。ただし、あらかじめ監理者の確認を受けた場合はこの限りではない。また、	[達加]		製品は、監理者の指示に従いあらかじめ見本品を提出	当性の機器	が認定されてAX機を使用して、定められて対点がの手順により作業を行い、 工程の監視・管理し、記録を監理者に報告する。
	1809 以上(JISB9920、及び18014544-1)に保つよう精浄度管理を行う。		製造所欄に製造所、商品名が記載された材料は、当該商品文は同等品を使用する	●1.4.9 □ ±	L、その承諾を受けた後、発注 主な見本については、本紙の€			(2) 前(1)号の対象となる工程は鉄筋の圧接、鉄骨の溶接のほか、連緊物の性
	機器には工事中用の仮設防圏フィルターの取り付けを行い引渡し前に交換を行う。		ものとは、同等品を使用する場合は、監理者の確認を受ける。	見本		-16/4/1/16/10/10		重大な影響を及ぼす恐れがあるものが該当し、対象となる工程を要員・設備・
CÉNO)	(to the block of the 7 to 10	900000	March and the		5 節 施工			手順及び管理の方法と合わせて、あらかじめ監理者と協議のうえ定める。
O1.3.20	気态性を必要とする室について気态試験(ドアファンテスト)を行う。	●1.4.4	[差記]		- A- A-		D±30]	
連物の気密性	・対象を ※サーバを 〇	材料の検査等	(3)機器・材料は現場に搬入した時点あるいは必要に応じて製作工場における製造 又は組立が完了した時点で、各種ごとに受注者等の検査を行い、検査記録を監理	●1.5.2	(建記)		●1.5.11	手順及び管理の方法と併せて、あらかじめ監理者と協議のうえ定める。
強 保	・確認額所:連物が外気に両し気を性を要する部分その他指定額所()		スは祖立が元」は3時点で、各種ことに支圧者等の検査を行い、検査必要を盈圧 者に提出する。	技能士	(1)通用する技能検定の職種及	び作業の種別は下記による。	施工の検査に 伴う不適合の	
	・ガス消火設備対象室の性能が国際基準(NPA2001)を満足していることを確認。		(6) 重度品あるいは厚単品で実別値などが整備されているものは、性能表文は能力		通用工事程別	技能検定の職種	監理、是正 犯	
	・ドアファンを用いて対象室の圧力を調整し、圧力変化を観察し気管性を確認する。		計算書などの性能の証明となる書類強謀をもって(1)の検査に替えることができる。 (1) 設計図書に監理者の検査の定めがある場合、発注者の検査に合格後、検査記録		●仮設工事	₽Ω	T	
	任力 (※±100Pa 〇指定値:)		(n) 数数1台書に基準者の検査の定いかりが3時日、光洋者の検査に合い成立に合います。 を提出し、監理者の検査を受ける。監理者の検査は、受注者等による検査の選正		〇鉄筋工事	○ 鉄航施工(鉄筋組立作業)	(達加)	
	気密試験は機械設備工事にて実施するが、各受炷香はそれぞれの施工範囲の責任		さを確認するために行い、受注者は検査に必要な資機材・労務などを提供する。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	〇構造物鉄工作業	●1.5.12	(1) 設計図書に記載のない施工の手段・手法については、受注者の責任におい
	を負うこと。(例:建築工事=躯体、床、壁、建具、建築で設ける開口部等、設備工事		(8) 設計図書に監理者の検査の定めがある場合や監理者の指示による場合、発生 を表するなから、企業の始末の共同に対象があります。		○コンクリートエ事	〇 型枠施工 〇 左官	工法などの選	れを決定し、その内容を監理者に報告する。
	配管、ケーブル等の設備責通卸、ダンパー、将来開口選ぎ等)また是正にかかる費		者受注者の検査に合格後検査の結果に凝集が生じた場合は、監理者と協議 する。		03577 174	〇コンクリート圧送施工	走	(2) 関係法令などにより特定の基準によって施工することが定められている場合
	用は受注者の支援により工事費に見込むこと。各部の検査は目視のみでなくサーモ		(9) 機器、材料、製品等に対する検査に必要な発生者及び監理者の交通費、宿泊費		〇鉄骨工事	O 50		これに従う。
	グラフィーカメラを用いて際、気流の移動がないか発認を行うこと。		等の実費は受炷者がこれを負担する。		7 27	2 22		(3) 支給材料、貸与品の場合を除き、選定された機器・材料・工法などが第三者(許権・実用新家権、意匠権、商権権その他日本国の法令に基づき保護される)
	気密試験に先立ち各受注者は連繫、設備合同で連物各側の施工機器を行い監理者		(10) 場内検査を原則とする。場外検査を行う場合は場外検査偏いを提出すること。		〇プロック・ALCパネルエ事	○ プロック建築 ○ ALCパネル施工		者の権利(以下、特許権などというに抵触する場合は、工事的數及び見積要項
	に報告を行うこと。また是正にかかる期間を工程に見込むこと。	385	7 D		●防水工工事	○ アスファルト防水工事作業		の定めによるものとし、あらかじめこれらの権利に対して必要な手機を終た後に
	・その他コミッショニング計画書がある場合はその記載に従う	●1.4.5	[進記]			○ 合成ゴム菜シート防水工事作業		用する。万一、第三者の権利を侵害するようなことが生じた場合は、発注者・甚 者・受注者間で協議する。
		材料の検査に 伴随(験)	(労試験によらなければ設計図書の定めによる品質又は性能・機能に通合することが 証明できない場合は、機器、材料、施工検査に伴う試験を実施する。			〇 塗膜防水工事作業		
[達加] ● 1.3.21	(1)政修、部分撤支など既存工作物に係る工事の場合の補修は下記による。 ● 医力にかいを担ける	THE SOUNDANCES	(6) 試験は公的試験所又はこれに準ずる試験所で行う場合を除き、監理者の立会い		,	● シーリング防水工事作業		6.節 工事検査及び技術検査
既存部分等へ	● 既存に做い復旧する (2)補修等は必要最小限の範囲にとどあるものとし、その補修方法は本工事の当該		を受ける。ただし、あらかじめ監理者の指示を受けた場合は、この限りではない。な		ORIĐ	〇 石材施工(石張り施工)	92	10010000000000000000000000000000000000
の処置	工事または既存御分に做い補格する。仕上げ村等が新旧村邦と取合いとなる部分に		お、受生者は検査に必要な資機材・労務などを提供す (が 試験材料の製作要領は設計図書の定めによる。ただし、定めがない場合は監理		●タイル工事	● タイル張り	●1.6.1 工事検査	[進記] (5) 自主中間検査
	ついても同様とする。		者の確認を受けた方法による		〇木工事	〇建築大工	T-\$18.E	※) 貴生者の判断・社内規定などにより、必要に応じて行う
*******			(3)試験結果に凝集が生じた場合は監理者と協議する。		〇屋根及びとい工事	○ 建築板金(内外装板金作業)		の次により行う
[建加]	(1)騒動、騒音、悪臭、水質汚損などの防止に通切な処置をする。	E ≜ #0]	本工事の建物内側に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の質及び性		〇金属工事	〇 内装仕上げ施工(類裂下地工事作業)		契約内容の履行を確実なものにするために、監理者の指示する時期に、受注を 本社などの検査要員(現場関係者を除く)による自主中間検査を行い、関係法
●1.3.22 近隣への配慮	(2)停下物、飛来物、工事車面などにより近隣および通行人などに危害を及ぼさない	O1.4.7	ポータの産物では、次の(ア)から(ナ)を満たすものとする。		O左官工事	〇 左官		木社などの検査会員(水場局)等者と称いたよる自主中間検査を行った。最後点 たは設計図書に適合しない個所などがある場合は、連やかに補正を行ったうえ
AT INC. AND MILITER	ように通知な処置をする。	化学物質を拡	(ア)合根、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パー		●連具工事	● ザッシ施工 ○ ガラス施工 ○ 自動ドア施		発生者及び監理者に報告する。
	(3)工事車両のタイヤに付着した肥などにより、公道を持さないように必要な処理をする。 る。	散する建築材	ティクルボード、その他の木質連材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、木			I		(5) 工事の完成にあたって、受注者の本社などの検査要員(現場関係者を除く)に、 ウェルティン、関係は全土人は関係者にはなった。
	(4)請負者は、本工事の施工にあたり近隣建造物に対して十分な保護要生を行う。請	邦 等	ルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。			〇 カーテンウォール施工		自主検査を行い、関係法令または設計図書に通合しない箇所などがある場合に やかに修正を行ったうえで、監理者に報告する。
	(特)請負者は、不工事が犯工にのにソビ保証を付に対してエアの体表を主されて。 賃者の不注意または施工上の不行届によりこれらの建造物に損害を与えた場合		(イ)保温村、緩衝村、断勝村はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放		○22 インタオール工事	O サッシ施工 Oガラス施工		(7) 前(5)(6)号の報告の後、監理者の検査を受ける。
	見者の不注意または和エエの个行曲によりこれらの建造物に信号を与えた場合 は、自らの責任でこれを補格に、または賠償を行う。		散が極めて少ないものとする。			E		(8) 消防署長の検査、建築主事の検査など関係法令に基づく(官公署その他関係)
C差和)	は、自ちの責任とこのを補格は、またに配置された。 (1)機器・材料製造者及び専門工事業者は、設計図書に記載されたものと同等以上		(ケ)接着制はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有		●塗装工事	● 塗装(建築塗装作業)		検査)については、完成検査に先立つ時期にこれを受ける。発注者などが受検 なる場合は、手機きを代行し、その検査に必要な書類・資機材・労務その他を持
● 1.3.23	にて選定し、選定届を監理者に提出する。		しない難棒発性の可逆材を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エテ		〇内装工事	○ プラステック系床仕上げ工事作業		する。
製造者及び専			ルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。			〇 カーペット系床仕上げ工事作業		(9) 前(5)(5)号の検査の結果、修正が必要であると指摘された箇所がある場合は、
門工事業者の 製定						〇 术一F仕上げ工事作業		理者の指示により速やかに修正し、監理者の再検査を受けると共に、官公書 他関係機関にて必要な手機きを行う。
	4 節 材料		(エ)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しない		*	〇 泰装(壁装作業)		10周季後間へ この母な子様でで177。 (10) 前(3)号の検査の結果、修正が必要であると指摘された箇所がある場合は
			か、放散が極めて少ないものとする。 (+) (マ) (+) ひと(て) の冷解せが使さ使用! エルトも本書 豊原 金幣 全		〇植栽工事	〇 遠園		理者との協議の上連やかに修正し、監理者の再検査を受ける。
●1.4.2 材料の品質等	[進記] (8) 日本産業規格(以下、JISという)、日本農林規格(以下、JASという)、その他規		(オ) (ア)、(ウ)及び(エ)の建築材料等を使用して作られた泰具、書館、実験合、そ	Pub (802/80)	〇舗装工事	〇路面標示工事作業		(11) 完成時の諸検査の日程・方法については、関連別途工事との調整を行い、前
17年以前東寺	(4) 日本産業現代(以下、いちという)、日本展析現代(以下、いちという)、てい他別 格質、官公署及び電力・ガス・水道などの供給会社の各種規格などは最新のもの		の他の什群等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないもの	●1.5.4 ▼ ₩ Ø № ▼	[注記]	PARTILL TO PARTICULAR SEASON IN LETTER TO		により関連別途工事の受注者等同席のうえ共同して検査を受ける。 (12) 建物完成引渡し前に、発注者の完成検査を受ける。
	を適用する。(9) 設計図書において機器・材料の品質が明示されていない場合		とする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおり	ー工程の施工 の確認及び報		確認は、受注者の検査により行う。 当時は、設計図書に定め文は監理者の指示がある場合、		(14) 建物元(65) (成年前14、元/五首 0元(66) 美国区区(17) (6)
	は、設計者・監理者に確認の上通切な品質のものを採用し、施工すること。		とする。	+	その施工についての報告		D≜#01	(1) 工事期間中に発注者による当該建物の部分使用がある場合は、該当部分
	(9) 機器・材料に関する設計図書の記載に「同等」「程度」などとある場合は、選定された機器・材料が品質及び性能を有することの証明となる資料を監理者に提出			7.00		目及び検査記録の書式については、あらかじめ監理	O1.63	いて、共仕 1.55 に定める監理者による施工の検査及び共仕 1.51 に準じた
	1. 監理者の権務を受ける。				者と協議のうえ決定する。	24000VE	部分使用	査を受ける。部分使用に関して必要な官公署その他への手機さについて発 に協力する。
	(10) 設計図書において指定された機器・材料が入手困難な場合は、監理者の強認			●1.5.7	[差記]			
	を受けたうえで、それと同等以上の品質・性能を有する代替品を使用することがで			施工の立会い	(3)監理者が指示した場合、監	8理者の立会に付えて工事写真などの記録を整理して	[進和]	(1) 管理者への引機ぎ・開設準備への協力
	きる。 (11) 共世[142/b]において、連築材料・設備機材など品質性能評価事業及び公共		規制対象外連級材料		監理者に提出する		O1.6.4 引腹し前後の	(ア)受注者は、完成・引渡し時期から逆算して、完成後の建物・設備の接側 降のない トラニー ※は差のが終け去がまるス字は後の建物発展をしまり
	住宅用資機材品質性能評価事業の確認を受けた機器・材料については、当該評		①JIS 及び JAS の F女女女女規格品	O1.5.9	71) 建築物の水の森気の11-4	まれる化学物質の濃度測定の実施は、下記による。	引展し前後の 注意	障のないように、発注者及び発注者が定める完成後の連物管理者に対し 連物及び設備の試運転を行うとともに、取扱要編を提出しその説明を行う
		1	A			on a void ナガスツ級SMにいる肥大、P配による。	A. (100)	(イ) 完成・引渡し前に発注者が建物管理者訓練を実施する日程(1日程度
	価書の写しを"品質及び性能を有することの証明となる資料"とみなす。		②連緊基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品	化学物質の観	※実施する 〇			(1) 元(2,5)成に前に元が正台の連合の自治を書かれる大郎とうのは使じてはほぼ
	価書の写しを"品質及び性能を有することの証明となる資料"とみなす。 (12) JIS Q 1000(2003)による自己適合宣言をつけられた機能・材料・製品は、JIS のマ	ļ.,		化学物質の観	3000 SCANSES - 000 S	- 2		y Transaction Transaction
8			②健聚基準法施行中第 20 年の 7 第 4 項による国工交通大臣認定品 株勢 20 31 4 寿 务地 森太 祖島 株配	化学物質の濃	1#5	-	2909 €	(1) 元形でも成立的に元之者が建物自立を書かれてまましか。 ロッチ 特記仕様書3 ロッチ Cー3 連集

	確保し、当該訓練の実施 (2) 完成後の現場対応	他に協力する。			○施工報告書、 ●工事写真(3	、試験報告書 工事前後 同一アングル)				者及び設計事務所は写真を機能者の了解なLに自由に使用できる。機 (を使用する場合には発注者及び設計事務所の了承を必要とする)。	[達加] ●1.7.18		本工事に使用する材料に関わる特許権、	
	受注者は、完成・引渡し後最		を連物及び諸鉄機に関する技術員を開発 管理を行うことができるように協力する。		〇会議記録、打	打合記錄	・検査の記録及びタイル補修張りの	[進加]	70.AC 09.01.0110-100	WE MANTED	特許権いて	等につ	おいての、必要な手機さは受注者の責任! 工事中、竣工後に限らず第三者からの概!	
	常驻者はに常駐と		■任を1770とか、ころのかりに関力する。		記録			O 1.7.5		, 竣工のか月前及びか月前に、発注者に事前確認のうえ、日日 \$社団法人 ロングライフビル推道協会)基準にて本連物のライフサイク			責任により対応を行うこと。	9、其内值4年10·02·12·00日底文文2日·03
	(3) メーター検針機器				●メーカーリク まとめること。		t様、色指定、連絡先を一覧表に	rocの意用	ルコスト(L	.CC)の貸出を行い、発生者にデータにて提出する。			本設計図の著作権は株式会社 NTT ファジ	ヅティーズに帰属する。
	(ア) 建物引度し前に行う各種		- の確認は、受注者の責任と負担におい のたまな思います。		○上記のほかり	クラウドサーバ保存データ	の全御	[達加]		発注者が竣工後の建物管理に必要とする管理用傭品のうち発注者が			完成图、施工图、製作图の著作権は発生	
	て全数行い、監理者を通じ (イ) メーター設置の誤りに起		教育書を提出する。 普及び竣工後の建物管理者の機害につ		(1) 採電期限(1 ※永久 O15章	E事完成引腹目から起算し 年 ○年		〇 1.7.6 引權品		らのについて、発注者及び連物管理者に事前確認のうえ用意する。引度 詳細は、連物管理者と事前相談のうえ定める。			本工事において、新たに特許、実用新来、	意匠権等を出職する場合はあらかじめ監
	いては、受注者が全て負担	担する。			(ウ) 提出・保管	媒体 使データ(TIFF・PDF など)	ν cun ≓_a	[進和]	111109 1000 A 11100				理者と協議を行うこと。 CAD 図面データの無所被写や、目的外に	使用してけならない。
			会については、監理者の指示による。		0原本(:)	E dio 7 /	●1.7.7	\$4000 NEW YEAR	を予備品として完成時に輸入する。			AND DELY SAMERINES CHANGE	Midwales and Asia I
	(3) 魏の提出に当たっては、魏明和書とともに、魏籍に整理・		け、それに整合した建具配置図及び機 ・者に提出する。		O (3) 前(1)(2) 号に	より発生者に提出された例	図書などの著作権にかかわる当該建	予備品	20000000	列量の 3% (ビニルタイル) 床石、タイル、フローリング、2 重床パネル、タイルカーペット、登後)			8節 その性	
	(1) 李内野音の目標値					使用権は、発注者に無償で			1978 THE	生産ロット級から使用した余剰分を輸入すること。	CEAO)	£	(1)提出書類は、本章の該当各項、2章以降	各番および製約書に定められた書籍を選
D差加] 〇1.8.5	(リ至M教育の目標値 各室の教育は、下記の値:	を目標とする	5 .	●1.7.2	(1) 完成図の種類及	び記入内容は下記による。			なお、予備品	の保管場所は監理者の指示による。	●1.6.1 提出書		時提出する。	
联 音测定	その他諸室・斯下につい	ても世様上支	に降のないことを目標値とする。	完成图	※存せ 表 1.7. 先続回に接えて、3				〇保管用:	鋼製ラック 合 (W2000×H1800×D600 程度)	tem in the	**	(2)監理者の指示によりその他の必要書類を	EH⊀A.
	資本:				心防火区西图、	- 排展区画图		[達加]		y合わせ等の関係で材料、寸法、取y合い位置又は取り付け工法を多少			1 着工時	
	防災センタ:				〇各種防災政(〇防耐火構造)	標→1795图 程別図、同構造課和図(大日	5級走証の写しなど)	●1.7.8 軽微な変更	変更し、或いはこ との協議によって	れらによって取り付け員数を幾分増減する等の軽微な変更は、監理者 「行う」			●現場代理人事前届 ●監理(主任)技術者届	●実施工程表
	(2) 竣工時の騒音検査 室内騒音測定を実施する。				○建築業準法	13 % 5 項の報告に必要な	各種四本		10165-10161-1016-1				●工事施工箱成書(現場組織表)	●施工体制合帳
	Erista Miccale 101	•			[進記]			[達加] ●1.7.9		後、建やかに設計図(契約図)(二折り・表紙・背表紙文字入れ)の糖小原			●現場員編成書(経歴書添付) ●総合施工計画書	●施工体系図 ●資格者 <u>資格証</u> 写し
	各室中央部分及び、厚よ	り 1.0m 離れた	た位置で測定をする。		(2) 完成図は、原則と する。	として当該建物の完成後 <u>2 :</u>	カ月以内に発注者及び監理者に提出	工事監理用图	3	(ズ)を作成し権小原図により、A3 サイズの青焼きまたは白焼き製本を 出する。A1 サイズは(0)倒提出する。			2 工事中	Na Vin
C≜A01			合が発見されたときには、受注者は監理		ただし、提出期限に		の指示がある場合は、それによる。	850	. 740	BD) OF AT A TAME OF A TAM			●内訳明細書(契約後指定期間内) ●工事報告書(月報)	●工程別施工計画書
●1.5.5 契約不適合	者と共に速やかにその原 る場合には語負工事契約!		、それが施工の品質及び性能に起因す 特無價で補修を行う。			る関連別選工事を含む元的 に必要となる図の両方を作	現後の図面と、テナント撤去後に必要 成すること。	[達加] 〇1.7.10	設計変更に作	5万下記の申請書の作成及びその申請書の行政庁等への提出・対応			●下請協力業者採用届 ●主要資材製造業者採用届	●月間工程表 ●週間工程表
責任			の境界分野で発生した場合には、その 工事受注者と共同責任とする。費用の分		○適用する(範囲: ●適用しない	1		設計変更		(数計者)が行い、その費用負担は(発注者)が行う。			●各種試験結果報告書	・その他
	担については関連受注者			200 P-04025	■JEME Date			-250-200	500000000000000000000000000000000000000	p語 〇性能評定 〇大臣認定			3 完成時 ●完成写真 1.7.4 による	●設備工事各種試験採模一覧表
D≜#01	(1)連撃基準法及びその他の法令	多道たしてい	ることを確認し、監理者に報告する。	●1.7.3 保全に関する	5 (1) 保全に関する資料	料の提出部数は下記による		[達加] ●1.7.11	·現识調查報 ·近隊調查報				●完成図等 1.7.2 による	●建物維持管理注意事項
〇1.6.7 中間検査	(2)検査日程を調整し、監理者の指			資料	※2倒 ○	_#1	8	着工時提出書	·総合施工計	画書			●予備品及びリスト ●競引波し書及びリスト	●各種機器等取扱い説明書●関連業者一覧表及び主要資材
中四英重	(3)検査に必要な資料作成は請負	者にて行い、	監理者の承諾を得る。		〇年一日OX(Gマスタ	ターキー、予備キーその他)		SA.	・総合工程表 ・総合仮設計				●キーボックス 1.7.3 による ●諸官庁出順申請書及び検査済証	●メーカーリスト(各種保証書を含む) ●緊急連絡先一覧表
C差加]	(1)竣工検査は次の順序で行うこと				[進記] (/) A n/#/こ 株 (株ま)	5保全に関する資料は下記!	- h z	[進和]	10000000000000000000000000000000000000	350			●語もけ中原中語書ない快速が 能	● 建物派失証明書
●1.6.8 竣工検査	(a)語負者下検査:現場組織 (b)現場監理事務所検査:				〇保全マニュアル		~~~@	●1.7.12	1 Z 04 B5	に先立ち、総合施工計画書を作成し、監理者の確認を受ける。内容は次 理者の指示による。				
	(d)諾官庁検査: 建聚基準》	法,消防法,行	その他条例に基づく検査。		〇長期移補計画書 〇保証書(原本)	ŀ		総合施工計画		生者 いるかにかる。 他工管理体制, 現場運営形態, 工程計画・工程管理, 品質管理計画, 総	2 章		1節 一般事項	
	(d)請負者檢查:現場組織。 (e)設計事務所檢查:事業:				〇保守及び緊急運			0.000		近職対策 安全衛生管理計画 準	仮 [達記] 数 ●2.1.2		(7) 工事仮設計画書を作成すること。	
	(利建聚主検査	T 0.18/C 3 -04	STRIP COURSE		○機器頻繁作点検○監理者の指示す				-計画書、施	工図の一覧表を作成し、提出スケジュールを監理者と協議する。	工仮設村		(a) 工事に先立ち、下記の事項の総合仮設制 の他監督職員の指示による。	†自書を作成し、監督職員に提出する。そ
	(2)竣工検査は現場代理人立会い (3)竣工検査は開掃を十分行い受		+7		〇 數地境界立会記 〇地中仮設残存物			[達和]		7 In all 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	\$	*****	1. 工事目的別の位置と敷地との関係	
			する。 :び是正完了予定日を監理者に報告し、		〇鉄機関係別定報			Q1,7,13		ム作成時に伴う見本の準備を行うこと。			 仮囲いの位置及び構造、道路、出 材料運搬経路と主な作業動棟 	VIISNMM
	監理者の指示により是正を行う	5. 是正が完了	PLたら建やかに監理者に報告する。		〇 その他(Σ.		カラースキーム	1				 仮設物などの配置(監理者事務所、 工事用電力、給排水設備 	村料置き場、下小屋等)
	7 節 完成図等						ュアルに下記内容を記載すること。	[達加]	〇石村(各1	m)、塗装見本(各種 0.5 m)、ガラス飛散防止フィルム(各 1 m)、			5. 足場及び機構の位置及び構造	
291	20 2000 -		1000 0000000000000000000000000000000000		- 政修、徐福時	画用の有無、内容 まの性能検証に関わる責任	区分	●1.7.14 主な見本	○タイルカー	ペット(各種 1.5m×1.5m) 程度、化粧シート・ビニルクロス(各 1 ㎡)			7. 重機の種類及び配置 8. 災害防止設備(南水・山留めを含む	1
●1.7.1 完成時の提出		下記により、A:	3版及び電子媒体(CAD, PDF データ)を		・あらかじめ程	食証による制約			5500000000000	数材 (900mm×900mm)			9. コンクリート打設設備	
图書	分類·規格 卸数		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C ± 301		に提出する。ただし、原版に			5.0000000000000000000000000000000000000	<u>本 (特記 11.14 に詳細を記載)</u> を決定するために必要なもの			10. 鉄骨建工方設備 11. 各工事工程と仮設	
	● 完成图 ※各: ○(特記仕機書、特記材料表、配置図、各 皆平面図、平面詳細図、立面図、所面	●1.7.4 完成写真	分類・規格 ○ アルバム(基本図含)	機影箇所数	創数 原版の大きさ) ※2 ○ 3 ※6×6版以上	00000000					(b)、工事目的物の一部を仮設に使用する場	「ムーマは関ロを作けて組みかりについて
			图,矩計图,仕上表,外構图,面積表, 各創評細图,各種設備图,構造图,総		● カラー ※キャビネ)	版 外部(12)内部(3)	※2 〇 1 ※8×8版以上	[達加]		翻答・材料・製品などを使用する場合は、あらかじめ、それらが日本国の 通合し、設計図書に定められた品質・性能を有していることを証明する			は、補強並びに復旧の計画書を作成し、是	
		1	合図等、設計図を基に完成時の状態		・全継パネO カラーボジ	ル		海外製品の割		B者に提出し、監理者の確認を受ける。 給材料文は貸与品および設計図書に海外製品としての仕機が明記され	[達和]		横内既存施設の工事用水・工事電力の使	用の可否は下記による。
	● 施工計画書、 ※各:		に受炷者にて更新したもの) 総合図一式を含む		82075-2000 1600 S	10409191 Baccontestor	nnQL		ている場合	、及び機器・製品において、国内の製造者が、海外製の御品等を使用し	●2.1.3		(1) 工事用水	
	製作要領書 〇() 倒			○ デジタルデータ○ 動画データ	* 新創() 内創(* 新創() 内創(Bとして祖立販売又は取扱いをし、補終、定期点検等のアフターサービス 制にある場合は、海外製とみなさない。	工事用力	水・猫	※利用不可 ● 利用可(● 有値 (2) 工事電力	(〇無價)
		2 倒) 倒			※フォトプック世際は サイズ内面 250×		1000000000		(3)海外製の根	経経・材料・製品などを使用する場合は、完成引度し後、適常の維持管理	90.90		※利用不可 ● 利用可(● 有	E ○無價)
	● 保全に関する資料 ※各:		保証書、建築物等の保守に関する説 明書、機器収扱説明書、機器性能試験			・200 ・タイプフルフラット製本			関は次の資	8生した不具合は受注者の責任において対応する。この場合の補償期 MSVとする。	C ± 303		交通誘導警備員について特に指定する場	合は下記による。
	00	F	成績書、官公署届出書類、主要な材		紙質等:シルク紙書 アルバム長銭ペー	高質印刷 −ジには、建物概要を添付す	-a.			間10年とする。 里・補修・走期点検等のアフターサービスについては、修理・制品交換の	●2.1.4 交通器	SX3c Fin	● 参考図(仮設計画図)による	
			邦·機器一體表等)、協力業者一體表 (業者名、住所、連絡先、責任者名)			X-XXXII			対応可能	池期間、取替え卸品の対応可能期間は 10 年とする。	W-20.50-5			
	[進記]				※概影者 ※同等の概影実績	llを有し設計者・監理者が享	線する者			対性能等の仕機の補償 5.10年とする。ただし、素材性能・品質安定性に関する不都合の発現率			2 節 縄張り、進方、足場その他	
	(2)工事関係図書を整理のつえ 事完成引度後も自ら保管する。		2_御を発生者に提出するとともに、エ		〇指定 (事務所名	E:)			カ5 5 96巻	超えた場合、全数を保証対象とし、保証期間 5 年を進加延伸し、合計	O2.21		[曹操]	
	(ア) 提出・保督する工事制 (施工図等)	保包書				B(フルカラー) 、JPEG·MPE	G 形式最高画質とL、DVD にて提出			替え材料の対応可能期間は 10 年とする。	敷地の 認及び4		(1)敷地内及び敷地周辺について現地調理 報告するとともに、仮設計画書などに反 を受ける可能性のなる展別開発。展別	映させる。現地調査は、工事によって影響
	(のすべて の監理者の				する。 ※使用する写真は監	理者と協議の上決定する。				に指定された海外製の機器・材料・製品などが所定の品質・性能に適合 められる場合、または前2号の保証に耐えるものではないと認められる	8000	rain 7	を受ける可能性のめる周辺遺略、周辺の 物(地下鉄、とう遺含む)、樹木、上下水。 を置き、その現況を正確に肥痩する。	の井戸・地・地下水脈、隣接の建築物・工作 着・ガス・電気・通信など地下埋設物に重点
	〇施工計画書、施工要領 (〇すべて 〇監理者の				※外部写真には、航空		: 尚幸士ス		場合は、達	やかに監理者と協議し、代替品などの処置につき監理者の指示に従			を置き、その統領を正確にに扱うる。 (2) 敷地について次の要領により測量を行い るとともに、仮設計画書などに反映させる	へ、その 結果を発注者及び監理者に報告す 5.
	〇検査記録		・官公書による検査などの記録を含む		※監理者が指示する	時間帯(昼景、夕景、夜景)	で撮影を行う。		Ž.				(ア) 隊地及び遺路との境界は、隊地関係 に確認し、記録を作成する。	o。 系者、遺路管理者及び監理者の立会のもと
de e	1 10		1 00000 Model 0000		※原版の版権は撮影 2版 第 208114 号 鉄地 職太		用権は発注者及び設計事務所に帰属 機能	9 S		工事名	4			2018 10 3 4
NTT7	ネジリティーズ 未式会社 NTT: アシリティーズ 一級連撃士事務		- 大 - 知道整士登録 第 882141 号 森 良 水 5 業本部 - 知道整士登録 第 896842 号 里見 和		東京 国 2011年 学 3018 東次	†	76.7			大阪市立科学館外壁補修その他工事	- 1	50 E	特記仕様書4	C-4 建築
	大阪府知事登録			-		T 10 10 20 00	世間報告 4HM−1	12-OLD-1			*	R		年度(西播東末) 2025 年 1 日

Т		(イ) 敷地の 合する。	の高低を測量し、進路との高さ関係・排水均配などについて設計図と照		0 אבעא ()	機糧		示による O その他() フトがスムーズに作動する性能		加すること。							e、地上部においても外壁躯体に 場合には、プチルテープ2重また
		[進記]				8	として管理者の	9確認を受けること。	55 B)					はつば付きスチ			工図で明示のうえ、監理者の強認
		(3)建やかに以 ・既存建物に	「下の確認を行い、その結果を発注者及び監理者に報告する。 地下躯体形状			のS ソフト		D O 監理者の指示による KExpel ※PowerPoint		3章 土工事				を受ける。 (4)ドライエリア及び	パルコニーなど	外側南水が入る	御分における出入口扉杏榴下に
		(4) 敷地境界(日を全鉄施設の上、仮点を2箇所ずつ明示する。			557	O AutoCAD	O Revit	9	4章 地業工事	i						し、南水の室内への旅入を防ぐ。
			着手に先立ち、受注者は関係者立会のうえ図面に基づいて製地内及び F理設督等の状況及び製地工程並びに概比・真北の強認をし、設理者				○ Acrobat Pr ※各種最新版			5章 鉄筋工事				数差の高さは、 つよう色を変える			下)とする。なお、段差値は目立
		周辺の転行 に報告する				共用	※監理者専用	○ 受注者と共用		5章 コンクリー 7章 鉄骨工事	- Contraction			(5)建築物の諸室5 仕様、工事区分			ける防水パンの適用範囲、方式、
		(5)その他の関連	547.785		○ インターネット回線()	回線種類	※光ケーブル※WiFi/無線ル	回棟 O ADSL回棟 。 			FIRST CHEMICALON CONTRACTOR	にル・押出成形セメント板工事		业株、工事政 为	4 C 14 / / / / 4 6		
			易 ○地上學療状況調査 ○電波障害測定 ○周辺顧音レベル ■査括定のある箇所		Elekt 7		※プロペイダー	-契約位受炷香負担	9	1節一般	8757777	WAY HEREINGS STORES		(ア)防水(シ 施工場所 配管	防水心	工事区分	機力
			g計図書に定められた条件を満足させることが不可能になった場合に		O レーザー	機種		事務所専用回線とする。 示による ○ その他()	華	1.24	-			の種類・	の材質・		
		は、建やかに	監理者に申し出て、その措置について協議する		プリンタ()	印刷	ж ы л- (水 〇9.1.3	[進記]	下摘とかるっつか[一ト面]	の含水率は8%以下とする。防水施工前に、下		囲・ブ			
- 4	●224	[建記]			100000000000000000000000000000000000000	给纸		O A4 M/A5	工施工一般	地コンク!	J-ト面の含水率を測定し	、、監理者に報告する。		○居垄天 ○ V 井内の	P ※ステンレ スt=0.5	※建築工事 〇設備工事	水上止水面戸村下地: C-100×50×20×32
7	足場等	(2) 手すり先			O⊐ビー機()	共用 機種		○受炷者と共用 示による ○ その他()	事		(層の水勾配は、スラブ勾 成勝さで 防水ウ上以前	配で確保する。 が隠蔽となる場合は、当該部位の防水施工状況		南水排	研観 〇カラー銀	100000000000000000000000000000000000000	吊ポルト: Ø 13 Ø900 程度
			る 〇通用Lない とにより難しい場合は監理者と協議する。		personal page du	機能		リ ※自動給紙				是由し、当該写真を引 波書類に反映すること。		J.C	45t-0.4	i i	振止お: 69 8900 程度
		/e\ @ i=!- @ !	受する要生シートは、騒音・振動等公害防止発例その他規定に従って保				※自動性分け 〇 その他(※両面コピー)	[達加]	(1) 水陽郡	10						軒摘:W-190×H-100SUS 製
		護シート等を言				印刷	※ カラー (Dem	O 9.1.4		〇行わない						+1.0曲/f/加工 水下侧全面
		(6)工事車輌出入	No.角部の仮囲いの材質は透明なものとし、視線性を確保すること。			給紙 共用		5 ○ A4対応 ○受注者と共用	る可服化	(7°) 水引 〇	提試験の範囲(※防水戦)	囲全面、排水順すべて Oドレイン廻り		1	5	I.	熔とし口:SUS 防層間付
		3.節 仮設物			〇 電話()	共用		〇受注者と共用		(4) M3		1 O48 B# 101 O)		(分院水パンか) 施工場所		I FIGURE	1 - F F A N +
	seamen.	3 MJ 100 EX EX 192	*		O FAX()	共用		〇受炷者と共用			體試験における水深は、ま 上で50mm 以上 〇	役計荷重を超えない範囲で設定する。 、		○居室天井内	後視光 ○最奇排水質	O VP 100A	工事区分 備考 A 〇建築工事
	○23.1 監理者事務所	(1) 規模等	(1号程度) O20 m²(2号程度) O 35 m² 3号(程度)		〇 複合機()	機種機能		示による O その他() コピー ※スキャナー		(2) 散水部	験 ※行う	*		の南水排水 (※近接する(賃)水用	へ接続する ○E	自然乾燥方式)	※設備工事
3	*	⊜as m²	(4 号程度) 〇 100 m²(5 号程度)					リ ※自動給紙 ※両面コピー		(7°) % 3	○行わない 水試験は、次の内容を実	施し、防水端部及び建具・トップライト取合い部、		(ケ)防水パンへ	の羅水感知器の	発置 ※設備 図	型による
		上記規模	機の他に 〇発注者事務所(m²) 〇余議章(m程度、〇Web 余鑑対応)			8 3	※自動化が) O その他() 		典祖:	工事取合い部分などの止			(2) (2) (2) (3) (3) (3) (3)	3		工事区分 機考
			〇更衣室(〇男女兼用 〇男女別)			給紙 #用		5 O A4対応			後対象部位 立毎の実施翻用は駐蹕4	fとの協議による。(防水層側、外装各方位面、連		全て	c	12ヶ/1スパン	○建聚工事 ○建聚工事
			OWC (〇男女兼用 〇男女別)		上記に要する費用	2313		○ 受注者と共用注者の負担とする。		具, 0	A・EA チャンパー足元配			(6)地下水位より低	い位置にあるニ	重度整内に設け	る設備水層では、次の排水機構
			8所等の維持保全及び美観保持の費用は、受注者の負担とする。								検実施数 (検の程度 防水の対象部) 位に散水を行い、霜水がないことを確認する。		を設けて、外壁((ア)水槽の程)	面及び基礎スラブ 別(○受水層他	「面からの復入水 ○ 水槽 ○ 原水マ	を排水する。)
			新所は鍵がかけられる仕様とする。 新所の内装仕上げ		(4) 工事名称など (ア) 工事用着		H体、仕上げ、位1	■等はあらかじめ監理者と協議す		散水	は、次を標準として1カ語	Fあたり 10 分間程度とする。		(イ) 外壁面排: (ウ) 基礎スラン		水槽 〇演水マ 東水槽 ※演水	で でット O <u>誘当なし</u>) でット O <u>誘当なし</u>)
		世上			る.						Kノズル任力 4MP e(噴角 fyk	10度)にて、試験創位から約 120cmとなる位置よ。		100000000000000000000000000000000000000			車路面よりも床レベルを高く設定
			・ル床シート張り又はタイルカーペット 現機能エマルジョンペイント塗り又はビニルクロス張り		(1) 設計監理 よる。	の規則サインは	え、「NTTファシリー	ティーズ ロデザインマニュアルルに		(/) f 0				する。また、斜翼 て排水を行う。	細の上下端位置	[には、排水順を	設置し、ガンリントラップを経由し
	-		ROMET イルンコンペイント並が又はヒールンロス派が				ィングシート貼り			試験に先す	から、試験計画書を提出す	「る」試験内容の課題については、事前に監理者		(ア)確保するレイ (石様水道のサ	ジル差(※100mm (ズ(※辞計図に	-200mm (გგ∨⊏ D=	○图示) ○ ○)
					寸法 :W 文字数:	×H				と協議する	。試験により不具合が発	生した場合は、必要な処置を行った後確認のた		(ケ)排水層のふ	t	レス製グレーチン	
	-	(2) 監理者事: 〇什群	務所の備品等の種類及び級量は下記による。()内は級量を示す。 〇 和() 〇 倚子() 〇 余磯テーブル()		(ケ) 仮囲いに	関係法令に定	める掲示物のほ	かの曹板等を設置する場所は、監		改,再度散	水の観を行う。			words and an exception in			・/ (一フロー 管を設置して、近接する
		854 656	〇 書棚() 〇 見本棚() 〇 更表ロッカー()		理者と協議。 (エ) 外部足場:		外壁面などに、エ	事名称·発注者·設計監理者·受注	[達加]	※下記によ	-გ.	1		演水層をパック			J- #280#40.21870
			〇 応接セット() 〇 洗面設備() 〇 シンク() 〇白板() 〇 図面掛け()		#				○9.1.5 防水の保証	防水種類 ロアスファル	小防水	保証期間 10 年		(9)防水押えあごや	PS•DS 立上Yの	天端の水勾配は	は、1/10 以上を確保する。
		〇電気製品	〇 冷蔵庫() 〇 電子レンジ() 〇 陽燐器()	C/±30]					LAI	〇数質アスコ	ファルトシート	10 年		(10)パラペットの作	糖(ひび割れ続	発) 目地は3m 間 MODICは写想の	関で立ち上がり全周に設置し、数
	-	〇工事用	○ 時計() ○ ゴム長靴() ○ 安全靴() ○ 南カッパ()	O234	※監理者事務所:					○室膜防水 ○室膜防水		5年10年		分は3面接着シ	ーリングを施工す	ること	きモルタルで埋め、それ以外の側 manus rough rough
		0.10	〇安全帯()	看板		閏四 (1.5m × 1.5 理者、発注者	m 程度 1 箇所	ž.		〇七ルタル		5 ‡		か 壁の 神福日内	は、里幹書行・日	明日を監理者へは	提出し発認を受けること
			〇 徳中電灯() 〇 ヘルルト() 〇 検査道具一式() 〇 温湿皮計()		SF-772-0-994AV					OFRP防水		10年 6 (+ の2社等の1/47			Fすりの支柱は、	コンクリート天曜	i水平部分に固定せず、側面に固
		○事務用品	〇 筆記用具 〇 OA用紙(通査補充) 〇 ファイル(通査補	D≜#0] ●235	受注者の計画に	FZAH TENDUK	r z			1米(ビニンレ・ビ	2、支注者, 防水池工业	ぎ、メーカーの3社連名とする。		走する。			
		〇その他	充) 〇 筒火器 〇 日塗工 色見本帳	仮囲いその他	Constant of the second	へのに、 F あ とり 1示	(着色 ・有	. 101	[達加] ●9.1.5	(1) 保証期		より次の保証期間内に材料の不具合や施工の		2節 アスファルト	防术	- 83	
	-		5費用は、維持運営費・処分費を含め一切受注者の負担とする。		200	橙	度(着色・有	-無)	シーリング防	水 不嫌によ	いシーリング村の破断。	よく難などが生じた場合、無償にて補務を行う。	0.44	100000			
		数理金属数 类	割には、次のOA環境を整備する。()内は数量を示す。		ゲート・図	示理	(着色 ·有 度 (着色 ·有		及び 保証期間	下記保証 材料 SR	<u> </u>	こよる。 ストラクチュアル グレージングチャン	○9.22 村鮮	[達記] (2)3 種, 修具修煙形	±₹ã.		
		MATE WAS	Democratic Empore Miles Manager			示 •	程度	0.000	14-165-011-1	-8100	MS-2	グレージングジッ ネルビード パーガスケット	50,000,00	983000000000000000000000000000000000000		22 1953 DOM	
					防音壁 · 图 交通整理員 ·	1示 ・ 2人	程度			保証 7年	F 5年 3年	強度保証とも				グシートは、JIS / (は、下記による。	A 8013 (政質アスファルトルーフィ ・
							性縁製 つその	他()		期間		10年 CR- PVC- 7年 2年		〇種類:	、厚さ:_		
							n ≜ 20m	Q30m以上() 執(アドフラットホワイト)		(2) 期間内 保証期間P		6られる場合は、受注者の費用により検査を行っ				表 9.28 までによ ルトルーフィングジ	よる。 シートは、JIS A 6013 により、種類
					0-	描画及びデザイ	(ン(内容は受圧を	で提案すること)				う。連緊物引息時に、シーリングに対する定期検 の定期点検を代行する場合の時期・方法・費用な		及び厚さは、特	記による。		
								いのもと位置を決定する トとは別にくぐり戸等を取り設			の注意争場のの発注者。 注者に提出する。	の定期品便を代行する場合の時期・万益・責用な		○機類: 特記がなけま	、厚さ:_ いば、表 9.25 から	表 9.28 までによ	la.
					以囲い等に収録ケー け、歩車分離を徹底							原則すべて2 重シーリングを行う。 一トと金属等実理部材の取り合い部には止水の					
				[達加]	*******	-1-6-8-11 443	E/4-12 - 104 ha 24/86	・工作物・通行人等に対して福客を		ためシ	ーリング目地を設けたう	でシーリング止水を行う。		(6) 押え金物の材 ※アルミニウ		は下記による。 : 20(mm)程度	0
				● 236				里者及び各関係者に確認を得て実 ・エTFが1・短17人 寺に対して信号を				などの止水ライン貫通部にはシーリング施工用 、2 重シーリングを施工する。					及び厚さは下記による。
				保護設備	施すること。 モー機変あた		SAU-drawer	5海田子華栄表紀パーキに乗りた		(6) 笠木な	どの熱伸びが想定される	シーリング施工箇所においては、熱伸びを考慮し		MA X	b b	弁田試不リスナレ	ノンフォーム保温材の保温板3種
						てた時は、建っ の負担とする。		・復旧工事等を行い、これに要した		tc. 5-	ーリング目地幅後計を行	N監理者へ報告する。		厚さ O		走フロンを含まな	いもの)
					4節 仮設物	***			[達加]	(1)風除本名	筋水する場合は、内部で	び外側との防水の線を切り、風除率に排水口を		(9) 屋根露出防水	 所勝工法に用い	る断熱材の材質を	及び厚さは下記による。
						ALL ALL			O9.1.7	設けて概	着りの排水層に接続し、	たまり水を排水する。				硬質ウレタンフォー 後を除く規定に合わ	一ム保温材の保温板2種1号文 株まるもの
				〇24.1 仮設物機夫性	[進記] (3)工事完成後4仮題	林山腳。梅鄉	お食材を含むした	残電する場合は、発注者及び土地	止水,防水			り防水に接する沓褶及び建具枠には、ステンレス 層を巻き上げまたは塗り上げ、止水を完結させ		<u>ਛ</u> ∻ 0_		~~ PP-136/E1~D1	D 7 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 -
-28	a			JACK THIS A T				労働する場合は、元任者のOTA 併せて残置図を作成し竣工図に進	75 (5)	ð.				8000 0000	507		
m			株式会社 NTTファシリティーズ 一級機能主義無 第 882141 寿 泉 良太		景 剪 208114 异 货速 暗水	49		株配			I 章名	-1 To 100 and 10 04 14 15 -2 - 11 - 1	200 8	特託	仕様書5		1908年 12分 CーS 連撃
9	NTT ファ	ンンナイー人	一級連繫士事務所 西日本事業本部 大阪府知事登録(ト)第 14884 号	# T		1	100 101 100	발전화 주 4HM-	12-0LD-1		大阪市	i立科学館外壁補修その他工事	輸水				年度(医療表示)

	(10) 絶縁シートに使用する材料は下記 (原理/内容的セ本美味のエはの)	ぶよる。 び屋根保護防水耙線断際工法の場合)				度に平場・立上り倒ともに幅 25mm の 7に当たる場合はその周囲に設ける。	村料			を有する改賞アスファルト系などの F地の挙動に対する絶縁と通気対		. 12	特出政争也不开极	性上げたし	
1	※ボリエチレンフィルム厚さ 0.15m					とし、立上り御表面仕上げから600mm		応及び止水性を有る		AROUND A WHENCH TO WAY		AC.	ALC	仕上げあり 仕上げなん	%MS-2 · %PU-2 ·AU-2
	○フラットヤーンクロス (70g/㎡看			内外の位置に			O 953	防水層の工程による		eget:			~	仕上げあり	WMS-2
	1074 0 1000 0 1000 1000 1000 1000 1000 1				他の深さは、アスファルト防		防水層の程別	種別	施工箇所	領考		有出成器セシー権	有出席がセベル根	the Hon.	₩PU-2 -AU-2
		5屋根保護防水耙線断際工法の場合)			《PC 製棚備・モルタル金ご)	C(最低厚さ40mm SUS製溶接金網26	及び工程	○ X-1(耙橋工法)	A 50-85 Au 300-25	世上塗料の種類及び使用量		5-20-ER18-ER-51-51-58		仕上げあり	₩M8-2 ·
	※フラットヤーンクロス (70g/m)看			φ@60)	Established			O X-2(密着工法)		は下記による		A139 H	彩宝 彩作	100-00 K-10/05	7007060000 10 1007060000 10 1007060000 10 10070600000 10 100706000000 10 100706000000 10 1007060000000 10 1007060000000000000000000000000000000
	(11)(エ) 立上り旬の保護に乾式保護権 ※押出成形セメント板(厚さ 15mr					ノッセンスの発生が見込まれる箇所に ダイプラ(株)ネトロンパイプ NL-50 同		0 Y-1	地下外壁防水	1 2			407> 4 46 90 HE	34	※8F-1 (화차선절)
	My parone and a second communication	···· ×——		等品以上)を敷設		2 1 2 2 (1407-1 P = 2 1 1 2 1 1 2 0 P)	1	O Y-2	* AB 1-21-至10.74	防水保護層は下記による。			後の一化粧を回り		
O923	防水層の工法による種類及び工程は1	F記による。		(11) 機械基礎周り				30 172		※適用する 〇適用しな		No.	bern.		-P8-2 :::M8-2 ·
防水層の程		備考				層の上に設置する場合は、防水層に				is .		アルミニウム製造局などの)工場の一ル		%P8-2 ⋅8 R -1
類、種別及び		立上り側の保護工法は下記による。				に、また基礎面積は最小 1 ㎡以上と		〇 エボキシ樹脂素	·工水、雜排水、汚水、排	2		持リカーポネイト根・アグリ	in land ub		※89-1 (現プルロール型)
工程	O A-2	1.			リート内に鉄筋 D10@200 船 星会は、気は吹火田の経り			<u></u>	水調整備					表 9.7.1 になり材ま	「の組み合わせについては、
	O A-3			(4) 協田助水の名		行用保護シートなどで補強した上に機		0 アクリルゴム系					指針表 9.7.2 をもとに		
	O Al-1	立上り部の保護工法及び断務村・絶縁 用シートの有無は下記による。				ない。やむを得ずあと施エアンカーを	4	〇ピニルエステル茶							
	O Al-2 O Al-3	HO TOMME PERSON				旨の資料を作成し、監理者の確認を		○ボリウレタン系○ 無機質系				[進記]			
	0 25	〇 断熱材の厚き()		受ける。						<u>. </u>			シーリング材(PU-2)に	4、その上に施すせ	出上塗材などを汚染Lないも
	507	○ 絶縁用シート		200 SECTION SECTION (1997)				75.50 (15.00)	質() 設置数量(が当たり1箇所)		のとする。	量小, 防小野主什锦!	-田いなみにいが	材は、当該認定条件を満足
	O B-1	ルーフィングの仕様は下記による。		3 節 改質アスファバ	ルトシート防术	<u>- 35</u> ,		7500 P. SONO P		orvatio protein acest		するものを使用		1110 -600 70 7	THE HOME WATER
	O B-2	〇部分接着層付取質アスファルトルーフ			1910/1910 1914 4410 C	(Marie)				星(各種電気関連室文は上下階で				すが接する場合は、	、その組合せで双方とも硬化
		イングシート	〇9.3.2 村群	(1)(ア) 改賞アスファル (マ)料金単せる第7	小シート 祖領: 『スファルトシート 祖鏡:_	_、厚さ <u>:</u> _ 厚さ:				设けて塗膜防水を脆す。 霜水検知			汚染・被着体との界	面はく難などの不見	具合がないことが確認された
		○砂付き穴あきルーフィング 立上9部の保護工法は下記による。	mar.	(1740 ALIE 1940 ALI	AJANIJ I ABR.			テーフは、数備工 (ア)室名(O	事とする。範囲は設計図によ	5.		ものを使用する。			
		()	O9.33	防水層の工程による	6種別は下記による。				職(※コンクリート 100mm ①		●9.7.3	40.0.10.00	~ B 14 + 14 + - 10 -	L 7	
	O 80-1	ルーフィングの仕様は下記による。	防水層の種類	祖別 施工	箇所 机	持]	(1)== 3***	4000 = 2 / / 1 Teamin (目地寸法		の目地寸法は下記に 「継ぎ目地及びひび答		幅 20 mm, 深さ 10 mm 以上
	O B1-2	○御分接着層付政質アスファルトルーフ	及び工程	O AS-T1		上塗料の種類及び使用量は下記	1	(4)居室内に空間機	Pや水槽・際交換機などがある場	合には、周囲に立上りを設けて塗	H-CO-11 AA	ht	THE THE STOWN	11 MARIA 201	■ *** IIII (大) 10 IIII (大)
1 1		ィングシート		O A5-T2	15	ikā .	1 1		『水及び漏水検知テーゴは、設((イ)ガラス回りの目	地	***	幅Snn、深さSnn 以上
		○砂付き穴あきルーフィング 立上り餌の保護工法及び断熱村・絶縁		0.45.4		(在杜表の現在、明年を見はてで)	1		WOOOO			2000 1015 TOUR	187	0	ge more sty
		立工り間の保護工法及の断別村・把縦 用シートの有無は下記による。		O AS-J1 O AS-T3		終気装置の程類・設置数量は下記に :る		(イ)立上りの仕様: 6 節 ケイ酸質系差	※コンクリート 100mm 〇() 第 布 版 水			(ラ) (ア)(イ)以外	の目地	**	幅 10 mm・深さ 10 mm 以上
		()		O A5-T4)		**************************************	2 10 \$0000					<u> </u>	
		O 断熱材の厚さ()		9 6 9 17	l t	上塗料の種類及び使用量は下記	O 981	[連記] (2)ケイ酸質素	塗布防水材の適用部位は、表 (88.1 によるほか、下記による。		(エ)ワーキングジョ	イント目地		該当部のムープメントに進 可能な目地幅とする
	4	○ 絶縁用シート	:		13	よる	一般事項	防水層の位置:_		- 29		[進記]		(E)	A) MESCHARING CAS
	O D-1	ルーフィングの仕様は下記による。		1-2-1	1								まは、次により、必要に	こ床位です法を調問	\$\$\$.
	O D-2	○部分接着層付取買アスファルトルーフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		O A51-T1		(気装置の種類・設置数量は下記に ・	102010000	73000	1 200000000 V	F120220					関する技術指針・同解説」シ
		ィングシート 〇砂付き穴あきルーフィング		O A51-J1	1.7	:ā	○ 9.6.3 防水層の程別	種別	施工箇所	機考		ーリングジョ・	イントの設計による目	増加の算定式	
		脱気装置の程質・設置装置は下記による			l n	5屋屋の設置()	及び工程	· C-SUP	1			〇設計図による	à		
		()				上塗料の種類及び使用量は下記		- C-3G	18 5	776:		//) -t- = \ -t-	_ ii ds (2) = 44 (4 2 mas		皆高の 1/200 の変位でシー
		仕上塗料の種類及び使用量は下記によ			1;	よる こうしゅう	O 9.6.4	(1) (イ) 壁及び天井(創意下記による。				が生じないように目と		1 m 0 1/200 to 16/12 te 2-
		[4			2	()	施工	0 %=	コンクリート打放し			24.7310.544			
	O DF1	・ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /				所熱材の厚さ()	1				●9.7.4	D差記1			
	O DI-2	(4.節 合成高分子系	ミルーフィングシート防オ	<u> </u>		[進記]	7 - 14 MM 14 - 101 - 1, 7		施工				シドブレーカーなどを適切に
	0 572	仕上塗料の種類及び使用量は下記によ							5下地処理は下記による。 分みな経費電流知用用学は 8	方水材製造者の指定による通切な					, 動きの小さい目域ノンワー
		a	O942	(1)(ア) ルーフィング	シート 程質:	⊈ さ:			K、新面補修等行5事	131011 BORE 0 03 BOR 1 C 80 0 1 9 1 9					「割れ誘発目地化ーリングを」。3 面接着とする。これ以外
	s	()	村料	And the second second second	-9トの材質は下記による										
	O E-1	保護層は下記による。			ジェチレンシート 〇				のコンクリート打雑ぎ箇所の処と	里は下記による。			25 - 12 - 16 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		M20-MMC177
	(屋内)	O 設ける O割けない				 は、同工法専用のものとする。		O	深さ30mm の目地線			(8) 外壁貫通御(8	とい・梁・配管など)は	、つば付きスリーブ	プ打込みとし、外側の周囲は
	O E-2 (羅內)	1			※アルミニウム L-30×1			1 Mt 2 111 JF				二重シーリング	たする。		
O9.24	(1)(ア) 下地がモルタル塗りとする場合	の適用簡析は下記による。			L-30×30×1.5程度			7節 シーリング				20) M PAI- Polita	14.7.4.Wh == TH M	LL MOTE LANGE	州八・本王北原1951年 本
施工	0			(5) 新黎用シート(5-			●9.7.2	(2) シーリング村の	種類及び施工箇所は下記による	5.			ける金物の阿骨を買い -リング村 10×10mm		部分への南水浸入防止のた
1909-191	(イ) 立上りは下記による。	8 98		※発泡ボリエチレン		O###/ +=)	村料	The second section is a second		7.50		の、周囲にシ	A TO Y TOWNS	程底を充填する。	
	※コンクリート打放し仕上げ 日種			(0) 正工室科 ※機	學色(・シルパー ※カ ラー)	の権法性(ガラー)	0.80	装着体の担る		シーリング村の種類		(10) 外部に面する	5両掛り部の実種工具	を取合い部分はすべ	ベモニ重シーリングまたはニ
		Y創局辺の断熱材の張yにまい位置は下記に	O943	防水層の工法、種別	及び工程は下記による。			金属	金属 方立即地	₩8 F +2 ·		豊の止水処別	星とし外側側の止水が	が切れた場合でも中	中間層から排水される機構と
	よる。 ※設計図による O		防水層の種類			庁塗料塗り 使用分類	1		方立894の		30_4330000	する.			
			及び工程	O S-F1	0 :	シルバー 〇カラー ※非歩行			コングリート	35M8-2	●9.7.5 Co. (Co. (************************************	200 100 N 10 15 17 10 14	4-FDI- 6-7		
		リートは、床板と同時打込みとする。 やむを得		O 5-F2	Ž.	〇 軽歩行			#97 5-8-7h		シーリング村におり		スト記にぶる。 試験 O引張り接	全性計學	
		置は、スラブ面より100mm 以上立ち上げ天猫		OS-M1	0 :	シルバー ロカラー			ALC HENTOL	₩M8-2	andr.	AND PRODUCE OF LEAST	THE COMMON	= 110~47	
	を外側に勾配とする。			05-M2 05-M3					社上げあり			D差記1			
		場合は、立上り側は水平側分 800mm を含ん		05-MS 051-F1	n.	シルベー ロカラー			神出席がセメント権	₩M8-2					材料組み合わせによる試験
	で防水層の増し張りを行う。			OSI-F2				初始無途是	於1進化ビニル中華型村(中華製造具	₩MS-2			は、塗料を含めたす	べての被着体との	組み合わせにおいて、実施
O925	(4)(イ) 平場の保護コンクリート(溶接金	棚入りの厚さは下記による。		OSI-M1	0.5	シルベー ロカラー			ゴングリート	₩M8-2		する。	- 優胜太紅末曜本は	いづけードカノナ	とし、塗装との相性を確認す
保護農業の施				O51-M2	0				#9X	₩8 ₽-1 ·		a,		7227 12126	TOT MAN COMBITTE AND A
I	床タイル張り等 〇 設計図による	5 ※80mm以上							ALC HEREN	₩M8-2 ₩M8-2			グ村が接する場合は、	、石材の汚染性癌	線を行う。
	(5) 立上9部の保護工法は下記による		O944		前村下地の場合の目地処理	(接着工法)は下記による。			ALC <u>HENTOL</u>	###9-2 #PU-2 ·					継ぎ性について、シーリング
) 0 香	MEI	 設計図による (a) (a) (a) (B) (b) (c) 		コンクリート部材の入隔部の増張りは			神出度器セズル機	₩M8-2					a 号によらず引張接着性試
	種別 自動物保護社 自力心が無き	え ロコンクリート押え ロ モルタル押え		下記による。	1 SCO-SI-FT COMMENDED	コンシューレ単一体 の と 1種種 の 原 変 かげて	1	ガラス	#JEAN	₩8 ₽-I					紫外線の影響を受ける場合
	(7) 屋上排水頂は下記による。	C CASTA FAIR O ENGINEEL		設計図による	0			-6	5 特型能量工	使の目域 ※MS-2					障がないことが確認されたも 実施して支障がないことを確
1	〇設計図書による			(5)(イ)(a) 機械的固	定方法の建築基準法に基	づき定まる風圧 力は横遮根要書によ		<u>d</u> 29	148.84T	EN& %PS-2 %MS-2		おする.	20 - ALL C. C. C.	PUEBNANC S	
		25mm, 拥目寸法 90mm の路接金拥製込み)			対応した工法は下記による			コングリート	プレダヤストコングリート	-P6-2 %M6-2					
	[進記]			1000-C100-00000000000000000000000000000	°			10484	打練回地 住上げたし	-PS-2 %MS-2		8節 セメント系	防水		
	(8)水均配	IN PORTOR OF P		5 dt 36 10 th-4					ひび割れ系統目地 仕上げあり	%PU-2 · AU-2	F344-1	(1) EE PI UNET AT	£ 4 19 - ⊬Z		
	○ 設計図書による ※1/100 機械基礎等の回りにも伸続調整目が			5 節 塗膜防水					5-M-M	%P8-2 %MS-2	D≜#0] ○9.6.1	(1)種別と施工個所 種別	14., 10-50	施工箇所	ŕ
	(9)伸絡調整目地	and another for the second	O 9.52	D色記1					ALC HEHRAL HEHRA	₩M8-2 ₩PU-2 - AU-2	施工一般	0 M/7 - FXVI	蒸室膜防水	图示	
4s = 3	Li	1 0000 0000	- Parenter		Trans.	NI-wes	6 6 8		1	Process (MAX)		•PA-1	amu41-014/03/13/	1000	25 No. 20
m	株式会社 NTTファシリ			登集 剪 208114 号 新地 職太	祖惠	HAE.		工事名			20 8	结束	記仕様書6	1909 4	整件 区分 C−6 建整
יכ דדא (פ	アシリティーズ 一級連系士事務所 西	日本事業本部 -銀建造主金株 第 896842 号 里見 和	und 🗆		1	tros	All and the All and the Control of the		大阪市立科学館	外壁補修その他工事	-	14 8	2001年世	10.000	7 77 77
	大阪府知事登録 (下)第	14884 号 _			The real management	4HM-	-12-OLD-1				輸民			- 年度	(医医素末) 2025年 1日

(1) おようか (1) おようか (1) からいっています。	(力) およいによろで、関大を向い。
---------------------------------	----------------------

付けの D差和 O11.6	型件先	●14.1.3 工法 ○14.2.1 アルミニウムる びアルミニウム	○ 行う 週間報 「注記] ただし、軽歓は場合 (方) 設計明別 超	順 機を耐力之 は数度者の発線 に の圧接数計能 に の圧接数計能 に の口を放射 に の口を放射 に の口を に の口を の可能 の可能 の可能 の可能 の可能 の可能 の可能 の可能	小口をソー切断ま りする。 いた薬科状付い の結合用料・取付付 はステンレス裂とし P分に使用する全て 緩み止め処置を行っ を含め、素面処理以下 を整め、表面処理以下	O行 することができ を考慮し、付えばりに基づき たはプレーナ 金積でステン のポルト、ね の がルト、ね	()日本建築 許容引張 一切断とし、 レス・アルミ により必要な	O1422 鉄鎖の亜鉛 t つき	外短に接するボ (4) 溶験亜鉛が 加工が必要	の着色方法は下 O 村で、塗装仕上 製亜鉛めつき(※ ルト・ナットは、皆 5つき鋼材の加工	Rick る ,	記により里筋1 3寸。 にステンレス製。 さおこなわない	⊵ಕ್ಕ.		部する場合 合成語ブレー (内臓素)カガノー 特別カガノー科 (13)一般耐度 15 カルルー (13)一般耐度 15 カルルー で、大変の で、た で、大変の で、たで、 で、大変の で、大変の で、大変の で、大変の で、たで、 で、たで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	は、間性切りを含めた た、内の側対は、(-03×10 た、スの放射を変し、3)の 原は、圧縮力に対解発 を表し、変し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット を表し、水ルト・ナット と、水ルト・ナット を表し、水の を表し、水の をまる。 をま	強度検許を行い、後 2×1.2(mm)以上とする ま以上の度以下を。 ま以上をの度以下を。 後上の集がたによるもの が上のが定着を開かる。 が上のができます。 が上のがは、 からは、 が上のでは、 からは、 がしたにし、 がしたが、 は、 になる。 には、 がしたが、 は、 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 になる。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。	原則とする。プレースは低 固定方法は、耐力が発揮 かとし、現場溶接は用いる もとする。 よる範囲。 のでを得ない場合は、金属 、局所的に集中しないよう とした。 として、野標 に関係して、野様 に関係して、野様 に関係した。 に関係して、野様 に関係し、野様 に関係し、野様 に関係し、野様 に関係し、野様 に関係し、野様 に関係し に関係し に関係し に関係し に関係し に関係し
施工	イルの製造べに先立ってあらかじめタイルの表面に製粉機などを整布する ような物理を行う場合には、これらの材料がタイル表面以外に付着しな いように注意する。 (イ)タイルの製造べは、目地割りに基づき、厚き、はがれのないよう配列よく	合金の表面例理	表面処理の種別 ○AB-1種 お着色環境酸化皮質	皮膜または 塗装の種類 ※AA15 OAA20	色調など ※シルバー O	使用個所	機考 皮膜 ※で小規程	(表 14.2 [達加] ●14.23 ステンレスの引 面仕上げ	ステンレスの表 ・ 下記によ	る。記述がないと	きはHL仕上げ程度 述がないときはHL 箇所		ra.		対をパラン りブレース: (イ) ブレース: カに 留意 し	ス良く配置する。間仕り 2省略する場合は、監界 の設置角度は 30 度以 、圧縮材の検討を行う。	河で囲まれた小規模 星者と協議を行う。 上 80 度以下を原則 ・	女に X・Y 方向それぞれ− 岐な天井 で、代替処置によ とする。プレースは圧縮分
	緩機の目的値を正しくかつ引通しよく裏並べる。はく護科は、コンクリートの島質及びシーリング村・表面仕上剤などの付着に有害な影響を与えないものを使用する。 (ウ)コンクリートの打込みは、振動機などを用いて容まれるように打ち込み、じゃんかを関係できないようにするとともに、タイル・配路・先付け金物・先付け材料などを影動させないようにする。 (エ) 製造に当たり、はく離剤の添付状況、打込時の状況、実生・脱型時の状況、仮置方法などを記録し、保存する。		〇AB-2程 着色陽極酸化皮膚 〇自然発色 ※2次電解着色 〇 〇AC-1程 舞着倒模酸化皮質	 **AA15	のプラケン系 のプラック のステンカラー ※シルバー の		皮膜 ※で小規型 〇 皮膜 ※で小規型		 ※HL ○韓面 ○アッ乗機局2数 ○パイプレーショ ○プラスト 4 節 軽量数骨天 	表 設計 ン 設計 設計	図による 図による 図による 図による				計施工要額」) (21)切板の軒天 は、アルミナッ レスワッシャー ったうえで、ル	の 9 章天井を準用する アルミパネルスタッドエ ト、アルミワッジャーを(・とする場合には、可能	。 法などでアルミニウ 使用する。やむを得り な限り異種金属の K、結構水などが滞	医工指針・同解説および認 な本村に直接ねじ切る場合 ずステンレスナット、ステン 接触腐食防止解処理を行 留しないよう、通切な対策
	(オ) 打込み後の要生温度、時間については、製造工場の立地、季節などを十分に検 計し、具体的調整方法を施工要発書に明記のうえ、監理者の確認を受ける。				10		S	〇14.4.2 村野	(2)野榛等の種類は 屋内 ※19 形						設計用耐震性能 施工箇所	設計用震度	40	概要
[2差加]	6 節 大判タイル張リ工法 (1) 大利タイル張リ工法		OAC-2 程 着色陽極酸化皮膚 の自然発色 ※2次電解着色	₩ΑΑδ L	ロブラウン系 ロブラック ロステンカラー		皮膜 ※マy 規理 O		屋外 ※25 形 [连記]	0					在来天井	O1.0 O1.5	Ο0.5 Ο απ5	3
り工法 C差加: O11.	(mm) (mm)		〇日本1程 京着色階極動化鐵鐵 複合皮膜	※A2(9+12) i OB(9+7) OC(6+7)	*\$\u00f4\u00f4	2 2	登膜 ※つや別し 〇つや制 皮膜 ※マット規理 〇		下げ式の場合は (カプール、俗室等) き鋼板(吊りボル	性下地を使用す。 ル・パネルなどの L天井または外音 ロナット留めなど 高煙度となる諸さ トはステンレス)。	る。 9金属製天井村の8 1軒天などの場合は 7の銀み止め対策を 2における天井はス とする。天井下地を2	#結材は、ステ 、ステンレスポ 他す。 テンレス以外に	ンレス製(#200 ルトを用い、吊 に高耐食性あっ	[連加] ○1445 耐寒性能	のとする。 (石)耐震性能 (2)設計用地震) (3)設計用自量に	数計畫を作成し、監理者 対象計用自量×設計	fの確認を受ける。 用震度とする	とし、天井の脱落がないも に支持された間仕切壁が
D差加; O11.8			〇日A-2程 着色陽極酸化塗裝 複合皮膜 〇自然発色 ※2次電解着色 〇	Oc(6+7)	・プラケン系 ・プラック ロステンカラー		登膜 ※つや別し 〇つや別 皮膜 ※でyト規理 〇	〇1443 附式及び寸法	格と同等以上の (1) 野黎受、吊りボ 屋内、※藤仕 1。 屋外 ○144.5] (2) 野黎の間側は 屋内 ※藤仕 3	いた及びインサー 143(1)による こよる 下記による。	-トの間隔は下記に	ta.		[進加] 〇14.4.5 屋外天井	(1)本項は軒天井 (2)耐風圧性能 (ア)設計用層 主要餌材に有	など屋外の天井に通用 圧力に対して、各側村 客な残留変形が生じな 算書を作成し、監理者に	許容応力度以内とし いものとする。	に付加または優先する。 L、仕上村の変形・脱熔や
	12 章 木工事 13 章 整核及びとい工事		〇日B-1種 集會色際極動化經過 複合皮膜	OA2(9+12) i ※B(9+7) OC(6+7)	#9#\\-\-		金膜 ※つや別し 〇つや制 皮膜 ※では関係	O1444 工法	屋外 〇144.81 [差記] (12) 天井のふとこ	こよる		合は、[38×1	2×12(m)以上			(書)による。 (圧力の最小値は、±2 Po(対象側位: よる。)	£mm)
14 章 金 ●14.1 馬 基本图 工	1節 共通事項		〇日B-2 程 着色陽極酸化姿勢 複合皮膜 〇自然発色 ※2次電解着色	OA2(9+12) i ※8(9+7) OC(5+7)	・プラケン系 ・プラック ロステンカラー	3 8	※ですり提覧 の 塗膜 ※つを別し のつをあり 皮膜 ※ですり提覧	(PERSONAL)	を用いて、吊水」 対する斜め材を るが 2mを超える ぶどう棚の仕 東村 L-90×8 留村 L-150×	LHの水平補強を 1 組とL版・横方 5場合はぶどう機 横立下記による 0×9の機横 180 75×9の機横 180	縦横断柄 1.8m 程度 向に間隔 3.8m 程度 を設ける。 0 00	見に行う。また、	斜め補強は相		提覧シングル野機ダブル野機野機 妥野機 妥野機 妥ハンガー	※一般的 25×25×0.7 以上 50×25×0.7 以上 40×20×1.5 以上 厚さ23 以上	0	- 備考 高耐食仕様の場合に限り板厚 0.5 以上 ポルト固定・開鎖
	して、整理者の解説を受ける。 (3)温度仲籍や地震や強風による層間変形時の学動に対して、実音先生を防止する ための対象に因示し要注着でも機能、対策を施す。完成引展後、実言が発生し場 合は、実注者の責任で防止措置を行う。 (7)金属材料は、温度伸縮や地震、強風等の現場及び経年変化に対して、破積、脱 集、銀みが無いたり、使用動所や状態に応じて必要な地質を強に、十つな安全性を		〇 〇田C-1 種 茅着台灣複數化塗裝 複合皮膜	OA2(9+12) OB(9+7) ※C(5+7)	※シルバー O		O_ 塗膜 ※つや別し Oつや 訓 皮膜 ※マル規理		(13) 下がり壁・桥」 30×3(mm)程度 設けて補強し、1 1)段選いが3 ・上記	以上の御材で、間 F地を一体化する 00mm を超え、80 UCよる 直面を壁として扱		囲振れ止め値	対展プレースを		クリップ 吊りポルト 水平つなぎ村 ブレース村 耐震ブレース (5)工法	厚さ 20 程度 1/2*(12章) [一40×20×1.6 以] 同上	E C	型を原創とする 天井 ふところ が 1.0m 以上
	経保する。また、異様金属の検熱病食防止処理を行ったうえで、有害な水分等が 滞留しないよう場切な対象を施じる。 (3取付下地を含む機成傾れは、設置状況に応じ、30~30~程度の年間屋度差に対 して性能・機造・表現上有害な火脂が発生しないものとする。ただし、シーリング村 は、9.83 による。 (9) 笠木は、各種の収まりが通切で 13.1.2 (6) により定まる高、『検定機要書』により 定まる風・雪・哲定される環境下における微などの外力に対する安全性を経保す る。 (10) 人の手の能れる可能性のあるフラットパーは冷雨取り(0.03mm 程度)を指すこと。		○BC-2 種 着色限極熱化塗装 複合皮膜 ○自然発色 ※2次電解着色 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	OA2(9+12) i OB(9+7) **C(6+7)	・プラケン票 ・プラック ロステンカラー		登機 ※つや別し 〇つや制 皮機 ※マッド規理 〇		2)段進いが 6) ※鉛値 ・設計 (14) 一般天井の耐 ※設計用震度に 〇以下(ア)~(7)	図による 震補強は、次に。 対して脱落しない 対による。	、設計図による。 よる。 小事を確認した、製造				(ア)野線の間隔 (イ)風圧力によ の補強材を (ケ)天井のふ。 は、[-19×	ナゲランス良く設置する ころが 1.0m 以上の場 0×12 以上を用いて	めとして、剛性の大。 合は、縦横間隔 1.8 対め補強を施し、水平	さるものとする。 きいアングル・パイプなど 2m 程度で吊ポルト同村 X 平つなぎ村を設け、施工要 は上を用いて水平つなぎ村
			16 RC 展の工に 塗装 鉄 曽 28114 寿 新地 線太	相略	144	<u> </u>		07 (6)		/震性能検討書	を設ける。耐震ブレ C基づき XY方向も			[A±A0]			る特定天井(「脱席」 1989年	こよって重大な危害を生ず
Фи	下Tファシリティーズ 一条成会社 NTTファシリティーズ 一条成金数 生 平条		上水 田 如如日本 河南 野花 際次	7	-00	164	4HM-	12-0LD-1	3		立科学館外	壁補修を	の他工事	MOR.	特	記仕様書8	С	8 建築 9階東末I 2025年1月

O14.4.7	る恐れがある天井」)に適用する。		(2)予備の下地補強は、下記による。		四周シーリングを施す。			2	装		A
特定天井等 進加	(1) 国交省告示第 771 号 12 規定される特定天井 ※適用する (室名)	1	通用値所:	[進加]	アルス建具の枠廻りと他の内装仕上村の取合卸には、見切りPL(St-PL加工	1			000000		
J=10	○通用しない 単名 J	1	8.節 金属成形板張り	O14.85	アルス連具の特種がと他の内装在工材の取音側には、見切りPL(St+L/lilエ SOP)を翻する。		ログレ ーチ ング		isus 製 表記なき 目	〇歩行用(和	OU 側備 〇受枠付 用 ポルト固定
	(2) 木製天井・金鶴天井・鉄飾天井などの屋置天井	200000	MINISTER PROTECTION CONTROL OF PROCESS AND	設備取合パネ	天井及の設備取合御、関ロ運ぎ御は、天井林に合わせた運ぎパネル(St-12		.		御全	OT-2 用(細目)	○無水科 (単止)
	※適用する (整名) ○適用しない	〇14.5.2 村料	(1) 金属成形板の種別及び表面処理は下記による。 形状 製法 材種 寸法 厚さ 表面処理	JL-	曲げ 加工 焼付塗装)を設け、設備機器との色合わせを行う。	1	20000	τ)	OT-16 用	用 スリット化剤
	(3)学校施設における天井等落下防止対策のための手引に規定される天井	171.47	PMA 後本 MME りぶ Dec 表現他を		ルエ がり至続いるがり、故様優好といどもわせるですが。 取付範囲、寸法、数量は設備図参照により通査判断し見込むこと	1)類製)アルミ	OT-14 用 OT-20 用	○字順用 (インター) ○かさ上 ロッキング目
	※適用する (室名)	1	Oスパンドレ O 押出L ※アルミ O B-1種	F 34-5-1				*	2000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	17.10.75.11A	rf用 FOH)
	○通用しない(4) その他の天井	1	ル形 〇 ロール ニウム製 〇 日-2種	[進加] 〇14.8.7	施工個所:内外仕上げ表による 材質及び仕上:設計図に特記なき限り、フッ素機構焼付塗装/タリック)とする				機脂製		0/シスリップ
	※適用する (室名)	1	O パネル形 O プレス O () O フッ素機能	アルミカットバ)本製)鋳造製		タイプ
	○適用しない	201427407424	○ 切板 ○ フク素 破/lei 焼付け塗装	ネル			〇穴開き		類製		〇歩行用 〇亜鉛器
	(1)特定天井の構造方法(仕様ルート、計算ルート、大臣認定ルート)、地震力など、	O14.5.3 ⊤⊯	(1) 取付け用下地は下記による。	[差和]	設計図に表示なき限り、領板 に1.5AP 焼付塗装、取外し可能な機構とする。	1	成形 48.45				⇒ಕ
	構造的な必要性能は、構造概要書に示す「非構造部材の構造的な必要性能」によ	工法	※14.4.5 軽量鉄骨天井下地による 〇 (5) 伸精調整梃手の設置は下記による。	O1488	9床埋込型ヒーターを設置する箇所は、通宜グレーチング等による関口を設け		鋼板 (め⇒				
	る。 (2)ここに特記する事項以外は、関連各章・各項の該当事項による。	1	※設けない O 設ける(施工箇所は図示)	ペリカウンター	ること 取付範囲・寸法は、北側車側居室部分(X1から X12かつ Y2から Y3)に		き品)		8		G
	(3) 特定天井の横進方法は、下記による。		[#S]		1スパンに4カ所としアルス製グリル 1800×100 フッ素樹脂焼付塗装とする		ロマンホー	图示 5	蜂型製	800 Φ OT 4 B(★th)	○室内防 ○ポルトロッ
	〇世禄ルート 〇計算ルート 〇大臣認定ルート	1	[注記] (③外側に面する金属板の裏面には、結構防止材・両管防止材(グライト程度)t=	Page 1	\$2000 1000 200 000 1000 1000 1000 1000 1		JI-			OT-2 用(室内) OT-20 用(外	水防具 ク (地下ビッ 〇化粧腫
	(4) 地震力など、構造的な必要性能は、下記による。 設計用地震力	1	5mm を吹き付ける。	(進和) 〇14.89	設計図に表示なき限り、類板 ±15AP 焼付塗装とする。 ・ 市販品(アルミニウム製 押出し型材)は下記による。					HMB	h水槽上 外槽)
	※14.45(2)による	1	1節 アルミニウム製笠木	プラインドボッ						1 m m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1	御 〇室内防
	ОИН= 1 , ОКИ= 1 , О (0.5) + KV(0.5)	170.200.400.4	-A-7/2024	クス	O 200×250 O 100×150 O						水防臭耐
	(3) 天井に支持された間仕切り壁がある場合は、その高さの 1/2 の重量を見込むこと。	O14.7.2	(1)(3) アルミニウム製笠木の種類、表面処理は下記による。		●影 ※日-1 ○ 日-2 ○アクリル樹脂焼付塗装 (※プラウン系 ○ プラック ○ ステンカラー ○ 指定色)						飲風房
	(3) 上記による他、計算書等を作成し、監理者の確認を得る他、評細については監理	村郷	種 類 「呼称肉厚」表面処理		1044-01-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-02-						常用排
	者との協議によるものとする。	1	(mm) ○ 250 形 1.5 以上 ※A-1 又は 関角倒及び突当たり御等の役	[達加]	特配なき限り、外壁を貫通する全ての鉄骨部材(柱・梁・ブレース、雑鉄骨)に						1() DOM:
	(7) 材料 (ア)関係受の運動材は、ポルト固定・精付け・溶液などによるずれ防止タイプとする。		○ 300 形 1.8 以上 B-1程 物は笠木本体製造所の仕様	○14.8.10 外部鉄骨深貫	通用とする。水運し付、二重シールとする。						O完全防
	(石)野機クリップは、ボルト固定などによる関き・ずれ筋止タイプとする。	1	〇 350 形 20 以上 〇 8-1 種 による。直棟御と曲棟側の見 〇 100 形 〇 8-2 種 え掛りを擦える。	通ふさぎパネ							水 防臭(外
	(8) 工法 (7) エササト対や トック(エサ下)を対け、 種類の間に次のカバマネッフを取ける	1	○ 100 形 ○ 0 B-2 植 元母9を構える。 ○ 図示 ()	ル							1900
	(ア) 天井仕上村および天井下地村は、壁との間に次のクリアランスを設ける。 ※設計図による	1	○フッ素樹脂	[差和]							
	吊り長さが 3m を超える場合は、5m (吊り長さ-3m×1.5/200)	1	#色変膜	O14811	・外機排水順(下配以外):ステンレス製雑承ふた村(歩行用)、床仕上げが石の						
	(9)ここに特記する事項以外は、関連各章・各項の該当事項による。	O14.7.3 → 2±	(1)(ア) 固定金具の間隔、固定方法等は建築基準法に基づき定まる属圧力及び研書	床用グレーチ	場合は石貼りとする。スリット化粧型とし、ポルト固定とする。		車器のボこと。	ルト固定部の穴	には、躓き	防止のため同等材の	0ゴム付きキャップを設け
[達加]	(1)性能機器試験	工法	荷雪に対応した工法を 〇週用しない	ング	・外機排水層(駐車場入りロ):ステンレス製グレーチング(T-20) ・メンテナンスデッキ・メンテナンス用階段・メンテナンス用通路: 孔空き床用鋼板		92384555	タイプは空間ビッ	チ概ね Smn	п以下とする	
O14.48	※実施Lない	1	O適用する		泉き		・屋外の電	気工事、衛星工	事で出てくる	5階は 130H を除き	全て二型蓋とし表層倒の
性能難認試験	○ 実施する (○耐震試験 ○耐風圧試験 ○転荷試験 ○金属製ルーパー音	1	風圧力及び積雪荷里は横造振要書による。		・車路部、ごみ電場部のポルト固定部の穴には潤き防止のため、蓋同村の 					むこと。なお二重型性 内に脱入した水の抑	(軽)にΦ50 の VP 管を値 水を発促すること。
	曜り実験) (2)実施する場合の試験の対象及び内容	1	[注記]		ゴム付キャップを付けること。 ・類説、鋳鉄訓は協願亜鉛のっきとする。						水を増取すること。 ある場合)のエキスパンダ
	部験対象 ※設計図による O	1	(6)金属製笠木の接続目地は、2 型シーリングとし排水機能を備えたものとする。		・ノンスリップタイプとする。		ンジョイ	ント金物の取付し	计下地位, 能	を験亜鉛めっきまた !	なステンレス製とする。
	試験内容 ※設計図による 〇	1	(方笑木が外壁と取り合う部分においては、笑木端部を立ち上げて側面シーリングを行うる類まりとする。		・外側との出入口に設けるグレーチングはメインパーピッチの12.5mm と L かかがほる		○溶機亜鉛	がっき ※ス	テンレス製		
	5節 軽量鉄骨壁下地	1	てる朝まりとする。 (8) 笠木及びその固定側は、外壁・窓ガラスのメンテナンス一般手法(プランコ方式)に		し、空間幅のmnの細目タイプとする。	[達加]	(1)その他の	の表面処理は、ス	欠による。		
A00100000000	A STATE OF S	1	よる荷屋に対して破積、有害な変形が生じないこと。	[進和]	カーテンウォール、連具の取合う部分に適用する。	O14, 8, 16		Aめっきリン酸処			
O14.5.3	(1) スタッド、ランナー等の種類は下記による。	1	(9) 「横遮囲・必要横遮性能を振要書」による確認荷里、風圧力に対して塑性変形、脱 施・影響しないこと	O14.8.12	耐火壁・波音壁との取合い箇所はロックケール 20kg/㎡充填とする。	特殊めっき [連加]	(n)= 1-12	・ 開発しか日際に	11-17-R	日ストバッポースァくか	け付け金物と取付けずり
形式及び寸法	種類 O 存住 表 14.51による O 通用 O 設計図による O 下記による	1	摩、飛散しないこと。 (10) 笠木裏面には、結落防止剤(グライト程度)t=5を吹き付ける	間仕切り取合 金物	TLD-58 以上の乾式速音型と耐火被覆鉄骨躯体が取り合う部分には、壁構成 石膏ボード同等比重の先付銀板を設置し、速音型と直接取り合わせる。鉄	O14, 8, 17					助・挙動による脱落を脱
	程別 施工館所		(11)金属製笠木は新 JIS 対応設置導体仕機とする。	Call We	骨躯体と先付銅板の間に隙間が生じないよう、隙間を遮音シーリングにて	その他	するため	、線み防止措置	を行う。		
	スタッド、ランナー 0.50 般		(12)笠木は雪割り仕様とする。		蹇ぐこと。				※ステンレ		けポルトは、溶験亜鉛を
	の種類 OSS 形 OSS N O		[追加] 8 節 その他の金物	[進和]	SUS1.5t加工,排水機能、断熱柱吹付け、音響対策。			ステンレス製と		A PRINCIPLE BELLEVIEW IN	A COLUMN TANK TANK
	O 100 Fb	0.0000	\$50,000 (\$60,000)	O14813	取付範囲・寸法は立面図がらL部分とL、ステンレス製 t1.5 の裏打ら材、断熱材吹付						生となる部位での取付け またはは野悪のよった。
	※スタッド高さが 5.0mを超える場合	(達加) 〇14.8.1	表面処理は図示 施工個所:	給排 気用チャ ンパーポックス	けとし発責通法で見込むこと						または溶験亜鉛あっきを テナンス可能な部分の使
	スタッド: □45 × 100 × 1.2t	アルミ製ルー	ルニュロケー: 村質及び仕上:アルミルーパー既製品、防音ルーパー既製品	ンバーホッノス						防飯塗装とすること	
	ランナー:W102×H40×0.8t (JIS100 ランナー) 振れ止め:W58×H12×0.8t (201200mm以下	15-	(1)(ア) 固定金具の間隔、固定方法等は建築基準法に基づき定まる風圧力及	[進和]	(1) 材料は、次による。						
	ಹಂ⊛ಟs sco ⊱ಕೃತಿ.	1	び確認荷置に対応した工法を ○通用しない	○14.8.14 金捆類	程別 棟形/mm) 拥目(mm) 通用	1	アンロンロリル第	接触腐食の	NO IT.		
	壁下地強度は、下地ポード厚や仕上げ材料ごとに重量を考慮し、設計用震度に対	1	O通用する	1E419 ML	ひL型金網 25(12x) 40 使用線材はすべてJISS G 532(鉄線)による亜鉛が⇒き鉄線	[達和]					面の材質により、接触菌
	空下地頭反は、下部ハード序ではエリ州 朴ことに重量を考慮に、故町円度反に対する計算書を提出し、監理者の確認を得ること。設計用度反は構造概要書によ	1	風圧力及び確認荷里は構造概要書による。		の3種を標準とする。	O14.9.1		る場合は以下		は防食処理を行う。	
	ð.	1	(2)風切音対策された既製品か、未対策既製品や製作品の場合は実験により風切音のしに(い)形状を確かめること。		クリンプ金相 25(12#) 28.6 鍋棟、鍋棟		接触材料 アルミ	鉄 鉄似		他腐食防止処理 機亜鉛のつき+領止	め塗料2回塗30μ以上
	ガス消火医画壁については、1000Pa の圧力に対し、変形・たわみ量が 1/150 以下 となるよう下地材の独度計算書を提出し、設理者の確認を得ること。	1			きつ甲金桐 0.9 (20%) 16		6010000	アル			L)+クリア登装(7μ以上)
	Craves メイトは何の地域の具体で使出し、超球者の機能の名字のした。	D≜X01	SUSーFB6mmとは、異なる仕上げ料が取り合う御材間に必要に応じて取り(溶接金額(正方 32 50×50 鎮止め塗料は際性[表 18.3.3]、際			14204303	2	装(20 # 以上)	
	[差記]	〇14.8.2 床見切り金物	る。 外側及び水を持ち込む可能性のある室は、天瑞面をローレット止加工にて防滑				H	751 70		成樹脂パッキン等に	よる報衡材 E)+クリア登装(7g以上)
	(3)設計図に記載のない場合、原則として軽量鉄骨下地の間仕切壁は、壁張りポードを含めスラブ下端または架下端まで立ち上げる。	N. 26 20 3 BC 70	が自成りのできます。 処理を施すこと。		溶接金額(長方 3.2 50×100			ステン アル レス		種酸化微膜(94以) 装(20μ以上)	レア・フリア 霊教(アは以上)
	ートを含め人プノト増または米ト増まで立ち上げる。 (4)各座間仕切下地のランナー部にはテフロンシートを挟み施工すること。				溶検金網(正方 8.0 100×100				1300	成樹脂パッキン等に	よる報情材
	SOURCEMENT OF THE CAR PROPERTY SECTION OF THE SOURCE SOURCE OF THE SOURC	D≜#0] ○14.83	壁、柱田関取合領に必要に応じて取り付ける。 課題は設計図による。					ステ		処理	
○14. 5. 4	[連記] (10)地下外周二里壁の下地、ブール関係室・俗室等及び外気に被する軽量鉄骨の仕	登見切り金物	William Company of the property	[進加] ○14.8.15	(1) 材料は、次による。 程別 施工 材質・仕上げ 板厚及び寸法		網	ス側 網側	_	: AT COR	
工法	(10)地下外周二重型の下地、ノール関係至・倍至等点の外角に使する軽量数質の世操性、次による。	20.000000		014.5.15 その他の金属			1	第10 鉄 銅似		処理 リア塗装(20μ以上)	
	※ステンレス製(SUS304) (D協働亜鉛めっき(※C種 ())	(達加) (C)14.8.4	通用値所 設計図による SK:各1値所	村料	Oパンチン 図示 SUS フッ 2.0			\$40			め塗料2回塗30μ以上
	○今ールエボキシ樹脂塗装 ○高耐食性かっき領板(スーパーダイマ同等) (11)耐火間仕切及び遮音間仕切りの上側の床スラブがデッキブレートの場合は、デッ	層掃用具掛!			がが 乗フツ乗		チタン	于夕.		処理	
	(11)耐火的在別及の返言的在別りの工御の休スサブかデッキブレートの場合は、デッ キブレートのリブを切断して設置するなど、所定の性能を確保できる工法とする。	フック金物			ル 樹脂焼付 塗装		3	アルミ <u>チ</u> タ: アル		処理 原験ル対策(ないの)	L)+クリア登装(7 g 以上)
23020		D≜X01	施工管所:		Time			770		健康化機膜 94以 成樹脂パッキン等に	
D≜.No.1 ○14.5.5	(1)軽量鉄骨壁下地に、手すり・衛生陶器・カウンターなどを取り付ける場合及び線、 BOX、棚などの荷屋がかかる途作を行う場合は、合板または鉄板により下地補強	O14.8.5	ルエ面げ: SUS説の既訳品とし、打ち込みタイプとする。特配なき限り、パラペット立上りア:		ンドメ 素フツ素 タイプ	1					
下地補強	DUX、機などの何差がかかる遂作を行う場合は、音級または鉄板により下地構築 を行う。	丸環	御にの1800に割する。打ち込み時に際しては勾配をつけ、躯体との取り合い部		タル 樹脂焼付						
		-知雄物+ -	全機 第 20 311 4 异 病地 噴水 但当 特配	-12 2	工事名	2909 \$		220202020	v.65	994	条 区分
O NTT7	アシリティーズ 一後連撃士事務所 西日本事業本部 - 銀雄・全衆 第 898942 号 里見 和				大阪市立科学館外壁補修その他工事			特記仕様書	- 9		C-9 建築
	大阪府知事登録 (ト)第 14884 号	-	# 2004 4HM-1	2-0LD-1		(40)				4歳1	西暦東末! 2025年 1月

	アルカ アルス((随極酸化液臓(9 μ以上)+/リア登城7 μ以上) ((は は は (は は は) ((は は) ((は は) (((は) ((((○182.2 性能及び構造	(2) アルミニウム製建具の付 (ア) 耐風圧性、気管性及び		s Spin is Z			(4)型材の長手方向ジョイント側には 使用し、水産路接を行う。ふさぎ	た、シーリング受けの指領ふさぎアルミニ 対し全球機関は用いない	ケム板を		(4) 耐悪デアセットの変形差洗性の等級 ※適用は速息素による。 〇性創造(ロー)
	「性材 塗装(耐アルカリ塗料 20 k以上) 料 合成樹脂/シキン等による観覧材	IERES COMMIE		整性 水密性	件 見 込	施工箇所		(5)運変建具の長手方向の枠には、	、熱伸矯に対応できる伸縮概手を設ける			(5) SAT の性能は次により、通切な設計図による。
1	随海地域や軍者の野天等の屋外南がかりについては別途規定長		OAH 5-4 %	\-3	# (mm) 4 ※ 70	※図示 0		上・下枠のアンカー金物は接合を さむなどの発音防止措置を施す。	卸でスライドできる機構とする。また、すべ ・	り材をは		※適音性 T-1 (6) AT の性能は次により、通用は設計图による。
1	15 章 左官工事		OBME 5-5 C	0	O 100	※図示 〇		(5)ザッシのジョイント側にはキャット	テバンを設けて、万が一の磊水時にも建	物内に		(ア)フラッシュ 戸の場合
16	1.節 一般事項		○ C種 S-6 O風間試験結果による値。	_4 W-s	5 100	※图示 〇		水が浸入することを防止する。 (7)排水孔には、風圧による逆流をD	方止するパッフルを設ける。			※気密性 A-3、速音性 T-2 (イ)片面フラッシュの場合
章 ●15.1.2	(建記)		(日本建築学会「建築物荷置	針・同解説」の部	2計用再現期間	100年を用いた値)		(8)排水孔の径は、最小 8mm とし、)	内外とも原則2カ所以上設ける。			※知 答性 A- 3
具 基本要求品質	(4)片引声、両引声、引進い声・軸吊開き摩などのかまち声は、引残Lを確保する。ま		〇段計図による (イ)防管ドアセット、防管	endamia m 7.70	油辛株 の集後に	+ T-501- F-Z		(9)片引き彦・バイバス彦での、隠し、(3)片引き彦・バイバス彦での、隠し、(3)片引き彦・バイバス彦での、隠し、	かまちタイプの適用。			(7) PAT の性能は次により、適用は設計図による。 ※気容性 A-4、遠音性(※T-3・T-4)
I R	たは同面熱まりとするなど、通切な指検み防止処置を施す。 (3)金属など電位差のある環電性物質同士が接する個所は、通切な接解防止処置を			ランの通用 & Oi 関値 (T-2)	WE 日1エいサポル	w Lacinoval		(10)片引き・引達いサッシへの、ファ				(8) 防火・防煙区画部における屋で天井までのクリアランスが 900 mm未満の屋は
1	Ref.		(ウ) 断熱ドアセット、断熱 ※注意 まに 5 2	fッシの通用及び E能値(Hー		太下記による。		○通用する(開放制限幅)(11)サッシとぜん板・額機などの接触				自開装置付きとし、天井までのクリアランスが 300 mm未満の場合は更に取り 外し可能な防煙たれ鍋板を天井から 300 mmの範囲設置する
	仕様は、14.10.1による。 (6)外側に両する連具材の周囲取合い側のヒートプリッジ個所には、通切な所務処置		※建具表による・	ENEIL (II	3.			※設ける(※ブチルゴム ロブラ			War of Carbo	
	ēlēt.		[達記] (エ) 耐廉ドアセットの通用	The section are the first tenth	THE STATE OF SELECT	-MI)- L7		〇設けない			015.4.3 7≸4	(1)類板類 (ア)鏡板の通用は設計図による。
O16.1.3	(1) 筋火戸の指定は下記による。		(エ) 阿張トア・セットの連門 ※建具表による ・			raci-so.				- 11		(a) JIS G 3302 によるめっきの付着量は下記による。
防火戸	※設計図による O		(オ) 操作性能は、片引き		画転ザッシは 50	N以下とする。		3.節 樹脂製建具				※Z12 丈はF12 O
5005007	(3) 防火戸の自動腎鏡機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知器文は煙感知器と運動させる場合は下記による。		(3) 耐震性能は、17.1.3 に、 (4) 耐温度差性能は、17.1.				O 1632	(2) 樹脂製建具の性能値等				%Y08 O
	※設計图による O		(5) 耐火性能は、17.1.3 及(4 条(延焼のおき	それのある部分に設け	性能及び構造	(ア)耐風圧性、気密性及び水産 程 別 耐風圧性 気密性				
O1514	2.5 Martin Minute 201-1-7		る防火設備)の規定によ (3)耐久性能は、次による。	•				THE ST MANUAL CONTRACTOR	A(mm)		1644	
日18.14 見本の製作等	(1) 建具見本の製作は下記による。 ※行わない ○ 行う(建具符号:)		(ア)シーリング側は、井	表引度後 10 年間	は、大掛かりを	な補修を要しないもの		O AH S-4 O A-4	TOTAL CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE PROPER	. F	9状及び仕上 #	
State State	(2)(ア) 特殊な連具の仮組は下記による。		とする。 (イ)塗装面は、完成引援	8.5 年間は、はく	(難・色から・1	図書館な <i>ど</i> が生じない		OBM S-5 O	O w-s ※図示	. "	,	※課性 表 1642 による 〇設計図による 〇 1 枚の戸の有効幅が 950 nn文は有効高さ 2400 nnを起える場合。
	※行わない O 行う(建具符号:)		ものとする。					〇 C種 S-6 (イ) 防管ドア、防管サッシの選手	※図示 ※図示 表び練音性の等級は下記による。	-		出入口の枠號(つずりを除(部分)を23mm関係板)とする。
O16.1.5	(2)「防犯建物倒品」の適用は下記による。		(ウ)可動御のエアタイト る。	対などは、有効を	な性能の保障期	間を 5 年間以上とす		性能等級	The second secon			(の /一がいトラニ・ロック網接い) 博士(トラロ・レア
その他	O 適用しない O適用する [進記]		〜。 (万)発音・摩擦音の防止					O T-1 O T-2	i i			(5) くつずりはステンレス領板とL厚さは次による。 ※1.5mm ○2.0mm
	(3) ダクトには、ダクト接続の有無に関らず防風拥を設置する。		(ア)建具は、予想される					0 1-2				20/4555 92/4555
	(4)一枚戸及び所り戸の面積が3 mを超える場合は、骨組、金物、取付けの安全性を 機造計算により発認する。		の温度伸縮・外気温(の発生を抑える処置で		生生の相目が	だ古・金属解析 古なと			の適用及び断熱性の等級は下記による。			[追記] (6) 外側周りの三方枠の厚さ
	信定が異によりをありる。 (5)電気錠の速隔操作(停電時施錠保符、設難経路施錠器、管理戸の施錠開機能は、		(イ) 外装建具が内装材に		を切り、湿度伸	精・層周変位・風圧力		断熱性の等級 器質施 ○ H-4 29以	}卒(W/(㎡•K)) 下			※1.5mm ○2.3mm(通用場所 外側石贴建具)
	次による。		等による異音の発生を (ウ) 御材間をポルトを製		材の音と伸縮に	こよる有害な発音の恐		O H-5 23 %				(力) 類裂建具の戸の見込み寸法は次による。 連具の戸の大きさ 戸の見込み寸法(mm)
	※筋炎センターで行う 〇行わない 〇(5)くつずりの材質は、次による。		れがある部分やすべい					OH-5 1.9 CJ.				2.5 ㎡以下 40
	※ステンレス頻製 O黄銅製 O木製 Oアルミニクム合金の押出LIR村	O162.3	(5) 拥戸等					OH-7 1.5 및 T OH-8 1.1 및 T				3.0 ㎡以下 45 5.0 ㎡以下 50
	〇設計図による (7)くつずりの形状は、次による。床面との段差は 20 mm以内とし不特定多数が通行す	村料	(イ) 拥戸に使用する防虫					(エ)外側に面する建具の日射器				5.0 miを超えるもの 50
	る部分についてはSmily内とする。		※合成樹脂製 Op [進記]	ラス繊維入り合成	税酬制制 〇ス	(テンレス製 (SUS316)		0				生)にンジクローザ(ビボット的)を用いる戸の見込み寸法は、50mm以上とする。
	(ア) 床仕上村、仕上色が要なる個所 ※ST-1 〇雄臭表による 〇般計図による		(エ) 拥戸の形式は下記	.ta.			01643	(カガラスの種別は下記による。				(8) 特定防火設艙の適用 〇適用あり 〇適用なし 防火設備は、速度性能を有する防火設備とする。(建設省告示第 2354 号参原)
	(イ) 床仕上高さが実なる個所		※外部可動式 OE		-		村料	※後層ガラス 〇単層ガラ	ラス 〇三里ガラス			
	※ST-2 〇建具表による 〇設計図による	O152.4	(2) 建具の枠の見込み寸法	下記による。			O1834	(2) 建具の枠の見込み寸法は下記	ರ್ಜಿಕಿತ.		D18.4.5 C法	【注記】 (3)開き戸の枠当たり、引戸のレール御または枠当たりには、クロロブレンゴム製など
	(ウ) 外側出入口 ※ST-3 〇建具表による 〇設計図による	形状及び仕上	外部に面する建具 ※16		0	4	形状及び仕	※18.3.2(2)(ア)表による	50 NOTE TO		2.50	の受け座を取り付ける。工事中に塗料が付着したものは新品と交換する。
	(I) PS-EPS 出入口	if.	屋内建具 O_ (3) アルミニウムの表面処理	<u></u>	をほか 下記によ	-A.	IF.	(S) 表面色は下記による。 〇 標準色 〇特注色				(4)外部に面する戸、気を型・防管型建具の表面板の端部は、四周とも包み込む。 (5)外部に面する戸の丁春切欠き部周りには、止水処理として不定形が一リングを充
	※ST-4 〇連具表による 〇設計図による 〇下枠 (8)ドアガラリの世様は、次による。		外部に面する建具※日-1	■ 〇 B-2程(・	プラウン系・ブ		F1000000000	0.000.0000				填する。
	(ア)内側のガラリの形状			種(フッ素樹脂) 色・特別色	登装)	10000 100 100 100	〇1835 工法	[達記] (1)(ウ) 水切り板、ぜん板等は設計	.mi- ⊢ z			(句気态型連具・防音型連具の構造は次による。 (ア)連具表に AT・PAT と記す連具は、枠の四周にシリコーンスポンジゴムなどの気
	※3型 〇建具表による 〇設計図による (-1)村質:内御屋付きガラリの村質		× 64-	C 1496				(1)()) 3(4)(54), 12/09(4)(20)	Elica 91			(ア)歴史表に入げられており建築は、杯の四周にシリコーシストンショムなどの気管材を設置する。
	※スチール製 Oアルミニウム製 O		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	图 〇 日-1程				4 節 鋼製建具				(イPAT とある場合には、上記に加え、肥手はグレモン多点練リハンドルとする。戸
	(9)壁面・建具面等からの出寸法が(※130mm)を超える、建具に付随する金属製の フィン・水切以既成水切り皿板を除つ等の水平倒村は、雨膚管対策として次の対策		00	2 程 2 程 (Oプラケン)	幕 ロブラック (()ステン カラー)	-10-411-411-4	子月 類数延兵				内部にロックウール(80kg/m3)を充填し、また、内部には分割材を入れる。また、 気容材に接する戸の四周はステンレス(SUS304・28 仕上げ)とする。
	ライン・小切り気がパル切り血板を除り率の水平面料は、内質音が乗ことで次の対策 を施す。		OD-	種(フッ素樹脂)		28 20	●18.4.2	(2) 類別建具の性能値				(方外側に面する戸は、特例が無ければ SAT 型とし、ロックウール(80kg/ ml)を充填す
	※上面剖村厚(※2mm 以上)		※課 (6) 結該 水の処理は下記に。	色・特別色 る。			性能及び構造	(ア) 簡易気管型ドアセットの気配 ● 傑士 表 15.4.1 による ○	密性、水密性の等級は下記による。) 設計図による。 ○			る。また、経年劣化により充填材のずれが生じないようにし、必要に応じて内側に 分割材を入れる。
	・銀術材 (塗布吹付け制板材 3mm 以上又は成形制板材張付け) (10)支持点間隔が 2m を起える建具の枠・方立・無目等は、支持部の務伸箱吸収機構		※結構受けを設け、外側		見込み、深さは	監理者の確認を受ける		(イ) 防管ドア、防管サッシの選用	用及び遮音性の等級は下記による。			(8)外側に面する戸枠は、次による。
	文は魏衡材設置等により、豫伸びによる材伸びによる材軸方向外への変形(はら		<u> </u>					性能等級 O T-1	- 1			※四周ともステンレス(SUS304)製剤接接合とし、厚 15mm 以上、戸と同色塗装性 上げとする。
	み出しを防止する。		[差記]					O T-2	**			○ 本 下端より 300mm までをステンレス(SUS304) 製 厚 1.5mm 以上とし、上部枠と面
[達加]	(1)性能試験		複合皮膜の種類は、A III4程 する。	酸化皮膜9μm	アクリルクリアー	−塗膜 12μm) と		rwent.	48			合わせ溶接接合、同色塗装仕上とする。
〇16.1.7 性能の確認	(ア) 性能確認試験 ※行わない 〇行天建具の種別:) (イ) 試験の種類 ○耐風圧 ○耐震 ○水杏 ○気杏 ○遠音 ○		する。 O ダイスマークレス世	Ŀı f				(左記) (エ)所数ドアセット、所数サッシの通	用みび 新熱性の学 扱は 192 (43)の(イ) の	درجار ی		○
IIIE/J†E46	(イ) 試験が種類 し間属性 し間裏 し水路 し鬼路 し鬼音 し (ケ) 試験体の製作 ※製作しない・製作する範囲・寸法:)		/* *****		= 74 vL	n akul zazi ini oz ne — oz		寄らない場合下記による。				た、防水層が取り合う部分には、ステンレス製フラッシング W100 以上を搭接で取り
	(2)結務受検計		(ガ) 検音及び金属摩擦音の 材料をジョイント側に用い					断勝性の等級 勝重施 ○ H-4 29以	(本(W/(㎡·K))			付ける。 (10) 南掛り個所の戸枠上端には、ステンレス厚 1.5mm、出 25mm、塗装仕上げの水切
	下記条件に基づき算定した結構水 48 時間分を貯めることができる結構要を設けること。		100000000000000000000000000000000000000					O H-5 23%				り概を設ける。また、下枠には水道しの立上り10mm を設ける。
	・夏期 24°C 煙度 40%		(8) 外部ガラリにおいて、F では、断熱を施した防領性					OH-6 1.9 있	F			
	・冬期 22°C 煙度 40% (9)高所に設置する可動の建具には、次による航路防止処置を講ずる。	35	2000 200 200 200 200 200 200 200			**		OH-7 1.5 (1.7 (1.7 (1.7 (1.7 (1.7 (1.7 (1.7 (1.7				5. 節 鋼製軽量進具
	※開放制限装置設置(有効開口(簡 110mm 以下)(周囲 ※設計図による)	○162.5 工法	(1)(ウ)水切り板、ぜん板等は 水切り板 ※サッシ同れ		∩994891-F7			(3)外部に面する頻製建具の性能			Nee2	(4) /で、質言質な利じでよったの漢用は特別のことで
	・転像防止手褶設置(範囲・仕様・※設計図による) ・設計図による	+**	ぜん板 ※鋼板厚 1.8	nm アクリル樹脂	焼付塗装 〇	設計図による		(ア)頻製ドアの耐風圧性能	CLASS THAT DO POSSESSOR	1 149	016.5.2 動能及び構造	(2) (ア) 簡易気密型ドアセットの適用は設計図による。 (イ) 耐震ドアの適用は設計図による。
	"ext 可としてる (10)引戸建具では、障子が脱落しないよう通切な脱落防止策を護する。		(2)(ケ)(6) 内付け建具を有	る場合の止水側	理は次による	5000010 10.		※構造図「構造概要書」に、 〈安全であること。	より定まる設計用風圧力に対して、破槽・	R.SE TO SE		200 A
	A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR		※建具の製造所の仕様に	ko U&Kan⊠i	i⊾as Ut⊄	лв()		〇風間実験結果に従う(10	0 年再現)		016.53 7#4	(1)(ア)頻帳の村賃は下記による。 ※溶験亜鉛めっき類板 ()電気亜鉛めっき類板
	2.節 アルミニウム製建具		[注記]	e van e de comment				(イ) 頻製密の性能 ※細別は興仕[表 18.2 1](OA種 OB種 OC棚による。	*		(イ) ビニル被覆領板の適用は設計図による。
	10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1		(3)寒冷地における結構水の 排水経路 (設備ドレン配					○耐風圧性(S-5) 気密性(※溶験亜鉛めっき鋼板 〇電気亜鉛めっき鋼板 (ウ)カラー鋼板の通用は設計図による。
SIS S	族 評金針 NTTファルバティープ - 無機能主発機第 822141 界 原 良太		1970年2月 (2008年レンド 2条 第 2031年 条 条 機太 - 担当	~~ /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /-	格配	H-71CHENT WI	E 6	1#8		1: 1	200 K	
כדדא (ס	株式会社 NTTファシリティーズ 一級建築士金幣 第 828141 号 阜 良太 アシリティーズ 一級建築士事務所 西日本事業本部 一級建築士金幣 第 89842 号 星男 10男		ANY TO SERVICE		4004			50.448 manual and a second and a	市立科学館外壁補修その他	工事		特記仕様書10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
J	大阪府知事登録 (h)第14884 号 _	-		[8 8 4	世祖哲年	4НМ-	12-0LD-1	- 100			输尺	午表(西@東末) 2025 年 1 月
	<u> </u>	- 100	22	25 10 0	2 (2			12			M-FA14	NTTファンリティープー総論第十事終表 西日本事業末朝 徒撃仕降業 2022-00

	※溶機亜鉛めっき鋼板 〇製造所の仕様による (3) くつずりは、ステンレス鋼板とし厚さは、次による。	形状及び仕上 げ	※剛士 表 16.7.5 による 〇(2) かまち戸の見込み寸法は下記による。		(カ) 監理者みび強く一カーと絞わして事前にキーツリーを作成し、発生者 中保護を受けること。		(19)スライディング自動ドアに使用するガラス ※強化ガラス 〇合ゼガラス 〇	
	Ж1.5mm	U.S.	※35mm 〇部計図による		************************************	1	(20)スライディング自動ドアの戸先及び戸尻は、角	出し曲げを行わない。
	(S)召合せ、縦小口包み板等の材質は下記による。 ※銅板 〇ステンレス鋼板 〇アルス押出型材		るすまの見込み寸法は下記による。 ※19.5mm ○設計図による		DÉR)		(21)スライディング自動ドアは、指検み防止のため ような凹凸がないものとする。全開時における	
	※講像 リステンレス講像 リアルルチ 中国型村		※19.5mm ()設計図による。 戸ぶすまの見込み寸法は下記による。		L生記」 (4) 競箱は、工事完成時に幾ごとに整名または建具位置を示す札を付け、目録書		スクな凹凸がないものとする。全角時における 尻と近接する壁 面などとのすき間は、それぞ	
	(達記)		※30mm O製計図による		及び縮小利平面図による難の種別図を添え、難箱に収納し提出する。必要によ		(22)スライディング自動ドアは、製造者の安全基準	
	(13) ガラス押え金物の材質は、次による。 ※戸と同材同色仕上げ ○既製押機		継援り障子の見込み寸法は下記による。 ※30mm ○設計図による		り設備関係、操作ポックス関係の鍵類も併せて収納する。 ⑤ コンストラクションキー		により、次の安全対策を講ずる。 (1)通切な間に速度、開き保持時間	
	MI CHINGELIA CHECKE		OBG B See See See See See See See See See S		※探用する 〇探用しない		(2)補助センザー2段の通切な設置	
O16.5.4	[注記]		8.節 建具用金物		(8) 鏡鏡は特記がなき限りシリンダー箱鏡(レパーハンドル)とするなお、鏡前		(3)終量化	
形状及び仕上 げ	: (7)特定防火設備の通用 〇通用あり 〇通用なL 耐風圧性能の通用は建具表による。		<u>多面 连具用壁物 </u>		類は連具製作所の指定するものとし、監督職員の確認を受ける。 シリンダーは美和ロック U9 シリンダー同等品とする。		(4)透明ガラスへの衝突防止表示 (23)自動ドアが外部に面する場合はガイドレール・	には SUS10.0 中の排水管を設置
1000	防火設備は、速煙性能を有する防火設備とする。(連設省告示第 2584 号参照)	● 16.8.1	(差配)		(方)電気鏡は、美和ロック AUTA 同等品とし、入麦面面監視の厚は、美和ロック		側層に接続すること。	
	(1) 鋼板頭の厚さは下記による。 ※存せ 表 18.5.1 による 〇起計図による 〇	一般事項	(2) 既製又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のものは下記による。 ※建具製造所の仕様による 〇設計図による		川正P同等品とする。外側に設置する電気綻は、常時の雨掛りを設けるため鍵 連具上側にステンレス製の霧除けを設置し、プルポックスは室内に設ける。		(24)自動ドアのレールはパリアフリーとする。 (23)警告表示ラベル(護匠は特注品)を取り付けるこ	- u
	MARIL AR TOUT TEAMS OBSET BLEAST O		次便無条度所が正体にある OMETERにある		選集工能にスチンレス級の経験ができ設置し、フルボックスは単分に設ける。 (8) 電気髪の工事区分は電気設備図の工事区分図による。		(28)エンジンポックスには下記の対策を行う	150
	6節 ステンレス製建具	● 15.8.2	(3) 金物の種類及び見え掛り部の材質は下記による。		(9) 難の筋犯性能		〇結務防止措置	
O1662	[注記]	材質、形状及 び寸法	※特配なき限り 様性 表 16.8.1 による ○部計図による (10)(ア) 樹脂製建具に使用する丁香は下配による。		(ア)鏡の腕犯性能は、『特殊開錠用具の所待の禁止等に関する法律』第7条に 基づく指定連務錠の犯罪性能の表示により、筋犯性能あり及び各性能の最		〇防振対策	
性能及び構造	(2) 簡易気容型ドアセットの適用は建具表による。	30.445.0	※存住 表 1883 による O設計図による		高グレードを原則とする。		°—	
	(3)外側に面するステンレス製建具の性能値 (ア) ステンレス製ドアの耐風圧性能		(11)(ア) 木製建具に使用する丁番は下記による。 ※課任 表 16.8.4による 〇酸計図による		※適用する(※屋外に面する全ての屋・設計図による) ・適用しない		10 節 自閉式上吊り引戸装置	
	(ア) ステンレス級テアの副衆に住宅記 ※横造図「横造概要書」により定まる設計用風圧力に対して、破槽・脱熔がな		NORTH TO TOUR IN AND CHARTES IN AND		・適用しない (イ)18.1.8により『防犯連物部品』を適用する場合は、『防犯性の高い連物部	O16.10.3	フル・カリオトス(国)家社会の場合は子町にもだ	
	く安全なもの	● 15.8.3	(1)機り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は設計図に		品目録』に掲載された製品とする。	性能等	(2) 自閉式上吊り引戸装置の性能は下記による。 ※課性 表 18.10.1 による ○製造所課準	
	〇風間実験結果に従う(100 年再現) (イ) ステンレス製剤の耐風圧性能	取付け施工	£る.	[差和]	●丁書(内側建具については、軸を鉄芯としてもよい)外側建具は全て SUS 製丁書と	311-4-7111-2	トイレなどパリアフリー対応箇所は手動闘き	
	※種別は傑世表 1621](OA 種 OB 種 OC 種)による。		(差配)	●1685	する。		○陳仕表 16.101 によるが手動闘さ力は 応)	± 刑 以下とする(パリアフリー
	○耐風圧性(S-5) 気密性(A-4) 水密性(W-5)		(8)金物取り付け側は補強を行う。開き窓などのあおり止め金物は風圧に耐えうる強 乗り、本体がど関係の355、取せは2	吊金物	○ビボットヒンジ ○コンシールド(建具表による)		340	
	(4)防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ※通用は連具表による。 〇性能値 (T一)		度とし、窓枠など補強のうえ、取付ける。 (7)室内の PS・DS 戸のは隠したンジとする。		○コンシールト(理典表による)			
	(5)断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級		(8)外御戸には、ドアクローザーおよびあおり止めを設ける。				11 節 重量シャッター	
	※通用は建具表による。 〇性能値(Hー) (5)耐震ドアセットの変形差洗性の等級		(9)二つ祈り筋火戸には、中心吊り型ヒンジクローザー・丁番型ヒンジクローザー及び 戸外ロック装置を用いる。		B 節 自動ドフ開閉装置	O16, 11, 2	(1)(2) シャッターの種類等は下記による。	
	※通用は建具表による。 〇性能値 (D-)		(10)機械排煙の御屋の戸は、排煙時の間に力が 150N 以下になるよう戸の大きさを検		- A	形式及び機構		(増 考 他は構造振芸書による
O18.8.3	(4) コニンル・フ(権権)大士等リートス		計し、開鎖トルクを決定する。 (11)戸の開開力は、革倫子での利用を配慮して決定する。	○1592 性能・機構	(2) 戸の開閉方法は下記による。			BIは構造板要書による
村料	(1) ステンレス領例は下記による。 OSUS304 OSUS430J1L OSUS443J1 OSUS430		(10)との囲む力は、単何すでの利用を配配としまたする。 (12)ドアクローザーは、室内側(大部屋内にあたっては小部屋側)取付けを原則とし、仕	11 HE TORK	*スライディングドア Oスイングドア			シャッターケースは天井内とする
0.030000	O なお SUS430 は屋外に適用しない。		様は次による。		(3) 自動ドア開閉装置の性能値			スは天井内とする
	[達記]				(ア) スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値は下記による。 * 歴仕 表 169.1 による ○		○補壁運動筋火防煙シャッタ シャッターケー:一	スは天井内とする
	(9)くつずりの理念		色:※指定色焼付け塗装 〇図示以外は製造者標準色とする。		(イ) スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値は下記による。		10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	,
	※1.5mm O2.0mm		(13)コンシールド酸ドアクローザーを用い、かつ、気をパッキングを用いる場合		* 歴仕 表 159.2 による 〇		(3) 開閉機能による種類は下配による。 ※上部電動式(手動併用) 〇上部手動:	ar .
O18.5.4	[進記]		は、光漏れ防止のため上枠の見付けす法は20mm以上とする。 (14) 類別連具の開き戸の丁番は、旗丁番・堀込み形とする。		(ウ)スライディング自動ドア開閉装置のセンサー検出範囲は、両方向運行の場合は次による。			
形状及び仕上	・ 特定防火設備の適用 〇週用あり 〇週用なL (表 16.5.1)		(15)建具金物を取り付ける個所は、裏面に補強板を設ける。		(a) 幅方向は自動ドアの有効幅に左右各々(△150 mm ※500mm) を加えたす		(4)安全装置は下記による	
17	(4) 表面仕上げは下記による。 ※HL仕上げ 〇鏡面仕上げ 〇パイプレーション		(18)開閉サッシの時付け開閉機構の御材は、ピス・パネ及び高応力御とも、ステンレス(SUS304)とする。		法以上とする。 (b) 契行き方向は、戸中心より1,000mm 以上とする。		(ウ)(a)危害防止機構 ※障害物感知裝置(自動開鎖型)	
	〇フッ素機能統付塗装適用箇所は設計図による。		(17) フロアヒンジは、ブレート烽とし込みとし、床仕上げ同村を張った化粧プレ		(c) 戸際において斜めからの飛込みを防止できるよう、センザー範囲を設定		〇シャッターの二関降下方式	
O16.6.5			ートとする。 - 10 mm エスニュア サント・バー・アリー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・		する.		(8) 防火シャッター及び防煙シャッター以外の:	\$1 4 W B _ F _ 7
工法	(1)(ア) ステンレス領板の曲げ加工は下記による。 ※普通曲げ ○角出L曲げ(補強あり) (○c角 ○b角)		(18)壁面全画に及ぶ 2.4m 以上の大型の点検パネルは、ひずみがたつきがないものとする。特に EPS・PS 等で片面フラッシュ環の場合は、上下を運動(2.点輪		(9) 寒冷地における連結防止措置は下記による。 ★通用Lない ○通用する(通用輸所は設計圏による)		※設ける 〇部けない	2127 7 7
1 -80-90G			り)さぜてロックできる装置を設ける。		98 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20		700000 10000000	
	7.節 木製建具		(19)外側及V5水掛りの建具金物は、ステンレス(※SUS304 CSUS316)製とする。 また丁番の切欠き創分は、十分な止水処理を行う。		[追記] (10)本節に記載のない安全上の諸性能は、「自動ドアの安全ガイドライン」(全国		[連記] (7)外気に面するシャッターの耐風圧性能	
ecoporar aprove	1.80 1140.227		(20) 特定防火設備、防火設備の両開き屋、親子屋には、コンシールドタイプの順		自動ドア協会)によるほか、製造者の基準による。		※横途概要書の設計用風圧力に対して、レー	
O16.72	(1) 建具材の加工、組立時の含水率は下記による。		位調整器を設ける。特定防火設備、防火設備に取り付くフロアーヒンジ、ド		(11) センザーの種類は設計図によるほか下記による。		1/200 以下かつ使用上有害な変形の残留が	w.
村料	※A種 〇日種 (2)(ア) フラッシュ戸の表面材の合板の通用及び品質は下記による。		アクローザー、オートヒンジはストッパー無しとする。		O マットスイッチ O 電子マットスイッチ ※光練スイッチ ○音波スイッチ		(8) 手動時の巻上げ操作は、いずれの場合も鎖!	によるものとし、床上での操作
	※課性 15.7.2(2)(ア)(イ)による O	● 15.8.4 ●	連具作成に先立ち、キーシステム、電気鏡程別、配置について、解計画図を		O 粉練スイッチ O 光電スイッチ		できる高さに設置する。	
	(3)(1) かまち戸のかまち及び鏡板の樹樹立下記による。 ○ かまち() ○ 鏡板()	191	作成は、監督職員と協議し、確認を受けること。 (1) マスターキーの製作は下記による。		○電波スイッチ ○タッチスイッチ ○ペダルスイッチ ○押しポタンスイッチ	O16.11.3	(1) スラット及びシャッターケース用鋼板の種類及	びめっきの付着量は下記による。
	(4) ふすまの上張りの種類は下記による。		●製作する O製作Lない		○多機能便所スイツチ	村料	領板の種類	
	※新属の子程度文はビニル紙程度(押入等の裏面を除ぐ) 〇属の子 〇		(3) 魏の本族は以下による。キーシステム 〇グレートグランドマスターキー(GCMK) 3.本/根		(12)自動ドア全てにパッテリー内蔵式のパニックオーブン機構またはパニッククロー		あ⇒き付着量 ※Z12 又はF12 ○	7/1
	(7) 接着剤のホルムアルデヒド放散量は下記による。		○グランドマスター † (CMI/-) 3 本/相		ズ機構を設置する。	O15.11.4	[進記]	
	※F☆☆☆ Omoz/L		ウルーンマスターキー(ZMK) 名サーン 3本が租 ウェング・エルングマスターキー(EMK) 2 本が相		(13)特配なき限り、各自動ドアには補助光電スイッチを設置する。	形状及び仕上	は (4)ガイドレール・まぐさ・座板の材質は、屋外に面* 製とし、屋内に設置するシャッターは、次による。	
	(9) 枠及びぐつずりの材料は下配による。 O		Oエン・ピーアリン・ゲマスターキー(BMK) 2本/組 Oテナントマスターキー(TMK) 各テナント区分類3本/組		(14) スライディング自動ドアの巻込まれ防止、衝突防止対策 ※設ける(対策の範囲 ○すべてのドア ※設計図による)	122	(ア)ガイドレール	
	OSUS FB5t HL		○▽スターキー(MK) 3 本/組		〇設けない		※ステンレス製 〇ガイド御分をステンレス	、製、見え掛りを鋼製焼付け塗装
	・性能: 防火設備戸 (20 分速炎) 速音 T-3		○ (ア)エンジニアリングマスターキー(BB)は常転管理要員用に、空間、報告、		(13) 巻込まれ防止、衝突防止対策 〇天井までのガラスサッシュ設置方式メンテナンス用前面開閉式)		○設計図による (イ)まぐさ	
	·通用锁囲:各垄康		電気本、EPS、PS、DS、MDF、屋上出入口等全ての機械率を開闢可能な		世際(※設計図による 〇)		Oステンレス製曲げ加工 ※鋼製焼付け	金装 〇設計図による
	·村料·世上		ものとする。矢だし専首側・資 <u>車・</u> 屋上を除く針側出入口は開閉下可 ユエエ		〇手すりガード(防護用)方式(高さ FL+750mm)		(ケ)座板 ○ステンレス製 ※鋼製焼付け塗装	O MALIMIT HZ
	枠:上枠 ナラ 塗装 ボリウレタン樹脂塗装		(イ) 簡単素種別にエンジニアリングケー EQ のグルービングを行う。各グ		ガード仕様(※ガラス:種別 Oステンレス O設計図による) 戸尻感知センサー(※設置しない O設置する)		(5)管理用シャッターを除く防火シャッターのスラッド	
	厚:下贴 合板 5.5t		ルービング内の各界の競技同一キーとする。		〇級計図による		止め塗装は施さない。 /の機能がいたスの仕場けかにより、取扱い方法を	明子走了
	表面材 合板 S.St の上ナラ 1.0t 大手 ナラ		(ウ) 工事期間中に建物全ての幾を挑解鏡することが可能なコンストラク ションキーを製作する場合は、発注者の子根を得ること。		(18)自動ドアは、パニックオープン機構とし、仕様は次による。 ※自火報運動・施錠解・開いて開放状態保持(パッテリー内購式)		(6)操作ポックスの仕様は次により、取扱い方法を明 ※ステンレス製 HL 仕上げ 〇類製焼付け	
	塗装 ポリウレタン樹脂塗装		(エ) 同じ用途の支撑のキーは、同一キーとする。同一キーとする風の選走		O設計図による		〇ガイド部分見え掛かりと同村・同色仕上	2000 200
	金物 連具表による		は、監理者の指示による (+) パランドファクーケー以下のファクーケーの問題は、監理者の第五に		(1) 方角障者便所・多目的便所のスライディング自動ドアは、在室検知センサーによる 不在時及びタイマー制御による強利開放機構付きとする。		12 節 軽量シャッター	
O16.7.3	(1)(イ) フラッシュ戸の表面板の厚さは下記による。		(オ) グランドマスターキー以下のマスターキーの種別は、監理者の指示に よる。		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1		
			製 勢 20314 寿 新地 騎大 - 恒	9	工事长	1 1		1908 整条 区分
O NTT	株式会社 NTTファシリティーズ 一級連筆主意味 第 82141 号 序 良が アシリティーズ 一級連筆主意味 第 82541 号 序 良が アシリティーズ 一級連筆主意味 第 85642 号 星馬 8	- 2	40.2		大阪市立科学館外壁補修その他工事	1909 E	特記仕様書11	C-11 建築
J	大阪府知事登録(下)第14884 号	~	世を紹本 4HM-	-12-0LD-1	CAROLI-TITERITE TOUR COLUMN	輸 収		年度(医医衰末)

形式及び機構		- 本の権強は下記による。 式(手動并用) 〇上旬手動式		1.03との不免機の個人を使力的正して収慮されたものとする。 ※倍強度ガラスは、JIS R 3222 による。ただし表面圧縮応力は、規定値の範囲の修		<u>五</u>	Q16.14.10	(1) 構造ガスケットの仕様は、JJS A5785日級 1 種に通合するクロロブレンゴム(CR)
	(2) 耐風圧強度は			めとなるよう管理し、S2MN/miを上限とする。(全ての倍強度ガラスに通用)		品質 JIS A 5759 による。	構造ガスケット	とする。
O18.123	and other land	- ED (- 14.70)		※ガラスとパシクパネル間の空気層の温度上昇による際割れを検討し対策を向じること。		(2)フィルムのメンテナンスなど	によるガラス 留 め	
村縣	スラットの材質は下 (7°) JIS G 3312	・記にふる。 塗装溶機亜鉛の⇒き鋼板		と。 (2) ガラス留め村		(ア)取扱い説明書に耐用年数、張り方、メンテナンスなどの留意点を明記し、完成 2月度は1-28月まれて注解物質開発。ほどの2000年また。	100	る。 (2)工法は、次による。
3141		# ±:• 206 対はF06 O		建具の種類 材 程		引護時に発注者及び建築物管理者へ通切な説明を行う。 (1)飛散防止フィルム張りは、ガラス級網時に容易に確認及び張り替えが可能な創		(ア)ガラスの切口は、軽く糸面をとるなどガスケットに傷を与えないようにし、四層は
		塗装溶験 35%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板		Oアルミニウム製 ※シーリング材 O ガスケット(FIX剤はシーリング材)		位に用いる。		半径 10~13mm 程度の丸味をつける。
	めつき付着	FE :•A290 O		○類製及び鋼製軽量 ※シーリング村		(ウ)飛散防止フィルム張りには、原則脱落防止性能を期待しない。		(イ)関角部分のガスケットは役物とし、主材との接合部は溶着のうえグラインダーな
O18124	(a) 7 mul or (b)			Oステンレス説 ※シーリング村	*****			どで時一に仕上げる。
形状及び仕上	(2) スラットの形状	シグ酸 ロオーバーラッピング酸		防火戸のガラス留め村は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。	[進加] 〇18.14.7	○ 自立型ガラススクリーン構法○ 吊下げ型ガラススクリーン構法		(ウ)ジッパーガスケット Y 型のアンダーリップ部には、非硬化プチル系などのシーリングを充填した後、頃に固定する。
if		- x 3:3 : : : : x - x		[進記]	ガラススクリ			(エ)ジッパーの関節は、4~5mm 程度長めに、45度に切除して押し込む。
20028	[進記]	17507 4844 - 174 - 1 407 434 4		(4)被層ガラスのスペーサー	ン構法	O MPG機法	000000000	
		の材質は下記による。		*指定色(*黒色 O) O製造者の仕様による	1.2550.635	〇 強化ガラス機法	[進加]	
	※鋼板製 〇	ステンレス製 SUS304 (厚さ 1.5mm)		(ア)次の部位に用いるガラスは、日本連築防炎協会場『政罰版ガラス開口部の安		〇 ガラス手すり横法	O16.14.11 合せガラス	(1)合せガラスの中間側は、次による。 (ア)外側の両掛り鎖トップライト、庇など)・室内水場周り・合せガラスの小口をシー
1	13 節 オーバーへ	いドドフ		全設計指針を満たすものとする。		※上記は専門工事会社による責任施工とし、施工に先立ち、ガラス厚、支持部 村の構造計算を行い、監理者の承諾を得ること	84,000	ルジョイントとする場合の中間膜は、白燭しない耐水性・耐久性を有する膜とす
				①対象範囲 *同指針により、安全設計が求められるとして例示された部分 ②対象開口部 *田入口 *田入口の周辺部 ・その他の開口部		州の構造計算されて、監理者の基础を行った。 (1) 外壁等に使用する場合の性能は下記による。		
Q16.132	セクション材料	開開方式 収納形式		②ガラス種別 →強化ガラス・設計図による		17 章カーテンウォールの 17.1.3(a)性能による耐風圧性能、耐震性能とする。		(イ)中間膜厚は、合せガラス材の構成・大きさ・使用する部位などに適合した所定
形式及び機構		※パランス式 ○ スタンダード酸		(イガラス風圧力によるたわみは、次による。		層間変位連従性能は、地震時、耐風時において、破暑や脱落が生じないものとす		の性能を満たす製造者の仕様による。ただし、競化合せガラスの中間膜厚は、
	O アルミニウムタイ O ファイバー ベラフ			※有限要素法文は、板鋼子協会の定める計算式で算出し、御材料の 1/100 以		5.		45 ミル以上とする。
	O ファイバーグラス	タイプ 〇 電助式 〇 ハイリフト形 〇 パーチカル形		下とする。		鉛度相対変位差限性能については、地震時における上下階の変位に差限するも のとする。		(2)合せガラスの工法は、次による。
	(2) 耐風圧性能下			(ウ)被磨ガラスを含むガラス表・裏は、原則構える (エ)強化ガラス・倍強度ガラス・セラミックプリントを施したガラス等、際処理を加えた		(ア) 対際性能		(ア)合せガラスのジョイント目地及びガラス留めに使用するシーリング村は、中間膜
	耐風圧性能(ガラスは、ローラーウェーブの方向を構えて設置する。		(a) 対温度差性能については下記による。		村に適した村賃・性能・工法による。
						※17 章カーテンウォール工事による		(イ)シーリング材と中間膜材の適合性について、製造者双方で合意した仕様のもの
O16.133		使用する材料は下記による。		(5) 下記条件において整割れしないこと。		(b) 耐熱性能については下記による。 (c) 新計算性的は下記による。また計算との処理方法は下記による。	1	を採用する。 (a)倍強度ガラスは、JJS R 3222 による。ただし表面圧縮応力は、規定値の範囲
村料	※ 資物 里野のつ	- き鋼板(あっき付着量:227) ○ステンレス鋼板		夏期 室内温度		(c) 対結構性能は下記による。また結構水の処理方法は下記による。 特殊水の処理方法 〇 みき取り 〇 排水	1	の低めとなるよう管理し、全ての箇所において SOMN/mを上限とする。
				※期 室内温度*℃ 室外温度*℃ (6)(財)日本連繋防炎協会「安全・安心ガラス設計施工指針」に基づき、下記の範囲に		有機水の処理方法 〇 かき取り 〇 併水 (イ) 水密性能、気密性能、速管性能は下記による。		(6)倍強度ガラスに用いる素板ガラスは、熱処理を行う事を前提とし、硫化ニック
	14 節 ガラス			おいて安全性を利定する資料、計算書を工事監理者に提出し、確認を受ける。		※17 章カーテンウォール工事による		ル等の不夠物の個人を極力防止して製造されたものとする。
		26				(ラ)耐久性能は下記による。		(d)倍強度ガラスの表面圧縮応力の発認は、次により行う。ただし、海外製品と
O15.14.1	[進記]		O15.14.3	(1) 板ガラスをはめ込む層の大きさ(面クリアランス、エッジクリアランス及び得り代)		Oジョイント創のシーリング性能保証期間年		する場合は 1).2のいずれもA種とする。
一般事項	(2) 共通事項	スの耐震性能については、JASS17 22.4 耐震性能に従う。	ガラス層の寸			(エ) 安全対策は下記による。 ※衝突防止シール環り 〇飛散防止ガラスフィルム張り		1)表面圧縮応力値の測定
	風圧力につい。	への問題生配に 30・0回、30、30 22.5 間景 圧配に行う では、連聚基準法及び関連施行令・告示に基いて下記の風速等に	法、形状等	の場合は、表 16.14.1 による。 (ア)排水機構を設けた場合の面クリアランス		(オ) 設置対策は下記による。		程別 別定装置 別定箇所 頻度
		5ラスが破構しないものとする。風圧力は構造概要書による。ただ		*5.0mm 以上 O3.5mm 以上 O		※干要 O		・集都 / ビネ式ガラス表面応力計 JJS 別定箇所及び中央付近 全級
	L、最小展任:	力 2000Pa(N/m)とする。		(イ)排水機構のないアルミニウム製建具のフラッシュ戸、鋼製建具及びステンレス		(力) 光の反射防止は下記による。		(新原製作所BTP-H(L) 1ヶ所以上
		については想定冠水レベルにおける静水圧・焼水等の外圧は除		製建具の開き戸及び引戸の面グリアランス		※F要 O		ルケオ:LSM-902 同等)
	ひに対してから	ラスが破槽しないものとする。		*5.0mm 以上		(キ) 電波の反射防止については下記による。 ※干要 O		※日程 製造者の仕様による 注)A 程の場合で、JIS に基づく製造者の仕様による品質管理と異なる場合は、付加
O15.14.2	[進記]			原仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JASS 17ガラス工事「3.1 頼まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を		(ク) 東大東駿の唇否は下記による。		上て実施する。
村料		(風歌室内屋含む)の耐風圧性能は下記による。		監理者に提出する。		※行わない		3級個性状の強認検査
10-10-10-	性能值		38	400.000		〇行う(創位: サイズ: 実験項目:)		種別 試験方法·判定基準 頻度
		8行令第 87 条及び建設省告示第 1454 号に定められた風圧力に	○15.14.4	[差記]		(2) 間世切に使用する場合の性能は下記による。		・食糧 BS EN1850 に撃災 製造作業単位 かつ製造条件ごとに 1
	新して安全であ 正匠 N/n		工法	(4)ガラス全般に関し、受圧者等はガラスの現場鍛入時及び違入れ後に、ガラス小ローの時間(5000年)、 1000年)		(a) 層間変位差洗性能は下記による。 ※1/300 で被害なく機能使用可能		回以上全数
		N/m² 以上に対して安全であること。		の状況検査を実施し、監理者に報告する。		(b) 速音性能は下記による。		※日種 製造者の仕機による
1	〇風間実験類		O 15, 14, 5	(1) 材料		ЖT-2		3ローラーウェーブの許容値は、次による。
1		設計用風速の割増し	ガラスプロック			(a) その他耐火性能、耐衝撃性能、断熱性能等が必要な場合は下記による。		程別 許容值
1		耳現期間 100 年相当 ○再現期間 200 年相当	積み	表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 防火性能		(3) ガラス手すりに使用する場合の性能は下記による。		- A 程 任意の 300mm に対して 0.15mm
1	〇再現期間_ (1) ##3-7の厚う			O 正方形 O O ※グリア ※無し		(a) 対水平荷雪性創立下記による。		-8種 任意の300mmに対して0.3mm
	(1) 板のラスの座と	※VOMBRIMARTEICAのほか、以下を通用する。 種類、仕様など		O 長方形 O O 有り O O 有り (イ) 使用金属枠及び補強材は設計図による。		(b) 対衝撃性能は下記による。		※C種 任意の300mmに対して0.5mm
1	○高透過 Low-E	〇ガラスの種類・高透過ダブル Low-Eガラス		(1) 空用金属件及の構築性による。 (カ) 力骨の材質、寸法、形状は下記による。	00000000			・0 種 製造者の仕様による
1	ガラス	〇可視光透過率: 35 駅以上 〇可視光反射率 13 %以下		※SUS304 5.5mm が は上ご形状機筋及び単筋 〇設計図による	[進加]	耐震性能、耐風性能については、JASS174節に従った性能とする。		注)上記に係わらず、海外製品は、A種 ※日種とする (1)体験をポラスを振く到したよる場合、次の時期の制造者がに3名場の報告、終本
1		○熱質廃棄: 1.85W/㎡K以下○ガラスの色味シルバーグレー		(コ) 化粧目地モルタルの色は下記による。	O16.14.6	・一次、二次ファスナー及びガラス支持金物はステンレス性とし、ビーズブラス		(a)倍強度ガラスを海外製品とする場合、次の時期の製造者が行う各種の測定、検査 に立ち会うとともに、全製品の試験成績表を対象として確認・押印し監理者に提出
	○熱糠吸収ガラス	O色:		0	SSG機法	ト仕上げとする。 ・ガラス穴は荒犬り処理を行う。		15.
	○際線反射ガラス	OB射取得: % O色:		(ザ) シーリング村の種類は下記による。 ロ		・ロテュールは、ステンレス説とする。	1	※初品及び中間時期の合計2回以上
	~ IMMENSATION AND	○巴:		○(シ) 金屬製化粧カバーの材質、寸法、形状は設計図による。	0.000037724	\$2-00 \$400 \$2 20 \$20 \$20 \$20 \$20 \$20 \$20 \$20 \$20	1	(金建築物引度上後10年以内に倍強度ガラスが自然破損した場合、建築物引度上後の
1	〇合せガラス	〇ガラスの種類:設計図による		(2) 工法	[進加]	(1)強化ガラスの厚さは、建具表及び設計図による。		傷等による場合を除き、受注者の費用負担にて復旧する。また、その原因究明は アルチャラに FUCE
	INTESTANGE TISSIEV	〇中間膜:	. [(ア) 建築基準法に基づき定まる風圧力は構造振要書による。その風圧力に対応	O16.14.9	(2)強化ガラス小口の保護	1	受注者の責により行う。
	〇後層ガラス	〇ガラスの種類: 設計図による NS-1867		した工法は下記による。	強化ガラス	※行为保護材の仕様: ※設計図による O SUS FB (ビーズプラスト)	C±301	
1	OL 5435	○熱質統率: 1.85W/㎡K以下可視光透過率 70% SC値 0.8		U		※行力保護性が世後: ※統計図による U SUS HI (ビースノラスト) ○行わない	O15.14.12	アクリル板御:ボアクリル板を用いた設計の手引き(日本メタアクリル樹脂協会:A&D 委
	○Low-Eガラス	○ガラスの種類:透明ダブル LDW-E またはシングル LDW-E 可視光透過率:70%以上 可視化反射率15%以下		(ウ)(a) ガラスブロックの目地幅の寸法は下記による。 平確み ※8mm 以上、15mm 以下 〇		(3)強化ガラスは全厚、全数ヒートソークテストを行う。	アクリル板	員会)10の材料機格、設計基準に基づく。
		○務實施卒: 18W/㎡K以下 9C値 0.44程度		曲面積 ※曲率半径をガラスプロックの幅寸法の 10倍以上とし、外側 15mm 以		(4)強化ガラスを海外製品とする場合、受圧者はヒートソークテストに立ち会い、製造者	1	Fix 403 18 体 Pell/中国
		〇ガラスの色味シルバー	. [下,内侧 6mm 以上 O		の試験成績表に押印し、監理者に提出する。	1	【追加】 <u>15 節 防炎建具</u>
	○真空ガラス	〇ガラスの種類: NS-1857		(プバリ) 伊格調を目的の位置は設計図による。		(5)建築物引波後、強化ガラスが原因不明または実物個人などが原因で自然破損した ときは、これを契約不適合として扱い、復旧する。この場合の契約不適合責任期間	[達和]	(1)金物類は、原則として亜鉛合金またはアルミニウム合金を使用しない。
		O際電航車: W/mik		(ウ)(i)目地側の力骨の補強方法は下記による。 ※ボネスプロック制は表の共鳴による。		こさは、これを美利で通告として扱い、使用する。この場合の美利で通告責任期間は、10年とする。	O16.15.3	(2)ガラス厚や木製厚などで特定防火設備とする場合は、連具表による。
	○特殊ガラス	〇耐火ガラス 〇耐熱ガラス 日本電気開子ファイヤライト同		※ガラスプロック製造所の仕様による O 製計図による		(5)強化ガラスは、飛散防止フィルムなどの落下防止対策を講じた場合を除いて、地上	特定防火器	
1		等品 〇電概複数ガラス 〇合わせガラス(手すき和紙入り)	G≜#o]	下記の範囲に適用する		面・床面から3m を超える部分では使用しない。	(M)-	(4)ソレノイドの保持力は、火災時に手で開けられる強さ、かつ体が触れても閉じない
	※外鉄ガラスは ※	○単級を載りラス ○日わなりラス(子) これれたり 辞割れ防止を検討する。なお、ガラスに近接した壁などがある場合	O15.14.5	〇全ての強化ガラス 〇全てのドアガラス		(7)厚さ Smm 以下の強化ガラスを学校及び住宅の地上面・床面から 12m以内で使用	防火 設備(所 火戸)	射 強さとする。 (5)くぐり戸付きの場合、くぐり戸の下側は下枠のない形式とする。
		23個分については、ガラスのみならず、周辺の状況も計算要素に	ガラス用フィル			する場合は、飛動防止フィルムを省略することができる。ただし、子供や合軍などの 歴史をエスからもの名を組合したと	V-1	(3) 防火戸付き消火ホースロの大きさ、開閉機構、取付け位置は、所轄消防署と協議
	かえる.		L	※外側に面する側位は、際側れ防止を検討する。なお、ガラスに近接した壁など がある場合が、関係はJUCなる側合については、ボラスのもなさず、円辺の地位		衝突等下のおそれのある場合は除く。 (3)床面からの片待方式となる強化ガラスの手すりには、強化合せガラスを使用する。	1	のうえ決定する。
		-トソークテスト済みのものとし、メーカー仕様による。 		がある場合や、熱だまりになる側分については、ガラスのみならず、周辺の状況 も計算要素に加える。		(9) DPG 工法を採用した場合の面ガラスは、強化合せガラスとする。	1	(7)枠の固定方式は、認定を受けた仕様とする。
		9周には防御処理を行う。防御処理はプチルゴムテープとアルミテー 等以上の処理とする。		(1)ガラス用フィルムは下記による。		(10)ガラスリプなど他都材の支持構造部材として用いる強化ガラスは、強化合せガラ	()色(to)	
		マスエンを発生する。 スに用いる素板ガラスは、熱処理を行うことを前提とし、硫化ニッケ		名称 担類 張り面 性能値		スとする。	O16.15.4	(1)連緊基準法第2条第9号二のロ、連緊基準法第84条(延焼のおそれの防火設備)
28 2	97867778767		- R	※ガラス飛散防止フィル 第2種 ※内張り 飛散防止率 D1	(5)		100000000000000000000000000000000000000	THE PERSON OF TH
	株主	(余社 NTTファシリティーズ - 知道整主金券 第 882141 号 森 良木	- 無機士	登録 前 30 SI 14 号 伝地 映太 担当 特配		I#8	200 E	特記仕様書12 図9番号 C712 連緊
O) NTT7	ァシリティーズ -#	段連聚士事務所 西日本事業本部 ── 銀建造±2板 第 89842 年 里男 和	und Text	Marie Car		大阪市立科学館外壁補修その他工事		
	大阪	反府知事登錄 (F)第 14884 号		並を必 4HM−1	12-0LD-1		輸収	年表 (西福東末) 2025 年 1 日

O NT	『ファシリティーズ 一級連挙士事務所 西日本事業本制 - 無連巻士金集 第 895842 年 里男 和 大阪府和事登録 (ト)第 14584 号	* -	\$7554 4HM-	12-0LD-1	8	大阪市立	江科学館外壁補修そ	の他工事	輸水	THE PROPERTY OF		(不良) 国际	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<i>M</i>	株式会社 NTTファシリティーズ 一根値主金数 第 822141 年 森 良太	- 0	機 剪 203114 异 资地 扇太 担当 特配		工事书	pr	L TO 112 AND 27 TH SE -		200 8	特記仕様書		御祭 C-13	区分 建築
	る。ただし、キシレンは塗料の種類により配合が必要な場合、極力少ないもの を選定する。		汚れ・付着物除去	55 65		を者の仕様によ 製業所提性上塗	る中塗り用塗料 0.13~0.1 ・ソ塗料(1種) 0.14~0.1		[達和]	【追加】13 節 ラッカーエ・ ラッカーエナメル参りの種別は			
	を受けたものとする。 (3)屋内で塗布する塗料は、原則としてトルエン・キシレンを含まないものとす		表 18.2.8 アルミーウム面点のスインシンス傾面の素地こしらえ 工程 程別 塗装 面の処置 傑考 A 程 10 程 2 年 2 年 2 日 2 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日	(土棚室板)	2 下塗り 工术	性[表 18.2.6]A 相 ドキシ樹脂プライ	(₹ 0.12~0.1			復遇型木材保護 たことは319 年 → ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	[注記] (の特記により防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定又は認定	及びステンレス の素地ごLらえ	工法に応じた知の規定による。 (2所に企画面に有害な概念つけないようにする。 表 1828 アルミニウム面及びステンレス構画の素地ごしらえ	の前接性塗料 塗り (工場塗装)	<u> </u>		(kg/m2)			ホウ酸:ホウ酸系不能 無処理			
5	※規制対象外 〇第三程	●182.8 アルミニウム面 及びステンレス	(1)アルミニウム面及びステンレス側面の素地ごしらえは表 1828 により、種別は塗り 工法に応じた節の規定による。	GRG パネル面 の耐候性塗料		のパネル面の面	排性塗料塗り あその他 塗付け■	t 機物	95t)	不概処理 リン酸:リン酸素不概			
装 材料工	※F女女女女 〇ng/L 建物内側に使用するユリア機能等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量	[E #0] ●182.8		(2月10) O18.7.5 PC パネル面・	(1) PCパネル面・GRCパ: *ソリッドカラー 〇メタリ		生塗料塗火工場塗装)は、表1	874による。	〇18.12.2 木材保護塗非				
№ ●18.1.3	(1) 塗料のホルムアルデヒド放散量は下記による。	地ごしらえ	(18上版77: / ★日種	[達和]		1 Trans 070	mercus carate 1.01			12 節 木材保護塗料塗り			
章	1. 並一般事項	面及びその他 ボード面の素	○ A種(せっこうボードの目地工法が概目処理工法の場合)	セメント板面像 接性塗料塗り	● 1級 ○ 2:	· 後 〇 3 後	! 染防止タイプを原則とする。			10 Mg . 1 1 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	II (two)		
	17章 カーテンウォールエ事	O182.7 せっこうボード	せっこうボード面及びその他ボード面の薬地ごしらえの種別は下記による。	コンクリート面 及び押出成形	OAHE BE			(#1) (#1) (#1) (#1)		注入(1)登装は、工場登装また			
		6ā		装 ●18.7.4			ト板面耐候性塗料塗りの種別	は下記による。			きたは水研ぎ(P120~P220 ン樹脂ワニス	0.08~0.10	回数:1 回数:1
	(3)ダクトが接続されるガラリは接機枠付きとし、枠裏面(室内側)に断熱処置を施す。 (4)ガラリの、取付けポルト・ナットなどは、微振動により 脱準しない構造とする。	成形セメント板 面の素地ごし		亜鉛めっき銀面の耐候性窒	3500 (SS) - 307 (SS)		(染防止タイプを原則とする。			7 上塗り ウレタン	ン樹脂ワニス	0.10~0.13	回数: 2
	は 70%、ガラリ通過風速 3m/Sとして計画風量に基づき算出する。	ル面及び押出	ただし、耐候性塗料塗り(DP)の場合は、際性 表 1826 のA種による。	O187.3	塗装下地 アルミ (1)(ア)上塗りの等級は下	記にお。					。 または水研ぎ(P120~P220		回数: 2
If	○図示以析はステンレス素地 ○ (2)給排気ガラリの必要面積は、原則として機型ガラリは関ロ 후 30%、模型防水ガラリ	コンクリート 面、ALCパネ	(1) コンクリート面及びALCパネル面の棄地ごしらえの種別は下記による。 ○ A種 *8種	性能塗装	(イ)上塗りは、親水化;	方式等による例	。 5独防止タイプを原則とする。				ン樹脂系ケッドシ ーフー ン樹脂系サンディングシー	0.09~0.10 7 0.09~0.10	
○15.18.4 形状及び		O182.6		●18.7.2 鉄鋼面の耐久	(1)(ア)上塗りの等級は下 ● 1級 ○ 2:					121 (0000000) 0000000	i		1000000 70
[3±30]	(1)外側に両するガラリには、ダクト接機の有無にかかわらずステンレス製防局網を設	スター面の素 地ごLGえ			7 節 耐候性塗料塗り					2 目どめ ケッド5 3 色つけ 着色剤	⊱ , j	/=) /=	回数:1~2 回数:1~2
村料		びせっこうプラ	モルタル面及びぜっこうブラスター面の素地ごしらえの種別は下記による。 OA種 ※日種	非水分散 PP型	\$400.00 TO \$100.00 TO \$100.00 TO \$100.00	(DD)			1-0,000		表 182.1]日 程		
[\$≜\$10] ⊝16.18.3	連具の種別ごとに、該当する項による。	①182.5 モルタル面及	Service and the service of the servi	アクリル樹脂器 非水分散 形象	O AND *840				○18.10.3 着色ウレタン	工程	塗料・その他	塗付け量 (kg/m2)	通用
性能及び	20 5 5 1 5 1 5 1 5 1 6 1 6 1 6 1 5 1 5 1 5		O	01882	アクリル樹脂素非水分散			100	[達加]	(1)木御の着色ケレタン樹脂	皆ワニス塗りは、表 18.10.3 l	ita.	
[進加] 〇18.18.2	外側に面するガラリの耐風圧性能 〇 性能値(s-)	の素地ごLらえ	○ A種 ※亜鉛めっき鋼面への鎖止め塗料塗りA 種)、耐候性塗料塗りの場合		6節 アクリル樹脂系計	非术分散形塑	料變リ(NAD)		ウレタン樹脂で ニス塗り	D A種 ※8種			
		亜鉛めつき面	程別 施工側位及び塗料程別	クリヤラッカー 塗り	O A種 *B種	ı			O18 10.2	クレタン機能ワニス塗りの	種別は下記による。		
〇16.18.1 設置基準	5.	O182.4	亜鉛めつき面の素地ごしらえの種別は下記による。	01852	クリヤラッカー塗りの種類		i.			10 節 ウレタン樹脂ワニ	ス 塗り(UC)	1	
[達加]	この節は、アルミニウム製ガラリ・鋼製ガラリ・ステンレス製ガラリ・木製ガラリに適用す	10.5	○ 日程 (耐技性塗料塗削) ※ C程 (耐技性塗料塗削については日程とする。)		5 節 クリヤラッカー塗り	9 (CL)	12						
	【追加】 12 第 ガラリ	鉄鋼面の素地 ごLGえ	鉄鋼面の乗地ごLらえの種別は下記による。 ○ A種	> ⊦% 9					上塗り	※採未選 〇病未選	i		
	立会いのもとに実物を作動させ、各種機能及び緊急時対応、保守管理方法の説明: う。	●162.3	Filter in a conception of the contract and adjusted in the contract and th	鉄鋼面の合成 樹脂調合べっ			90 (1997) 1997);		合成機能エス ルションペイン	合成樹脂エマルションペイン			
○15.17.2 完成検査		木御の素地ご L6え	(1) 木創の乗地ごしらえの種別は下記による。 〇4種(不透明塗料塗り) ※4種(透明塗料塗り)	O1843	鉄鋼面合成樹脂調合べ	ペイント塗りの程	別は下記による。		O1892		ント塗りの種別は下記による	5.	
[J É .NO]	(1)工事完成に先立ち、発注者・整理者立会いのもと、受注者は製造者とともに、大型	O182.2		#指摘 合ペイン! 塗り	屋内 *□種 ○	<u> </u>			上塗り	B 節 合成樹脂エマルショ	ョンペイント塗り(EP)	<u> </u>	
設置基準	(2004 年 6 月 29 日朝定)に適合したものとする。 (2) 所籍自治体で関連の条例がある場合は、これに適合したものとする。		2.節 家地ごしらえ	○184.2 木御の合成機			は下記による。		合成機能エス ルションペイン	1			
D≜N0] ○16.17.1	(1)大型自動回転ドア(回転側の外径が3mを超えるものの場合は、 国土交通省・経済産業省の「自動回転ドアの事故防止対策に関するガイドライン」	の選定	(2)工事指揮者は、必要に応じ危険物取扱い者の有資格者とする。	一般事項	*1Æ O		55 - 1007000		01884 鉄鋼面つや4	鉄鋼面つや有合成機能エマル 〇 A程 ※8種	ベョンヘイント塗りの種別は	recl⊷&a.	
F34.4m3	38	事門工事業者	*日本塗装工業会の会員 〇設計図による 〇監理者の確認する業者	01841	合成機能調合ペイント登		類は下記による。			20120 X 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Same of State of Section Section		
75 FORES	【追加】17.節 大型自動回転片之	D≜#0] O18.1.8	(1)签轶车門工事業者		4 節 合成樹脂調合べ	ペイント参り(S	OP)		脂エマルション ペイント盤り				
〇15.16.1 通用範囲	(2)この節に規定する事項以外は、11 節星量シャッターによる。		などを検討するために、試験塗りを行う。		*類別連具はA種、				他ポード面等				
[達加]	(1)この節は、連緊物に使用するリンクグリルシャッターに適用する。		(2)各塗装種別ごとに塗装工程表・使用材料表を作成する。 (3)監理者の指示により、工法・按能・色・つや・配色・仕上げ程度及び仕上げ面の状態	9	見え隠れ部分 *B (3) 亜鉛めつき調面領止	B# 0	━ ━ ■ 別け下記にナス		面、せっこうが 一ド面、その				
	【追加】 16 第 リンクグリルシャッター		(注記)	●1833 額止め登算室	(1) 鉄鋼面の領止め塗料 見え掛り卸分 *A		(下記による。		面、モルタル 面、プラスター	○ A種 ※日種			こるものとする。
自然排煙		●18.1.5 見本	(1)見本は、原則として基村・各签装種別・色調ごとに色見本塗板を作成する。整理者 の指示により見本機に替えることができる。		を行う。				O1882 コンクリート	(ア)コンクリート面、モルタルii 有合成樹脂エマルションペっ			ポード面等つ4
[3≜210] ⊜18.18.6	(1)関放は手動式または手動式併用電動式とし、適用は設計回による。 (2)自衛排煙専用の場合はワイヤー式とし、換気兼用の場合はチェーン式とする。		登装を行うこと		[進記]		・ハンド型タの場合はも確認する 適合性・密着性については、			8節 つや有合成樹脂エ	マルションペイント参り(EP-G)	90
	※ステンレス製HL世上If 〇類製焼付け塗装仕上If		(カ)溶接個所、ボルト廻り、エッジ側分などについては空増し等を施し、十分な空厚 を確保すること。また、空料の溜まりやたれなどが無いように入念に下地処理。		※4種 08種	0 👊	ペイント塗りの場合はC種とする	z.		が無いことを確認したも	のを用いる。		
	トその他の網路装置を設ける。 (3)操作ポックスの仕様は次により、取扱い方法を明示する。		け)コンクリートプロック下地でモルタル塗り塗装仕上げの場合は、悪冷珍張りのう え塗装する。	〇1832 塗料種別	(2) 亜鉛あっき調面の値	鎮止め塗料の理	別は下記による。			則とする。	時に用いるりん木保護材の		
わ壁	(イ)手動機作がックスを設け手動降下可能な機能とし、後間も手動による。 (力)降下に際し色激に降下しないよう、ステイダンパー・ガパーナー・パランスウェイ	施工一般	(5)(エ)壁面及び天井の塗装は、ローラーブラシ塗り仕上げを原則とする。ただし、ロックケール化粧吸音板に塗装する場合は、シーラー処理のうえ吹付け塗りとする。		3.節 鏡止め塗料塗り					えに先立って確実に終 (2)塗装は、PO 工事または	関修をおこなう。		
○15.15.5 可動式防	煙亜 (ア)感知器運動の自動降下式とする。	● 18.1.4	D≜RI		(154905-2703-25-346-270-0-3-3-3-7			1-4xe/1950/19		において、高圧水洗り	思れたビンホールが存在し などにより確実に処理する。		
[達加]	(1)方式は、ロール式の場合はガイドレールは、まぐさ内組込みとする。		○通用する(○すべての塗料 ○陽べい削以外の削分 ○設計図による) (10) VDC 含有量1%以下(鉄削用は5%以下)の水性塗料を原則とする。		注)(1)A 種は工場塗装、日 (2)ステンレス鋼の素地		を標準とする。 目とし、ヘアラインを施したもの	೬ ಕನ್ನ		する。GRC パネルのは	:用いる下地調整材は微和で 場合は、素地ごしらえの工程	3を省略する。	
	(ウ)防火防煙シャッターの場合は、煙感知器と運動するものとする。 (エ)手動耐緩装置を設置する。		製造者の安全データシート(SDS)により確認をする。 ※適用しない				して転換させる。	h		の確認を得たものとす			
防火防煙・ ター)	告示第 2564 号)による速度性能試験に合格するものとする。		の種類により配合が必要な場合は、塗膜中の鉛含有量が 0.08%以下のものと する。指定した色調により着色顔料に鉛が含まれるおそれがある場合は、塗料		879/868/8815 533		浸慣L表面処理を 行ったのち、水洗い	直ちに次の 工程に移る		風管理・温度管理を通			
シャッタ- 建シャッ:	ター・ (イ)防火防煙シャッターのスラットは、インターロッキング形とし、「防火区画に用い		(9)次により連緊物全制について鉛フリーの塗料を適用する場合は、該当部位に 用いる塗り仕様すべての塗料を、原則として鉛を配合しないものとする。塗料		化学処理 〇	1	する。 クロム酸塩溶液に	放置せず、			たは専用の作業テント内で		
源· 防火設備	(2)除式・機構は 16.11 によるほか、次による。 (防火 (ア)スラットは、排煙機動性等の負圧を受けてもガイドレールから外れることのない		(3) 塗料は、極力鉛を配合しないもの、あるいは配合量の少ないものから選定する。				油分を除去する。 り溶剤概念で除去	直ちに次の 工程に移る。		る。 (イ)メタリック塗装の場合	は、上塗りを2回塗りとし、	1 回目は必少り	ック、2回目は
特定防			(方内装塗装仕上げに使用する塗料は、原則として防汚染型とする。 (ののでは、原力の大利なしないよう。 まるいはおくまついないようかと		油類除去 〇	о -	a) 苛性ソーダなどで	放置せず、		注)(ア)塗装は原則としてス	ブレー方式とする。はけ愛い	による場合は	是理者と協議す

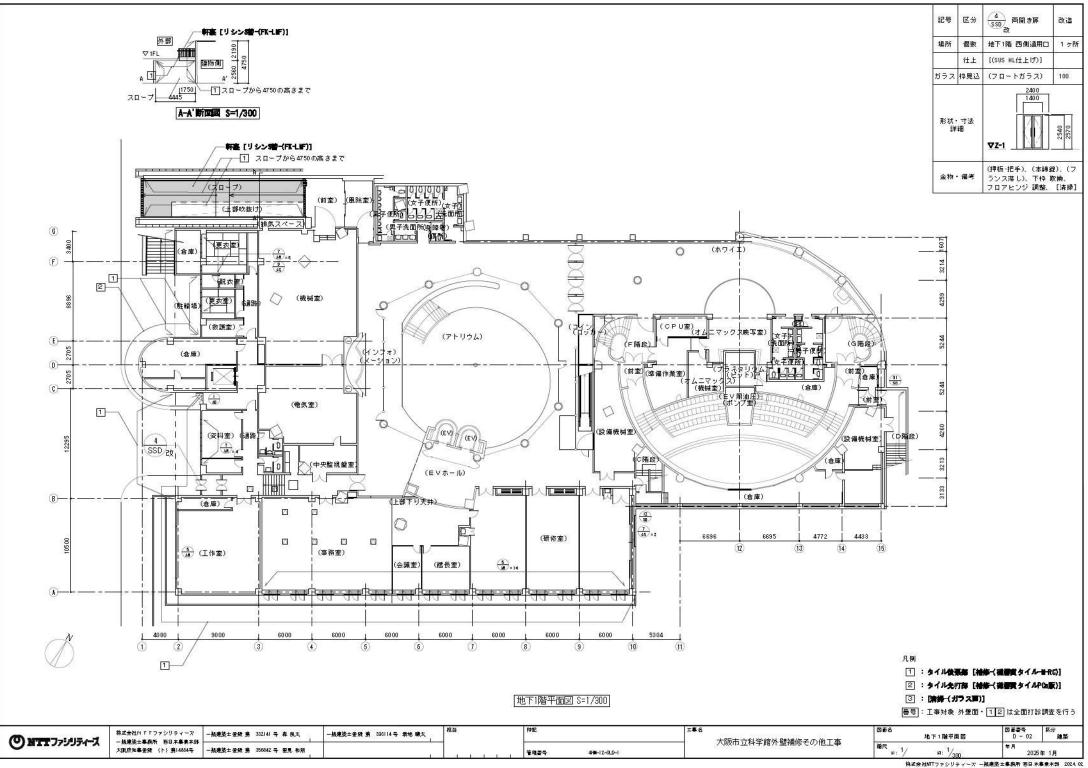
	and the state of t			Lorenza				•				
○18131 ラッカーエナメ	O A種 ※B種 O下配による 不燃処理		4 上塗り ふっ栗樹脂塗装ゾリッドカラー 25~35 5 焼付け 232°0~242°0 5~10分 -	y(FUC)	(イ) 陽種酸化皮 ※製造者の)膜の仕上げ ・標準仕様 ○マット処理		[達加] 〇18.17.1		ンクリート面(コンクリート打放し面・Pぐ ント板を含む)の保護塗料塗り(FUC)		タル面など
ル盤り	・リン酸:日本ペイント、ファイン クレタン U100		合計機厚 30 以上		(ラ) 塗製程別	Grant Charles		通用範囲	y paralygis as			
	・水力酸:キシラデコール 2 回塗り		注)(ア)ふっ栗樹脂塗料は、2 ふっ化ビニリテン熱溶験型塗料とし、カイナー500 配合と			脂クリヤー焼付け塗装 15 μm						
	無処理 ・キシラデコール 2 回塗り		する(上塗り塗料樹脂分中、2 ふっ化ビニリテン樹脂を70%以上配合する)。		(エ) クリヤ塗装(刘陽種酸化皮膜と連続した塗装ライン	1546	[達加] 〇18.17.2		iのふっ栗樹脂クリヤー塗り(FUC)は、 iの打上り状態により、やむを得ず補		
	**************************************		(イ)光沢は30 グロスを標準とする(30° 鏡面反射)。 (ク膜面コートは、原則として下塗りプライマーと同種塗料とし、10 μm 以上とする。		Fin to the A. F.	医三水子 经递收性		コンクリート面		?は、監理者と協議のうえ必要に応し		
	【追加】14 <u>節 その他の塗料塗り</u>		(工)塗装は原則としてスプレー方式による。塗装ラインには前処理と連続したクリー		[25] [10] [10] [20] [20]	<u>属面のクリヤー保護塗装</u>		のふつ素樹脂	行为。	水化方式などによる汚染防止タイプを	T DI L + 7	
(£#0)	村 質 水性アクリル系機能塗料(※標準色 〇)		ンポックスを有する。 (オ)本工程は、下地が良好な面積度・平坦度を有するものとし、層き工程は必要な	[连加]	(1) この節は、金属	層面のクリヤー保護塗料塗りに適用す	·a.	クリヤー 塗り (FUC)		小10万式などによる55米のエッチンで クリート面のふつ素樹脂クリヤー塗り		
O18141	仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り)		(7)本工程は、下地が設計は関構は、千垣はを行するものとは、屋を工程は必要は い。	○18.15.1 通用範囲				100000	工程	塗料・その他	塗併け量	经以回数
防魔用塗料塗	签布量 主剤 2 回签とし、総签布置は 0.25kg/m 以上とする。		(カ)アルミニウム面において性能を満たす証明がある場合は、薄膜アルマイド(5~						1 乗地ごしらえ	作も、はこいかりは 動物 取りの戦 A	(kg/m2)	+
			10gm)を下塗りまでの工程に替えることができる。 (牛)現場タッチアップは、カイナーADS 機能塗料による。	[進加]	150500 D00000	ス面のアクリルシリコーン樹脂クリヤー	FEX.256.26 (400)		1 素地にはらん	汚れ・ほこりなど付着物及び離る を入念に除去し乾燥した環浄なご		1
	【追加】15 節 金属面の工場塗装	20.0000000		○18.16.2 ステンレス面の	(2-78-	-8 腐食環境・海岸雰囲気・屋内プール	16)			する。	4	4
[達加]	(1) この節は、アルミニウム面・ステンレス鋼面・亜鉛めっき鋼面の工場塗装に適用す	[達加] 〇18.16.5	(1) 亜鉛めっき鋼板・アルミニウム・ステンレス鋼のふっ乗機脂がタリック)焼付け塗り (F-旺)は、表 18.16.4 による。	アクリルシリ:	工程	塗料・その他	塗付け量 通用		2 吸水防止処理 3 下塗り	特殊シラン素機水処理剤 ぬれ肌防止用塗料	0.13~0.20 0.10~0.15	
O1815.1	δ.	ふつ素樹脂	(2) 塗膜の付加機能は次により、必要に応じて工程・膜厚を付加する。	一ン樹脂クリキー塗状2-ASC	1		(kg/m2) (標準10 單(μ		4 中塗り	ふつ素樹脂クリアー塗装	0.10~0.15	
通用 範囲・一 数事項	(2) 各塗装工程の間に通切なインターバルまたはセッティング時間を確保する。 (3) 工程数・各機厚及び乾燥条件は塗装工場の仕様により、塗料製造者が了承する	(メタリック) 焼	O 汚染防止 O	- AND CO.			m))		5 上塗り	ふつ素樹脂クリアー塗装	0.10~0.15	1
	条件による。	付け塗り(F- BE)	(3) メタリックの程度 ※一般 Oハイスパークルメタリック		1 素地ごLisえ	操仕表 18.2.2]A 程 [表 18.2.9]A 程	一 工場塗装		注(ア)塗装は、原具	(つや隣し) 例としてスプレー方式とする。。	- 180	
	(4)隠べい力に劣る色相等の場合は、必要に応じた中塗り工程を付加する。				2 上塗り1回目	アクリルシリコーン樹着(クリアー)	0.12~0.15 または (15~20) 現場登装			駅を受けて中塗りを省略することが1	: ₹る.	
(3 ± 30)	(1) 亜鉛めっき鋼板・アルミニウム・ステンレス鋼面のアクリル樹脂焼付け塗り(A-BE)		表 18.16.4 亜鉛あっき・アルミニウム・ステンレス鋼のふっ素樹脂メタリック)焼付け 塗り(F-BE)		4 上塗り2回目	アクリルシリコーン樹着(クリアー)	0.12~0.16		1:040310 d5 +	准件账条约条 []		
O18152	は、表 18.17.1 による。		工程 塗料・その他 裸準閲覧以前 通用		48 University (1980)		(15~20)		【追加】 <u>18節 木</u>	<u> </u>		
アクリル樹脂焼 付け塗り	(2) 室内に用いる様状化粧材(見切り縁など)のアクリル樹脂焼付け塗り ※製造者の標準仕様(2コート1ペーク 25μm 程度) 〇表 18.18.1 による		1 素地ごしらえ 横任(表 18.2.2)4 程[表 18.2.9]4 程 - 工場签装		合計機厚		(30以上)	[達加]	この節は、木御の特	殊塗料塗り(00、LE)に適用する。		
(A-BE)	Water Charles 11.1 / Tobulate Communication		2 下塗り ふつ素謝着系フラッシュプライマー 5~10		(注入/)室装は、原原 する。	としてスプレー方式とする。 はけ塗り	による場合は、近年台に映画	〇18.18.1 通用範囲				
	表 18.16.1 亜鉛めっき鋼板・アルミニウム・ステンレス鋼面のアクリル機脂焼付け塗 リ(A-EE)		4 上塗り(1回目) ふっ栗樹脂塗装/タリックカラー 25~35		(小裏面コートは	、原則として上表の上塗以1 回目)ま7	でとする。(見え掛り以外も同じ	75113 40 623				
	19(大-EE)		5 焼付け 232°C~242°C 5~10分 - 5 上筌り(2回目) ふつ素樹脂クリアー 25~35		とする) (ウ)強制銃操は	、塗膜性能を考慮して塗料製造者の打	指示または事前確認で条件を	[達加] 〇18.18.2		フィニッシュ仕上げ(DC)は、表 18.19.1 のオイルフィニッシュ(DC)	による。	
	1 素地ごしらえ 操任表 18.22]A 種[表 18.29]A 種 - 工場签装		7 统计计 232°C~242°C 5~10分 —			然乾燥とする場合は、監理者と協議		木創のオイル	工程	のオイルシィークシュ(ル) 塗料・その他	塗併け量	適用
	2 下塗り エボキシ樹脂プライマー 5~20		合計變厚 30以上		を行う。			フィニッシュ	15161273		(kg/m2)	DER STAN
	3 焼けけ 180℃ 20分 —		注)(ア)ふっ素樹脂塗料は、2 ふっ化ビニリテン熱溶酸型塗料とし、カイナー500 配合と する人と塗り塗料樹脂分中、2 ふっ化ビニリテン樹脂を70%以上配合する)。	[達加]	(1) ステンレス面の	9ふっ栗樹脂クリヤー塗料塗り(2-FUC)は、次による。	仕上げ(00)	1 素地ごしらえ	標世表 182.1旧程	1 5	
	4 上塗り(1回目) アクリル樹脂焼付け塗装 5~20 5 上塗り(2回目) アクリル樹脂焼付け塗装 20~25		(イ)光沢は30 グロスを標準とする(80° 鏡面反射)。	O18.16.3		・表 18.17.4	TOU + 7		2 研題紙ずり	空研ぎまたは水研ぎ(P120~P220		回数:2
	8 焼付け 180°C 30分 —		(ウ)裏面コートは、原則として下塗りプライマーと同種塗料とし、10 μm 以上とする。	ステンレス面の		K化方式などによる汚染防止タイプをJ R面のふっ栗樹脂クリヤー塗料塗り2-			3 下塗り 4 中塗り	スパーワニス		回数:1 回数:1
	合計製庫 40 以上		(エ)登抜は原則としてスプレー方式による。登抜ラインには前処理と連携したクリー ンポックスを有する。	→ 金以(2-FUC)		塗料・その他	塗 仟 片 量 通用		5 研題紙ずり	空研ぎまたは水研ぎ(P320~P400	22 22	回数:1
	注)(ア) 下塗り膜厚は、アルミニウム 5~10 μm、ステンレス鋼 10~15 μm、亜鉛めっき 鋼板 15~20 μm とする。		(オ)本工程は、下地が良好な面積度・平坦度を有するものとし、産き工程は必要な				(8g/m2) (標準調理(μ		5 房橋	クエスにて紙取り	1 2	回数:1
	(介裏面コートは、原則として塗料はエポキシ樹脂プライマーとし、10μm 以上とす		い。 (カ)承地ごLらえ及び下塗りに替えて強膜アルマイト(5~10 g m)とする場合には、性		(g) (g)		m()		7 研題	スチールケール	- 1	回数:1
	5.		能を満たす証明を監理者に提出し確認を受ける。ただし中塗りとして、ふつ素樹		1 素地ごLらえ	掲住 [表 18.2.9]B 程	一 工場塗装		8 仕上げ塗り	オイル(直ちにウエスで試き取る)	0.05~0.10	回数:1
	(ラ)スプレーコート塗装ラインはクリーンポックスを設備し、前後理と連載していること。 と、		脂パリアコート 15~25μm を連加する。 (牛)現場タッチアップは、カイナーADS 機能塗料による。		2 下塗り	反応硬化形ウレダン樹着(クリアー)	0.12~0.15 または (15~20) 現場金装		炷(ア)塗装は、工場	男塗装または現場塗装とする。		5
	(エ)亜鉛めっき鋼板の溶接部分は研磨器ずりのうえ、エボキシ樹脂ジンクリッチプラ		(ク)ハイスパークルメタリックの場合は中塗りパリアコート)としてふっ栗重機塗料(25		2 上塗り1回目	反応硬化形の心素樹着(クリアー)	0.12~0.16					
	イマー70 µ m(強制乾燥の場合 60~80°Cで 20 分間)とする。 (オ)アルミニウム面において性能を満たす証明がある場合は、強膜アルマイト(5~		~35 µ m)を進加する。		-		(15~20)	D≜#0]	(1) 木創のラッカー	ーエナメル塗りは、特殊塗料塗りに通	用するものとし、	表 16.19.2
	10 µm)を乗地ごしらえに替えることができる。				3 乾燥	強制または自然乾燥	(30 g(±)	O18.18.3		L OO相による。		
		Die No 1	(a) アルミニウム・ステンレス面のふっ素機能中温焼付け塗以F-BE)は、表 18.16.5 に		合計膜厚 第)(7)反応硬化的/	▲ Sつ乗樹脂塗装は、ルミフロン同等配を		木御のラッカー エナメル 塗り	工程	のラッカーエナメル塗り(LE) 種別 塗料・1	-の他	塗付け量
D≜X0]	(1) 亜鉛あっき鋼板・アルミニウム・ステンレス鋼の 1 被クレタン焼付け塗り(J-BE)は、	○18.16.6 ふ⇒乗樹脂中	よる。 ・ (b) 登膜の付加機能は次により、必要に応じて工程・機厚を付加する。		(ብ塗膜の光沢)	t,30~80 グロスとする(80° 鏡面反射	Mf).	(LE)			現情名称・種類	(kg/m2)
O18163	表 18 15.2 による。	温焼付け塗り	○汚染防止 ○メタリック(○一般 ○ハイスパークル)			、塗膜性能を考慮して塗料製造者の打 然乾燥とする場合は、監理者と協議の			1 素地ごしらえ	祖祖祖	仕[表 182.2]による	-
樹脂焼付け塗	表 18.16.2 亜鉛めっき・アルミニウム・ステンレス鋼 1 限ウレタン焼付け塗り(U-EE) 工程 塗料・その他 裸準調製(μm) 通用	(F-BE)	OF-BE-RI 硫化イプシ属 OF-BE-RS リン酸処理風塗装		行为。				2 F2V		油性系下地塗料	0.09
y	1 素地ごしらえ 横江泉18.23A 程[数18.29]A 程 - 工場签装		表 18.16.5 アルミニウム・ステンレス面のふつ素樹脂中温焼付け塗り(F-BE)		(工)長面コートは	、原則として上表の下塗りまでとする	(見え掛り以外も同じとする)。			4 51 52 51	オイルブライマー	4
(U-EE)	2 下塗り エボキシ機能プライマー 5~20		工程 塗料・その他 標準調製以前 通用		表 18.17.4 ステンレ	ス面のふつ素樹脂クリヤー塗料塗り			3 研題	0 0 -	₩₩₩ P220	-
	3 焼付け 180°C 20分 - 4 上塗り(1回目) 1 脱ケレタン機能 5~20		1 素地ごL6元 [表 1829]A種 - 工場登装 2 下窓り 中閣條付け用プライマー 5~20 (模様付			- B 腐食環境・海岸雰囲気・屋内ブー!			4 パテかい	O JJS K 5391	連性系下地塗料 オイルバテ	
	4 工業5(1日日7 1 投プレタン機関 5~20 5 上筆5(2日日) 1 投ヴレタン機関 20~25		2 下塗り 中温焼付け用プライマー 5~20 (長様付け) 3 焼付け 180°C~180°C 2~30分 -		工程	塗料・その他	後 拝 サ 量 通用 (kg/m2)		s パテ付け	O O - JJS K 5391	油性系下地密料	E85
	6 焼付け 180°C 30分 —		4 上盤り(1回目) ふつ柔樹脂塗装(ソッドカラー)(中温 15~20				(標準院理(皮		8 研磨紙ずり	00-	オイルバテ	55 SSSS
	合計機學 40以上		焼付け用)		1 素地ごしらえ	横仕 [表 1829]B 程	mi) 一 工場登装		7 中塗り		研選供 P240 油性系下地塗料	0.14
	注)(ア)下塗り機厚は、アルミニウム 5~10 μm、ステンレス鋼 10~15 μm、亜鉛めっき 鋼板 15~20 μm とする。		S 上参り(2 回目) ふつ栗樹脂塗装 (ソッドカラー) (中温 20~25 焼付け用)		2 下塗り	反応硬化形ウレダン樹着(クリアー)	0.12~0.16 または		0.47		# はま いるまれ イルサーフェーサー	100000
	(イ)裏面コートは、原則として塗料はエポキシ樹脂プライマーとし、10μm 以上とす		5 焼付け 180°0~180°0 2~30分 —		SIE SAMERIEGE		(15~20) 現場塗装		8 水研ぎ		水料港掛 P320	1778
	る。 (ウ)スプレーコート塗装ラインはクリーンポックスを設備し、前処理と連続しているこ		合計模庫 30以上		2 上塗り1回目	反応硬化形かつ素樹着(クリアー)	0.12~0.15 (15~20)		9 上壁り1回目		ロセル ローズラッカー ラッカーエナメル	0.08
	£.		注)(ア)工程数・各幾厚及び乾燥条件は、塗装工場の仕様により、塗料製造者が了承する条件による。		3 \$2.MR	強制または自然乾燥	2 2		10 水研ぎ		カッカーエファル オ水研造数 P120	1 27
	(エ)亜鉛あっき縁板の接接側分は昇星後ずりのうえ、エボキシ機能ジンクリッチブラ		(イ)クロメートの化成皮膜重量は、化成処理解製造者の仕様による。		4 上塗り2回目	反応硬化形がつ素樹脂(クリアー)	0.12~0.15		11 上登92回目	O O O JIS K 5331 = k	ロセルローズラッカー	0.08
	イマー70 μm(強制・転換の場合 80~80°Cで 20 分間)とする。 (オ)アルミニウム面において性能を満たす証明がある場合は、強機アルマイト(5~		(分性能を満たす証明がある場合は、薄膜アルマイト(3 ~ 10 μm)を下塗りプライマーに替えることができる。		5 乾燥	強制または自然乾燥	(15~20)		10 CEF		ラッカーエナメル	
	10gm)を乗地ごしらえに替えることができる。		(工)裏面コートは、原則として下塗りプライマーと同種塗料とし、20~25μm 以上と		合計機厚	AND THE PROPERTY OF THE PARTY O	(30 SLE)		12 研題		400~600 昇進井 水ペーパー進ぎ)	(550)
D≜N0] ○18.15.4	(1) 亜鉛あっき鋼板・アルミニウム・ステンレス鋼のふっ栗樹脂焼付け塗以F-BE)(ソリッドカラー)は、表 18.16.3 による。		する。 /大学性は、医療は、テラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			↓ S→栗樹脂塗装は、ルミフロン同等配を			13 上塗り3回目	O JIS K 5831 =k	ロセルローズラッカー	- 0.08
ふ⇒素樹脂焼	(2) 塗膜の付加機能は次により、必要に応じて工程・膜厚を付加する。		(オ)登装は、原則としてスプレー方式による。登装ラインには前処理と連続したクリ ーンポックスを有する。			ま、30~80 グロスとする(80° 鏡面反射			14 研題		ラッカーエナメル 400~600 昇進掛	-
付け塗り(F BE)	○汚染防止 ○ 表 18.16.3 亜鉛めっき・アルミニウム・ステンレス鋼のよっ乗機指高温焼付け塗状F-		(力)補移は、工場での再塗装を原則とする。現場補格については、監理者と協議す z			、塗膜性能を考慮して塗料製造者の打 3 然乾燥とする場合は、監理者と協議					水ペーパー 過ぎ)	5753 20
3	BE)	(3±30)	る。 (1) アルミニウム面のふっ栗樹脂クリヤー焼付け塗り、FUC)は、次による。		を行う。				15 みがき仕上げ		400~600 昇進典	140
	工程 塗料・その他 裸準調製以前 通用	O18.16.7	(ア) 陽極酸化皮膜の種別		(工)長面コートは	、原則として上表の下塗りまでとする	(見え掛り以外も同じとする)。				水ペーパー 語き)	т ,
	1 素地ごLらえ 機任表18.23A 程限 18.23A 程 - 工場登装 2 下登11 との手機を不可ながら、プログラー 510	ふつ素樹脂クリ ヤー焼付け塗	○無着色(シルバー) 12 μm ○二次電解着色(○プロンズ ○プラック ○ステンカラー) 12 μm		[追加] <u>17 節 コン</u>	クリート面の保護塗料塗り	l		19 章 内装工事			
	2 下塗り ふっ乗機指系フラッシュプライマー 5~10	20000000		2 6 2	1.00				20章 ユニット工事	3 及びその他の工事		
(A) ******	株式会社 NTTファシリティーズ 一根建築主金券 第82141 号 序 良太		£粮 剪 20314 寿 新地 扇太 担当 株配		T#		D+ i+ i+	2509 &	特語	記仕様書14	909165≄ C−14	⊠ 建築
O NTT	アシリティース 一級連級士事務所 西日本事業本部 一級連総士登録 第 856842 年 里男 和明 大阪府知事登録 (ト-)第 14884 号	. =	並可能 4	12-0LD-1	33	大阪市立科学館外	壁補修その他工事	線内	50.00		年度(西暦東不)	
	NAME OF THE PROPERTY OF THE PR	, -	1 1 1 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	L VLU I				Mar オルサー	N T T フォミロニッ	ーズー級連撃士事発売 西日本事		年 1月

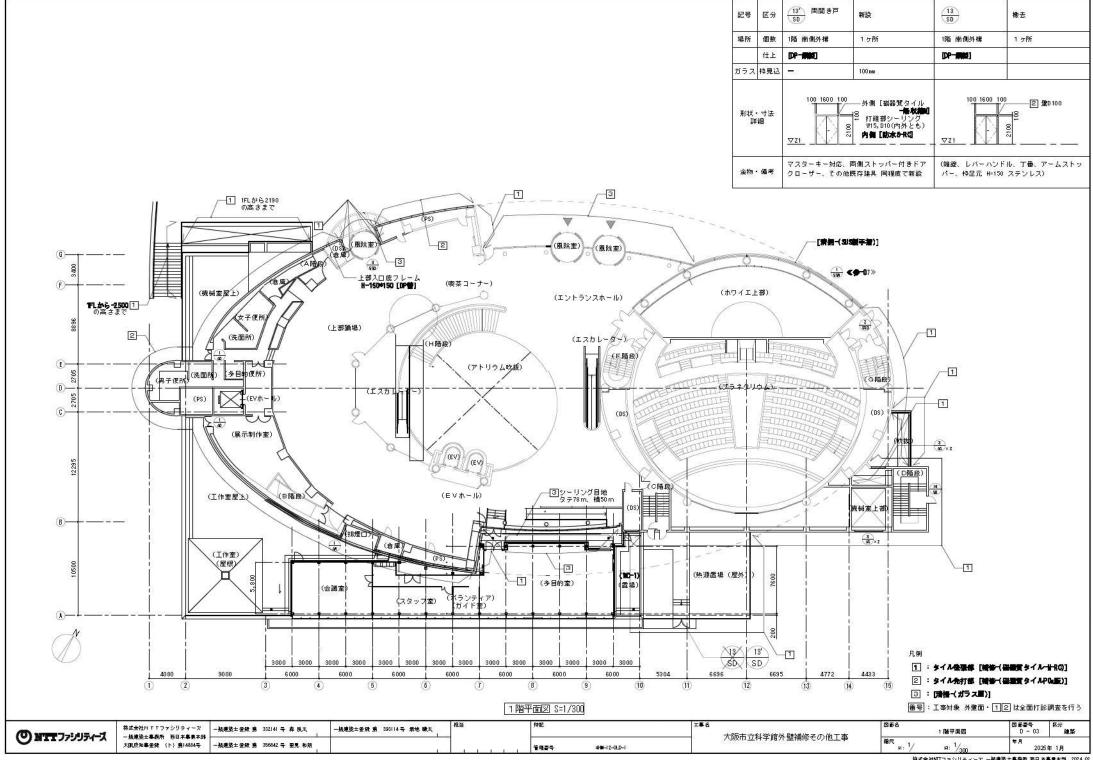
121.3	章 排水工事	公共建筑水体	工事標準社標書(強勝工事權)		Otel注入ロ付アンカービンニング全面工ポキシ機能注入工法	1	*級計图による O
	章 横续工事	項目	特記仕様	a	Office入口 付アンカービンニング 全面ポリマーセメントスラリー 注入工法		(6) (イ)ボリマーセメントスラリーは下記による。
	● 前名工学 章 殖義及び屋上綠化工事	4宣	外壁改修工事		O回注入ロ付アンカービンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法		0
2/3	章 免板工事	4 @4,1,1	この章は、コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁、タイル張り仕上げ	e l	Oh)タイル側分提替え工法 Oi)タイル提替え工法		(が))注入ロ付アンカービンの仕機が特配仕機材料表による。
3 3 3	章 粉度工事 ■ 元成二→	章 一般爭項	外壁及び塗り仕上げ外壁のひび割れ御、欠機御及び厚き御の補移並びに仕上げの収移		(1)目地政修工法の種類は下記による。		
7 200	〒 ゴンドラエ事	*	を行う工事、コート壁、ネット・ビン併用席下筋止壁に適用する。 使用材料は、特配仕様材料表の主材料製造所の仕様により実績等の資料を監理者に		〇個目地のび割れ倒板修工法	O4.3.10	(3)(ア)仕上げ厚又は全登厚が 25mm を超える場合の処置はステンレス製アンカービンを 打ち込み、ステンレス製ラスを張るか、溶検金摘、ネット等を取り付け、安全性を確認した
1 1 1 1 1	■ は、	₩	使用性料は、特別で採用料象の主性料象を所の任保により実現等の資料を監理者に 提出し、確認を受ける		○(b)伸縮調整目地改修工法	モルタル塗営	115とか、ステンレスをラスを扱るが、各位を指、キット等を取り付け、女主任を理論にたったでモルタルを塗り付ける。
\$200		数 ●4.1.3	(可現訳確認・外壁調査	●4.1.5		(A-10.1)	Subsection in the Product of Color of Production Color of
	章 ①エレベーター工事	工 施工一般	(7) 外壁調査の適用は下記により、外壁調査方法及び報告は8節による。 	政修後の塗り	O(ア)薄付け仕上塗材塗り	04311	(ガ充填量は下記による。
1 2000	章 ②エスカレーター工事	 5	●要 ○否 調査に基づく補除工事については、別途監理者から指示があるまで工事を行って	仕上げの種類	〇(孔)厚付け仕上签村签9	アンカービンニ ング 都分エオ	
2 22 12	章 撤去工事		intestin.		★(分複層性上塗材塗り		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
31 3	章 撤去村の処理方法	2	(1)既存調査報告書の有無は下記による。		O(1)可とう形改修用仕上签材签り O(オ) マスチック签材签り	工法	
3 92 8		5	●有 ○無 (分外壁仕上村の石締含有の有無を確認のうえ工事着手前に調査、監理者に報告する。		(d)		
			なお、調査方法等は「政特配ー1.5.1]による			○4.3.12 アンカービン=	(6)充填置は下記による。 〇 控き性が1mm 未満 : 注入口1箇所当たり25mL 充填する
					コンクリートが破積し鉄筋に発達が認められる場合の復選性アルカリ性付与材の塗布	ング全面エオ	〇悴さ代が1mm以上 : 全面に充填されるように充填する
		●4.1.4	外壁歌移工法の種類は下記による。 -	下地処理	は下記による *要 O否	キシ樹脂注入 工法	〇充填置: <u>mL/箇所</u>
		政修工法の#	■ 参タイル張り仕上げ外壁(タイル後張り下地モルタル側、先打ち PCa 版) ○ 塗り仕上げ外壁			± **	
		94.5	○マスチック塗材仕上げ外壁	O4.18	外壁改修工事記録板の設置は下記により、設置位置は、監理者と協議のうえ決定する。	04313	(4)充填置は下記による。
			〇ネット・ビン併用外下防止壁	外壁衣修工事	≯要 O否	アンカービンニ	〇摩き代が1mm未満 : 炷入口1箇所当たり50mL充填する
				記錄板		ング全面ボリマ	
			(1)コンクリート打放し仕上げ外壁的修工法の通用は下記による。 (7)ひび割れ側の修工法の種類は下記による。		2.節 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修	リー注入工法	〇充填置 : <u>mL/箇所</u>
			〇(a)樹脂注入工法			541 (4967), 570000	
			O(b) ロカットシール 村充填工法	O4.24 和郡	(2) いカットシール村充填工法に使用する材料は下記による。 *シーリング村(ひび割れの挙動がある)	O4.3.14	(9)充填量は下記による。
			0.2mm 以上のひび割れの場合に適用する。	3,345	○可とう性エボキシ樹脂(ひび割れの挙動がない)	注入ロ付アン	○ ○
			O(a)シール工法 ひび割れ幅が 0.2mm 未満の場合に適用する。		○特記仕様材料表	カービンニング 部分エポキシ	 ○ [円を代が1mm 以上 : アンカービン中心から半径10cm以上となるように充填する ○ 充填量 : mL/値所
			ただし、全面防水型被層塗材仕上げをする場合は適用しない。		O(3)シール工法に使用する材料は下記による。	樹脂注入工法	
			(ひび割れ御を改修しない。)		*可とう性エボキシ樹脂 ○パテ状エボキシ樹脂		
			(2)モルタル塗り仕上げ外壁を修工法の適用は下記による。		(4)充填工法に使用する材料は下記による。	O4.3.15	(6)充填量は下記による。
			(ア)ひび割れ創政修工法の種類は下記による。		〇工ポキシ機能モルタル充填工法	姓入口付アン カービンニング	○ [○ [中き代が1mm 未満 : 注入口1 箇所当たり25mL 充填する] ○ [中き代が1mm 以上 : 全面に充填されるように充填する] ○ [中き代が1mm 以上 : 全面に充填されるように充填する] ○ [中き代が1mm 以上 : 上下する] ○ [中き代が1mm 未満 : 上下する] ○ [中き代が1mm 上下する] ○ [中きんが1mm 上下する
			O(a)樹脂注入工法		○ポリマーセメントモルタル充填工法 ○特記世様材料表	全面工ポキシ	〇月を代が、Imm 以上 : 宝岡に元頃されるように元頃する 〇元頃豊 :mL/勤所
			O(b) リカットシール 材充填工法		ORBLEAMANX	樹脂炷入工法	179000000000000000000000000000000000000
			0.2mm 以上のコンクリート躯体を貫通しているいで割れの場合に適用する。 O(a)シール工法	0425	(2)注入工法は下記による。		
			0.2mm 未満のモルタル釜表面のひび割れ及び0.2mm 以上のコンクリート躯体	樹脂注入工法	*(刀自動式修匠工术牛少機指注入工法 〇(ብ手動式工术牛少機指注入工法	O4316 注入ロ付アン	(4)充填量は下記による。 ○ ○ (4)充填量は下記による。 ○ (4)充填量は下記による。
			を貫通しないモルタル塗表面のひび割れ構修に通用する。		〇〇分機械式工ポキシ樹脂注入工法	カービンニング	○ [Pされか 1mm 未典 : 注入□ 1面所当だり 30ml 尤模する ○ [Pされが 1mm 以上 : 全面に充填されるように充填する
			ただし、全面防水型機圏塗材仕上げをする場合は適用しない。 (ひび割れ倒を承修しない。)		(3)(4)自動式低圧エボキシ機能注入工法の注入間隔は下記による。	全面ポリマー	〇充填量 : mL/箇所
			(1)欠機能改修工法の種類は下記による。		*200~300mm ™™ Omm	セメントスラリ	
			○(a) 充填工法		(が)注入量は下部による。 〇a/箇所	一炷入工法	4 節 タイル張り仕上げ外壁の改修
			欠機能が 0.25 ㎡未満の場合に適用する。 ○○○モルタル参替え工法		(4)(力手動式工术主シ樹脂注入工法の注入間隔は下記による。	●4.4.5	(4)(ア)タイル張替え工法及びタイル部分張替え工法用接着剤の種類は下記による。
			久間側が0.25 ㎡以上の場合に適用する。		*200~300mm MM Omm	材料	*有機系接着剂 ○
			(ウ) 怪き御あ移工法の種類は下記による。		(S)(ア)機械式工ポキシ樹脂注入工法の注入間隔は下記による。 * 200~300mm 間隔 〇mm		(イ)(ウ)タイル仕様・役物の適用は下記によるほか、特記仕様材料表による。 形状・寸法 程類 役物 献津害性 その他
			通常レベルの打撃力によって剥除のおそれのないモルタル探きの場合		(の(る)ひび割れ側の注入状況の確認はコア接き取りとし、適用は下記による。		●概器質品 ○有 ○有 特炷形状 ≪D-08≫
			O(a)アンカービンニング側分工ボキシ樹脂注入工法 O(b)アンカービンニング全面工ボキシ樹脂注入工法		O要 ≯ 否		○陶器質 ●無 ●無
			O(a)アンカービンニング全面ボリマーセメントスラリー注入工法		(d)コア被き取り部分の補修は無収縮モルタルにて埋め戻し、順間はエボキシ樹脂を		
			※d)姓入ロ付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法		注入する。 (の罪が複数の要否は下記による。		耐滑-Y性: 色 : ○際-準色 ●特別色
			O(e)注入ロ付アンカービンニング全面エボキシ樹脂注入工法 O(f)注入ロ付アンカービンニング全面ボリマーセメントスラリー注入工法		≯要 O否		きにの言:概辞質
			UNALA ロヤナンカーとソニンク全国ホリソーセスントスプリー注入工法 通常レベルの打撃力によって制度のおそれのあるモルタル探きの場合		(a)注入したびの割れに沿って少量の水による簡易な霜水試験を実施して、充填霜れ のないこした際標本で		
			O(a)充填工法		のないことを確認する。 (i) 罪水は残酷所は監理者の指示による。	O4.4.7 タイル 創分張	(1) 既存の下地モルタル等を撤去せず、1か所当たりの張替え面積が 0.25 ㎡を超える 場合は、下記による。
			欠機 倒が 0.25 ㎡未満の場合に通用する。 CV-N-F-1 An (September 7:14		(a) 羅水により通信機器などに順管を与えるおそれがある場合には、十分な妻生を行	替え工法	OB# 0 0
			O(h)モルタル整替え工法 欠細節が 0.25 mi以上の場合に適用する。		ったうえ、さらに監視員を配置し監視しながら実施する。	620000	
			(3)タイル張り仕上げ外壁板修工法の適用は下記による。		(3)充填部分の不足が発見された場合には再注入を行う。	●4.4.8 タイル張替え	(2)(力)目地の位置は表 4.4.2 によるほか下記による。 ●設計図による ○
			(有欠精御政修工法の種類は下記による。 の(4)をイル 何公理系工法	O4.26	(3)(7)(dらーリング林のうえにボリマーセメントモルタルを充填する場合は下記による。	工法	(3)タイルの試験張り、見本統さ、予備品等の要否は下記による。
			O(a)タイル部分張替工法 タイルのひび割れ幅が 0.2mm 以上の場合または欠禍で下地モルタルがある	リカットシール	(3000g)ンーリンク科のウルにより、マーセンシアセルタルを光填り の場合は下記による。 ※要 O否		施工箇所 区分
			場合に適用する。	村充填工法			見本焼き ●する *しない
			●(6)タイル・張替工法		and the second second		試験張り ●する *しない
			下地モルタルを含む 欠補の場合に適用する。 (ウ) [学さ朝 歌修工法の種類は下記による。	0435	3 節 モルタル塗り仕上げの外壁改修 (の(ガモルタル塗替え工法に使用する材料は下記による。		
			(グ) 子と可以はエス の種類は下記による。 〇(a) アンカービンニング部分工ポキシ樹脂注入工法	村料	〇現場調合材料 〇既調合材料	●4.4.15	(3)注入ロ付アンカービンの本類は下記による。
			O(b)アンカービンニング全面エボキシ樹脂注入工法		b)既調合材料は下記による。	姓入口付アン	O設計図による
			O(d)アンカービンニング全面ボリマーセメントスラリー注入工法		O(が既成目地村の適用および形状は下記による。	カービンニング エボキシ樹脂	36
1 2 2			●(d)注入口付アンカービンニング部分工ポキシ機能注入工法	7 0 8	The state of the s		Troops Tory
(C) Numarior	株式会社 NTTファシリティーズ - 包建生主発 第 882		金粮 剪 20314 年 供地 職太 担当 特配		工事を	200 E	特記仕様書15
יליק ל דדו ש	リティース 一級連築士事務所 西日本事業本部 - 知連整士登集 前 856 大阪府知事登録 (ト)第 14884 号	842 年 里見 和明	管理基件 4HM−	12-0LD-1	大阪市立科学館外壁補修その他工事	and a	华庆(西国東末)
		U78	4HM-1	1600750			2025年1月

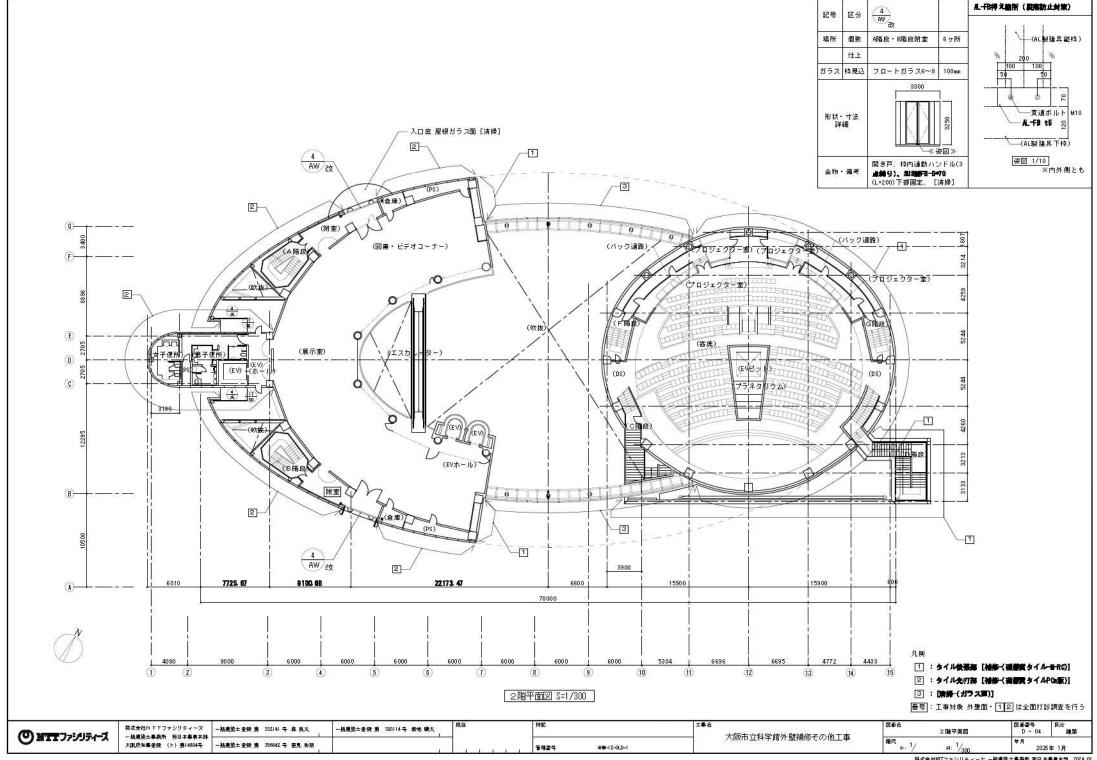
注入タイル 置 定工法		O4.7.3	(4)下地挙動線衝材を用いる場合は下記による。		(ウ)アンカーボルト、ナット、座金等の仕上げ立下記による。 なお、コート壁内側のシーリングについては、「夜棚仕-3 章]による。			
●4.4.17	(1)既存タイル両等でひび割れ御、欠禮御、悴き御等は撤去の上、既存と同等品で補修ま	施工一般	O級計図による O		*ステンレス製 〇 溶験亜鉛めっき仕上げ			
	たは樹脂モルタル等で補終を行なう。なお、既存と同等品で補終する場合、張替え面積 0.25 mを起える補終は有機系接着制貼り工法により行う。	5			(エ)ジョイントはオープンジョイント(ノンシール)とする。			
移			(3)下地学動線衝材を用いる場合は下記による。		(ガコート壁内側のシーリングについては、「衣藤仕一3章]による。			
O4.4.18	(1)補修は専門業者の責任施工とは、専門業者は特配仕様材料表による。		O設計図による O		(か)あと施工アンカーは、「歌靡仕ー8.12]による。 取り付け後の強度は、指定の強度を保持する。			
	(2)耐検性は、耐検的1種(シリコン程度)とする。				アンカー施工に先立ち試験打ちを施し、引張り試験を行い既存コンクリートの耐力が			
工法	(3)既存タイル面のひび割れ側、欠機側、浮き側の補修は製造所の仕様によるほか、 44.17による。		8.節 既存建物等外壁調査		あることを確認する。			
		●4.8.2	(1)調査項目は「改進建一482」によるほか下記による。		*ステンレス製 〇倍級亜鉛めっき仕上げポルト			
	5.節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修	調査項目及び			低級動ドリル(ダップドリル)を用いる箇所は下記による。なお、施工に際してはメタル			
●4.52	(2)仕上塗材の種類(呼び名)、仕上げの形状及び工法は下記による。	100	○飾り別内側の躯体劣化状況及び呼び擬回りの止水状況について飾り別を取外して 2000年で、		センザー付きとする。			
村縣	種類 : 薄付け仕上签村		機器する ○既存外壁材で複数の種類が重なっている場合の層構成	O4.9.7	(1)監理者の指示に従い、下記の性能を満足することを明記した機造各種の実別に基づ			
	〇外装簿签村 E 被層仕上签村		■ 立面図の見えがかりになる箇所は展開図等にて記載を行う。	総合性能	いて作成し監理者の確認を受ける。			
	被唐世上室村 ○防水形被 唐 您村日				*計算書、製作図、現寸図、取寸図、その他必要な資料 (2)本工事は設計図書によるほか関連法規に適合すること。			
	※防水形線層塗材RE(透湿性:*あり CなL)	●4.8.6	外壁調査報告書は「改進達-48.6]によるほか下記による。		(3)その他、本工事は下記の性能を満足すること。			
	仕上げの形状 : 〇凸御処理 〇凹凸状 〇��ず肌状	記録及び報告			(方)耐風圧および耐震性能			
	工 法 : 〇吹付け ※ローラー (3)被層仕上塗村及び可とう形板棒塗材の衝接性は下記による。		*足場設置後 20 日以内(連報版 10 日以内)		建築基準法施行令並びに建設省告示第 1348 号, 1488 号による風圧等に対する			
	*耐機型1種 ○耐機型2種 ○耐機型3種		(3)図画作成はCAD[政特記-19.2]により行い、CAD及びPDFデータを提出する。		安全性を確保する。層間変位達後性 1/100 以内とする。 計算に用いる風速等の数値は、「砂特配ー1.1.1(7)」による。			
	(4)被層仕上塗材及び可とう形板修塗材の上塗材は下記による。				(心耐火性能			
	〇防水形被層塗材E		9 節 □一ト壁改修工事		建築基準法の規定に適合する不能材料であること。			
	触媒:水系 機能:アクリルシリコン系 外親:○全つや O7分つや O5分つや	O4.9.1	(1)この節は、タイル、アルミパネル、アルミスパンドレル、セメント中空押出成形板等の外		(分)由来形			
	分配: 0至900 07 カラセ 08 カラセ ※防水形検層塗材RE	一般爭項	装材および取付け用下地材を用いて構成する外壁の二重壁(コート壁)工事に適用す		外装材の表面が平滑であり、かつまがないこと。 (1)下地金物等			
	触媒:水栗 樹脂:アクリルシリコン素		る。 (2)本工事はコート壁に関連のある金属製建具、笠木、シーリング村、その他関連製造所		(4) F40至49年 原則として、コート壁内部に南水等が侵入しないように施工するとともに侵入した南水等			
	外親: O全つや O7分つや O5分つや		(13年上来10日 下空に関連のの6金属設理製、金木、シーリンク科、その10個連続運所 の担当技術者の緊密な運搬のもとに実施する。		に対しては、滞留することなく排水が可能な収まりとする。なお、排水経路等を施工図に			
●454	(1)既存塗膜の劣化側の除去、下地処理及び下地調整の工法は下記による。		(3)下記各項によるほか本工事仕様書の[お課仕 3 章 防水政修工事)および[標準仕様		記入する。			
既存金農等の	通信機器収容率等に面する外壁面の場合		書 10章 石工事、11章 タイル工事、14章 金属工事、16章 建具工事)、その他各該 当項目を通用する。	0498	(1)製品の取付け工法等は製造所仕様による。			
除去,下地侧	〇サンダー工法(表 4.54)		340 SMH 10.		(1)を前が取りり工業等は影響所は探による。 (2)下地村の躯体への取付けは二重ナット締め等により戻り止め対策を行う。			
理及び下地調 整	O 2/06/04 (MENI 12/04 (M. 4/00)	O4.9.2	工事の施工に先立ち、工場加工要領等を整り込んだ施工計画書を作成し監理者の確認	300000000	(3)外装材は、将来取外し可能な工法にて取付けるものとし、設計図に指示のある場合を			
1600	* 水洗い工法(表 4.5.7) 上記以外の外壁面の場合	施工計画	を受ける。		除き各階、各面ごとに取外しが可能なようにする。			
	〇サンダー工法(表 4.54)		The state of the s		(4)足場の壁つなぎ村固定を考慮する。壁つなぎ村は、稼穡とも3,000mmビッチで設ける ものとし位置等について施工図に記入する。なお、将来用の足場つなぎ金物は設計図に			
	〇高圧水洗工法 (表 4.5.5)	O4.9.3	(1)タイルコート壁、アルミパネルコート壁、セメント中空押出成形板コート壁の特配仕様		kā.			
	○整膜は〈離南工法(表 4.5.6) * 水洗い工法(表 4.5.7)	村料	材料表は下記による。 Oタイルコートを					
	(2)下地調整材は下記による。		Oアルミパネルコート登	U4.9.9	(1)コート壁工事として施工する既製金物は下記により、仕様は特配仕様材料表による。			
	* 下地調整塗材		○セメント中空押出成形板コート壁	その他の金巻	のアルミ製笠木 〇水切り金物			
	〇ポリマーセメントモルタル	O4.9.4	設計図書の指定及び監理者の指示した事項については、それぞれ必要な記錄及び報告 書を提出し、監理者の確認を受ける。	97.	Oその他			
	〇防水形仕上げ釜村主村 (3)(ア)サンダー工法の処理範囲は下記による。	BLAKE O'MED			(2)コート壁工事として製作を行う金物は下記により、課程は設計図による。			
	〇設計図による *既存仕上げ面全面 〇	O4.9.5	 該当各項による検査事項のほか、工事における製作・加工中及び施工中は、通査、取付		〇足場つなぎ金物			
	下地処理の適用は下記による。	検査	け後は全面にわたり、それぞれ必要な検査を行い所定の品質を確保する。		○配管カバー ○枠村			
	* 175 Off hour		監理者が指示した事項については、監理者の確認文は検査を受ける。		Ofの他			
	(4)(ア)高圧水洗工法の処理範囲は下記による。 〇設計図による * 既存仕上げ面全面 〇							
	下地処理の通用は下記による。	○4.9.6 外學及6取付	材料は下記に示す機格品とする。 設計図書に指定のあるもののほか、必要に応じ見本品を製作し監理者の確認を受ける。					
	*行う O行わない	け下地材料	工場でのロット管理、色むら、規格、そり等、工場製作要領書にて品質管理内容を明確					
	(5)(7)登譲は(離剤工法の処理範囲は下記による。 〇設計図による *既存仕上げ面全面 〇		に区分する。					
	下地処理の通用は下記による。		村邦 規格等					
	*行う O行わない		タイル [標準仕様書 - 11.22]による アルミパネル [標準仕様書 - 16.23]による					
	(5)(ア)水洗い工法の処理範囲は下記による。		アルミン・シドレル					
	○設計図による *既存仕上げ面全面 ○ 下地処理の通用は下記による。		セ火ント中空押出成形板 [標準仕様書ー85.2]による					
	*行う O行わない		鋼材 [限単仕機書-7.21]による 亜鉛がつき銅板 [限単仕機書-18.4.3]による					
			ステンレス領 [標準仕様書 16.6.3]による					
	6節 マスチック参材参り仕上げ外壁等の改修		シーリン グ [標準世禄書 - 9.7.2] による					
O462	②種別は下記による。		ゴムシート ネオブレンゴム成形品					
材料及び工法			小ふジ SUS説 (バタイルコート髪の出演、関ロ御周り、張り仕舞師分その他必要な箇所には役物タイル					
	つや有合成樹脂エマルションペイントの種類は下記による。 		を用いる。					
	程 類:		(イ)下地金物は以下に示すもののいずれかを用いる。					
	7 節 外壁用塗膜防水材による改修		(a)ステンレス 304					
O4.7.2	(2) 仕上げの形状及び工法は下記による。		(b)アルミの仕様は[改 際 世ー52.3]によるほか下記による。 アルミ材の表面処理 : 〇					
村郭	仕上げの形状 : 〇凸部処理 〇凹凸状 〇ゆず肌状 〇さざ抜状		酸化皮膜の厚き: *5μm Oμm 以上とする。					
	- 工 法 : O吹付け OP- ラ-		有色表面処理の種別:〇					
	(4)仕上登邦の対接性は下記による。		(a)スチール、溶験亜鉛あっきの仕様は下記による。 なお、コート壁内側のシーリングについては、[改課仕ー3 章]による。					
1	▶耐快型1種 ○耐快型2種 ○耐快型3種		なか、コーヤ型内側のシーリングにしている。 軽量形績(亜鉛めつき) *350g/㎡ ○550g/㎡以上とする				l	
	株式会社 NTTファシリティーズ - 銀煙±金素 第 82141 号 森 良が	- 無機・	2数 前 20 8114 寿 新地 扇太 - 祖当 - 株配	- [工事名	200 \$		120日 125 125 125 125 125 125 125 125 125 125
O NTT7	アシリティーズ 一級連撃士事務所 西日本事業本部 一般建築士登録 第 89842 号 里見 8		¥nia.		大阪市立科学館外壁補修その他工事		特記仕様書16	
_	大阪府知事登録 (F)第 14884 号	8-90	4HM-1	2-0LD-1		(編成)		年度(西暦東末) 2025 年 1 日

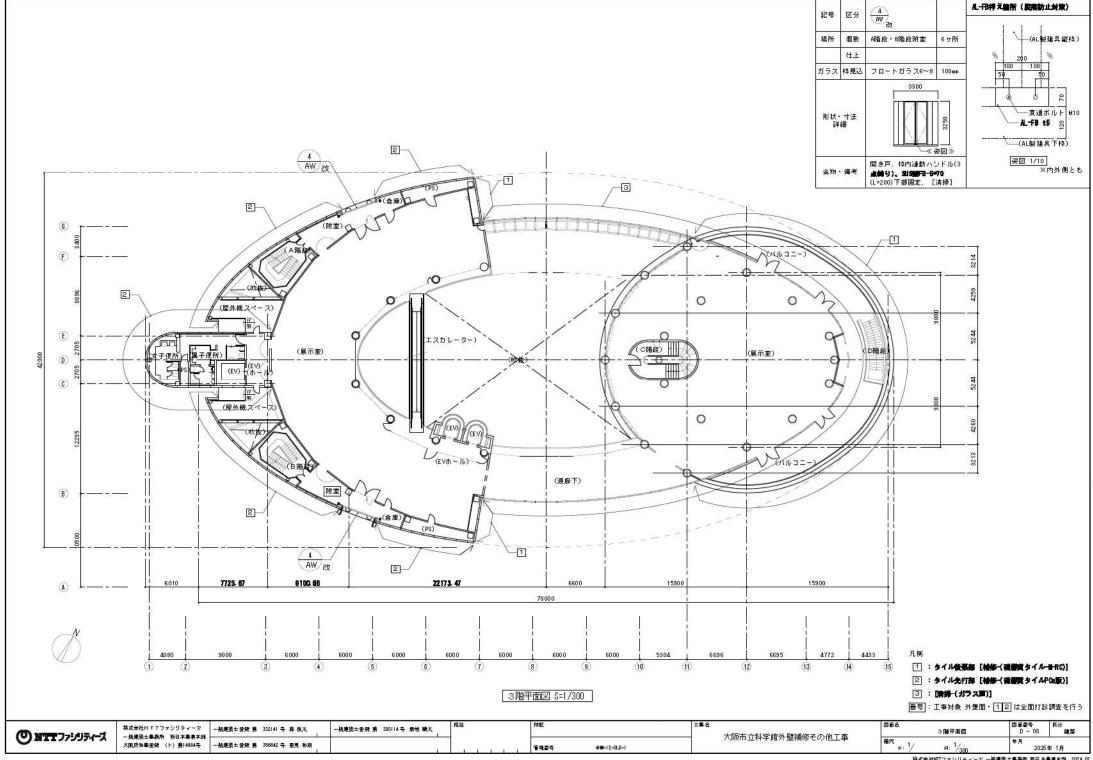
に記載がある製品において、性能基準を満足し、かつ、監理者の承認を得られた場合はその限りではな を主事	工事で使用する製品 メーカーによう	る製品、一カーは以下による。 欄に記載がある製品において、性能基 停工事 保費 記号 上入ロイヤン 上ボギシ物間 原子のはイヤン と次のイイル目 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を
接長	「改標仕」 4 章 外壁改修工事	修工事 項番 記号 注入口付アン エポキシ機制部 多々1ル目1 総数 シ機指系接着 防水型機層釜 外装項塗料E
接票	(4.1.5) (4.1.	項番 記号 注入口付アン エボキシ機能 注入口付アン 注入のイオアン 注入のイル用 its シペ期指系接着 防水型線層繁 外装薄塗料E 数修工事 項番 記号
注入口付アンカーピンニング倒分 エポキシ機能注入工法 特別 68mm、アンカーサイズ 70mm 以上 専門計画	45.2 村林 45.2 村林 7 章 登號改修工事 季·如·項書 記句	注入口付アン エポキシ機能 注入口付アン 注入のイル側 多イル用 I NOS シ機能高接着 防水型被層室 外装填室材E 数修工事 填置
注入のイガアンケービンニング機能 28回9・8mm ビン 産棚9・9・0mm 注入タイル圏度工法 20日 月	「改標社」 7 章 登接改修工事 承助·項書 記号	注入夕 () 相
タイル用:R空機 Rグリコンエボキ JIS A 5887	「改標社」 7 章 登接改修工事 承助·項書 記号	少機能系统着 防水型被層室 外装落室村E 放修工事 項曹 記号
外装薄签杆E JISA 5909 外装薄签杆E 同等品 (修工事 使杂基单 社長 使杂基单	「改標社」 7 章 登接改修工事 承助·項書 記号	外裝得签村E 改修工事 項器 記号
外装薄签杆E JISA 5909 外装薄签杆E 同等品 (修工事 使杂基单 社長 使杂基单	「改標社」 7 章 登接改修工事 承助·項書 記号	外裝得签村E 改修工事 項器 記号
(修工事 接登 記号 依要 性烷基準 工事	7章 塗装改修工事 章·妨·项替 記号 「標準仕様書」 14章 金属工事	改修工事 項曹 記号 :J
接音 記号 概要 性能基準 工事	7章 塗装改修工事 章·妨·项替 記号 「標準仕様書」 14章 金属工事	項書 記号 :: ::工事
接音 記号 概要 性能基準 工事	7章 塗装改修工事 章·妨·项替 記号 「標準仕様書」 14章 金属工事	項書 記号 :: ::工事
I.F	「標準仕候書」 14章 金属工事	H.
I.P.	14章 金属工事	(I#
I.P.	14章 金属工事	(I#
· 器 記号 概要 性能基準	章·如·项番 記号	項書 記号
	_	

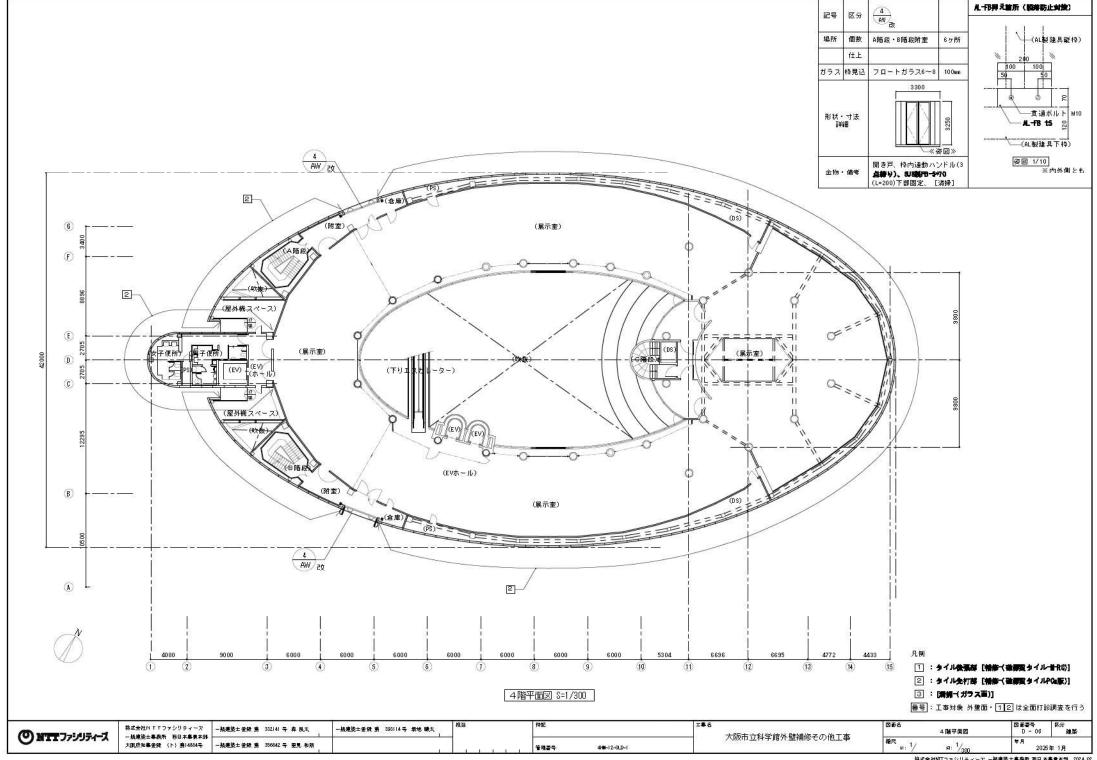
図面リスト					7	Z=0+/m²	应西主			7± L≞	7号・略号						
C-01 福祉藩	(11)	D-01	関面リスト・凡例・配置図	#an ~m	参考图~3 外野(3.板)	工事場所	既要表	(区中之島4-2-1		略号	にち ・ 哈 ち	略号	相對名称	略号	排料各种	略号	材料名称
C-02 特記代籍		D-02	地下1階平面図	\$\$-04~06	参考関4~5(カーテンウナール)	教地面積	16,086.75 mf	PETERFEI		R C	鉄筋コンクリート	被A抗休	改賞アスファルトシート的な	GBR	石こうボード	E P	合成機能エマルションペイント値
C-02 特別化機		D-02	1階平面図	&-u•~us \$ -0.6	参考図4~5パーテンツオール)	無心 用途地域	百条地域			LC	軽量コンクリート	級AUX 複合的X	級員/ スファルトンートのA 複合塗痕的A	GBD	れた 化粧石こうボード	E P E P G	写成例6日 マルションペイント型 つや有合成例指エマルションペイント基
9 6		D-03		-		-	-			-		>				- 1	
		D-04 D-05	2階平面図	\$\$-07 \$\$-08~09	参考師 (ステンレス製建具)	地区・地域				高圧B	高圧コンクリートプロック	P防机	ウレタンゴム系強度的な	GBS	シージング石こうボード	C M	シーリングマジック連集
C-05 特記仕様書		270,000,000	3階平面図	17 20 1000	参考館~9 (外容Ca版 割付图)	その他条例		k		新熱B	断熱コンクリートプロック	P 防和20	ポリマーセメント系強硬的な	GBF	強化石こうボード	特P	特殊強制连 4.84 4.1 4.2 8.10024
C-06 福祉樓		D-06	4階平面図	≱ -10	参考図10(各種詳細図1)	主要用途	博物館			保護B	アスファルト防水保護仕上げ材	P货机3	アクリル機能系強度的な	GBNC	不然積層石こうボード	1 u	大性ウレタン樹脂塗
C-07 特配仕 持書		C-07	屋上當平面图	参11	参考図11(各種詳細図1)	建築面積	3,165.78 mf			RC⊐₹	鉄筋コンクリート金ゴテ押エ	P货和到	アスファルト系塗痕的水	FK	ケイ酸カルシウム板	A B	アンカーボルト
C-08 特配供書	100	C-08	立面图 (北)	参-12~14	参考图12~14(建具表)	延床面積	7,356.43 mf			PC	ブレキャストコンクリート	Sbok	合成高分子系ルーフィングシート防水	DR	岩線吸音板	拡張AB	あと施工アンカー金属拡張型
C-09 特記仕様書	: (9}	C-09	立面図(東)			構造·規模	SRC造 - 1+	9		8	類製および類製下地	R D	ルーフドレイン	V C	ピニルクロス	薬 液ΑΒ	あと施工アンカー業液固定形
C-10 特配仕機書	(10}	C-10	立面图 (南)	参-15~29	参考图5~29(假設計画参考图)	建設年	新養:1989	4		LGS	軽量数骨下地(壁・天井)	PN	ピンネット工法	塩ES	塩化ビニル樹脂系フィルム	У В	ペネシャンプラインド
C-11 特配仕機	: (1.1)	C-11	立面図(西)			砂修工事	337學的修訂8	種し		Sus	ステンレス側	γS	ピニル味ジート	FS	無石線フレキシブル板	ТВ	経理プラインド
C-12 特配仕機書	(12)		o 3			工事	既要表	12		М	モルタル塗	NVS	ノンスリップビニル味シート	G W	グラスウール	R B	ロールプラインド
C-13 特配仕機器	: (13}					対象階	工事種別	工事内容		坊 M	防水モルタル	L M	リノリューム	GWB	グラスウール 敷音ポード	VBB-TBB-RBB	各種プラインドボックス
C-14 特配代書	(14)	8	2	22		外壁	砂糖	外壁破跡 その他		調整M	下地理整モルタル	ΥT	ピニルタイル	PF	ポリスチレンフォーム保温板	c	カーテン
C-15 補化機	(15)									樹脂M	機能モルタル	耐酸VI	耐酸ビニルタイル	FA	フリーアクセス床	мР	可動間仕切り(開動ペネル式)
C-16 特配仕機	(16)		3		A	, ,				₩ M	無収縮モルタル	帯電VT	帯電防止ビニルタイル	KFA	簡易二重床	AP	可動間仕切り(アルミスタッド式)
C材-0 1 特配仕様材	料表									f b	平捌(フラットバー)	TOP	タイルカーペット	TFA	通信機械室用二重床	L P	ローパーティション
一般事項	140	742 U	-	aid 0	10	0 - 3	5	i.		PL	類版	遊床	遊床材	防水S	伤水型将属仕上途材EC	νР	観賞ポリ塩化ビニル管
補修範围	模様夢・改修に伴	う微去の範囲に	は最小限に止めるものとする。			幅木	特部社	(き限りく2-11-1)	K h=60とする。	CPL	細胞	抗壓P	防塵遊裝	\$1/LS	一般影响層仕上遊村	EXPJ	エキカインションジョイント
補修方法			う補格及び破損箇所の補格は添充	社上げに数し場	t 緣する.	軽量鉄骨間	12 1 3 2 3 3 3 3	き限りく2-21-1>		BPL	ペースプレート	M T	モザイクタイル	9958	外装算付け仕上塗材		
連装	進製その他族につ			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		計切取合	100 100 100 100	(き限りく2-24-0)	10	SGP	配管用炭素機関管(白又は黒ガス管)		口角タイル	SOP	合成財務調合ペイント連	6	
内装仕上材料	5300000000000		・アルデヒド放散等級がF 点点点	水布田する		天井目地	200		4・6・8>Kによる。	A防水	アスファルト防水	教V	教賞ピニル中木	D P	計模性塗料塗	-	
	特部なき限り金属		<フコレノ に F.DC.配等税の下五万万万	atom 9 To		-				25000000000	20.00.0000.0000000000000000000000000000	4/ Y	4/ピアー1/小小	u r	#1例工學科學		
あと施工アンカー	で吸るで成り金属	entrice o.	(金属製天井			01-3・4>による。	特記	产!!						
2000 . 544 十1	<u> </u> に用いる表示		(j) this 46 mil more a	alo september	ent t	室名札・文	te fide	(き限りく0-051・	V 1/トルの•	貸与資料	。 - 一种 - 一种	Calendary as 200	5本 . 二個特用化 L + 上 / + ニーバ				
CXIS, UXZ			(注:改修前國は現況を	100 大い何本四を	V-007-20 V		81	0.1	T####=	50034 JESSON	乞夫調査による神足 赤外線 ドローン建物調査	(20 前指古書)	そ6 一般任用法人人パイステーソ				
4 (L. L. Sent Sect.	数	が後	-[prishal	LL TWO Sec	砂修前	[pris	0.4)		・下地村の表示 - 01	共通事項	I make the chart + - 1						
1.仕上・下地・組体	本かり物放する場合	=	_[RC150d] 1.4 7-[EP+M-RC150]	IT・b海・船	本から 敬去する場 合 センファファ		0 0) RC150]	/ [DR-GB-LG	(S) ———下地村の構成村又は組体の略号	100100000000000000000000000000000000000	り、現状に做い後旧すること。	and the		nett + 200	444		
			1070 05		V/////	Z CET-WE			———下地村(格張村)略号				テンレス・アルミ部分は[清掃]、鉄部は[AND ESTERNIS	
2.仕上・下地とも新	新設する場合			仕上・下地とも	ND法する場合	=	9		一 作品的 (1830年) #87-5				後速やかに打診調査を行い、調査報告書にて	補修数量の増減	を監理者に報告すること。 調査報告書にて	ついては、見えがかり	となる部分は展開圏に起こして記載すること
] [EP-M]		(//////	EP-M	8 0		计不知识点	2007	#修範囲を含め、全面清掃(水洗い)を見込	0 010	C.A.ORDOREGOOP				
3.仕上のみ新設する	お場合(連携替も合む)			上のみ構まする	5場合	= -	.				#修を行うどと頭については、遊覧により外			NAME OF THE OWNER O			0.000
		. 7] [EP-(M)]			EP-(M	п			※ 各種工事に	ついては、AIK・BIKの主に2面ずつ《DH	OI 配置図≫をし	(分割し着手すること。詳細については、《参	4-15~29》を終	図し、それぞれの内容について、監理者の	の承認を以って進行す	ることとする。
4.銀存のままの場合	à	===	= 7-[(EP-M)] 4.8	を かいままの場合		Ξ.,,,,,	A1			また、仮設	に係る外構の点字ブロックなどの補格につい	vでは、《参I5~2	9≫を参照の上、見込むこととする。				
			TIE H-WIT			[(EP-M	et:										
表示方法-1	_&		I I I at ===	-n 4t		5.84			T # >ALVAL	- 12		7 1	·			3834	
(()) 別金		-	- 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15	3分、施工区分		图制	b Marcol of Proces	M	床代針改め口								
*** **********************************	部分及び開略す法			及び工事対象部分			を使用する場合)	(M)	床改めマンホール								~
- 100 - 100	T-F 建築詳欄图集 2	001			0 1709/01 /4 /0	シーリング	200.00		2			\Rightarrow		科大学前	鯱) ➡		
	↑ 建築詳糊図集 90			計量		ペネシャンプラ	インド	3	2	1000000		-	200			700	11 5/
	省當時部監修 建築工事	視準詳細図	□□□□□□ ALC聲			8末用レール		(9)	8	4		É			The man	8	
	計画における呼出し国	面	▼ 室名女字書		⊗ J	レーフドレイン	Š.					1 17	D		1 (Ø 11_	L C
表示方法-2			U 459		10.7 G.V			8.07	×2/			1 1/1	ではないトラ	シス出入		藥	1 7
1. 微去の表示		2.展開表示[展開図順序表示)	5. 建具等の	技术			7.8	具計屬裝置的表示	1 29	7 -熊5	(다진		777	BIE	图 前	
一 随号 文字[20	A			AW:アルミニウム!		S D:ステンレス側	规	Y に下記のサウキョース				777711111111111111111111111111111111111	1/17	(国立国際美術館入口)	位 橋	
17 50 1000 100	・ 概去を示す	. (。 時計回りにA-B-C-D	(SD)	: 新沙理 AD:アルミニウム!		SF:ステンレス側		一X ボース にいる キャングルの ボース 大・電気式可変 押ボタン 縦							(A)	
	5460150355	DT.	の順序に作图する	XX	A G :アルミニウム! : 裕 去建具 S W 損製 容		SW:ステンレス類。 SD:銅線経量原	en	S:スイッチストライク		上日門里	= 1 100	////// <u>///////////////////////////////</u>			機!機	
		b		ক্রেছ	・ NAMER SIN 別製原		FD:防火廠		自:自 須旋 往			= 1 449	大阪市立科学館		(//)	2800 9300	2800
				S D-1	:改修建具 SG 捌製ガラリ	W	A D:水 协 家		G:ガラリ社 ま:まだ 能		一一日三世場上	- L		/////	1977	B 18300	*···
					SF捌製枠		A B:水防板		开·开州战 E∶整筑战			厨棚口 ▶		////	222	1	
					SS捌製シャッター		AT:I7911	too.	CR:カードリーダー付電気能			=		//// _			
					WD末製家	S	4T:&\$I7\$1	h:	T:テンキー錠付電気錠		ー E ∃E ∃	=			**************************************	i) l	
3. 壁間口の表示	ge deserve		4. 砂修可動間仕切り等の表示		6. 改修建具等の表示				AT: I791 F			1 1		8	- 68888	<i>\\</i>	
4	M : 機械設備用	開口		\$ Att &	Sand Lawrence College Services and College	文字を入れる			SAT: ERITATE	1	Hi	1	AIZ & *	- 80 - 8	1000	- 1	TE
(M) Z n+h 1	E 電気設備用		MP- n に下部の文字		X 移移数据						(8°8°8°)	1	 		(中之動線)	DI	1
wxh2	丁 通信ケーブ		砂條內容 改:改造可衡間	田町り	政修内容—— 政:改造是	具						T ITE	8	7		71	
D	① 通信電力用		清清掃可動聞		清清掃建							駐車場				1	
	ら関ロ部下端までのす。		再:再利用可 斯		再:再利用 2: === 2					=		田大日				38	: 工事対象建物
	開口部は開口部中心まで 	(以主題)	遊: 西面遊裝夢 計遊: 計面遊裝			性特殊 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性 可能性				1		19582		_			1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
					ከሟ-ñ¤	中型表別医共				1			[#25				
w :開口のf			活面とは工事	対象室棚とする)	許而人出	工事封使室間	とする)						101.1	間図 8:1 1	/1500 l		< : →方通行
	の高さ		防面とは工事	対象室側とする)	計画とは	工事対象室側	とする)						EBLI	置図 S=1,	/1500		· - // Juli 1
w :開口のf h 2:開口部f	の高さ	株式会				-		(= (担当 特1	t		I\$6	[BLI	面図 5=1,	四番名		図面書号 区分
w :開口のf h 2:開口部f D :開口補資	の高さ 独詳細番号	一級建筑	tN T T ファシリティーズ ・ を土事務所 西日本事業本部	- 抵建资± 金牌	(第 332141 号 春 艮太	-	とする) - 全殊 第 39311	4号 新地 職太	担当 特征	t		I\$6	大阪市立科学館外壁補修そ	79070 XV	四面名	,ト・凡例・配置 E	図
w :開口のf h 2:開口部f	の高さ 独詳細番号	一級建筑	tN T T ファシリティーズ ・ を土事務所 西日本事業本部	- 抵建资± 金牌		-		4号 新地 職太	+	2 127	4 h 1-12-0LD-1	1#6		79070 XV	四番名	ト・凡例・配置 B	図面書号 区分

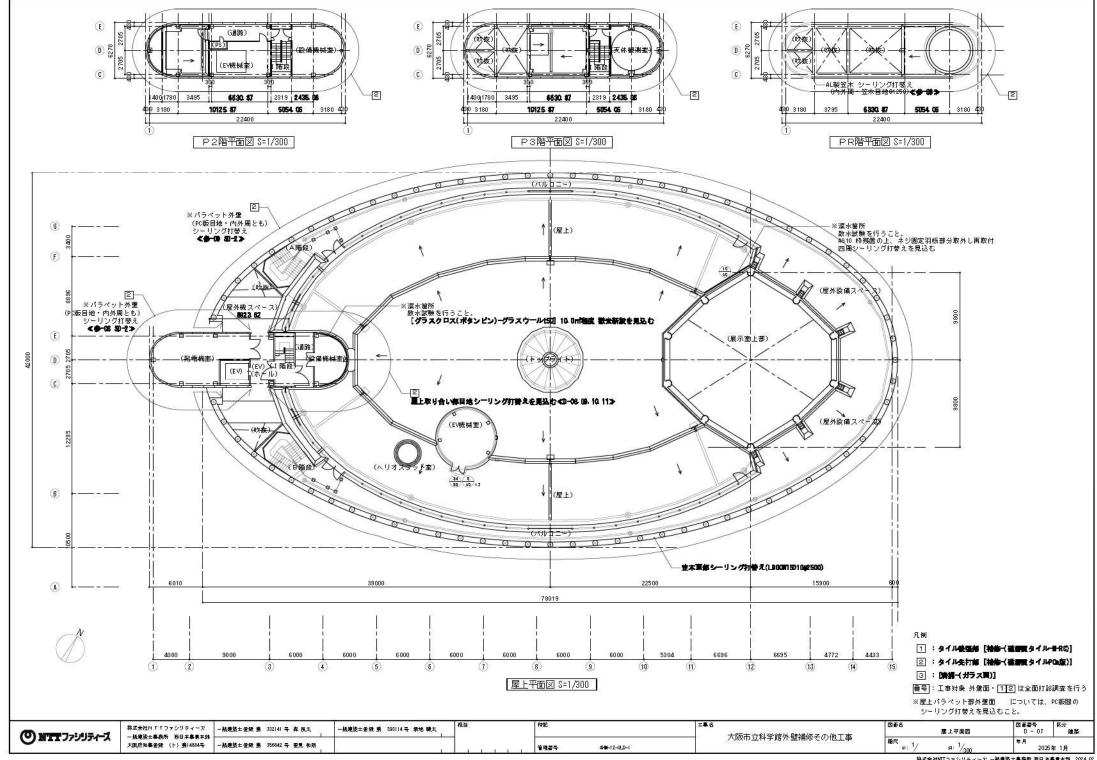


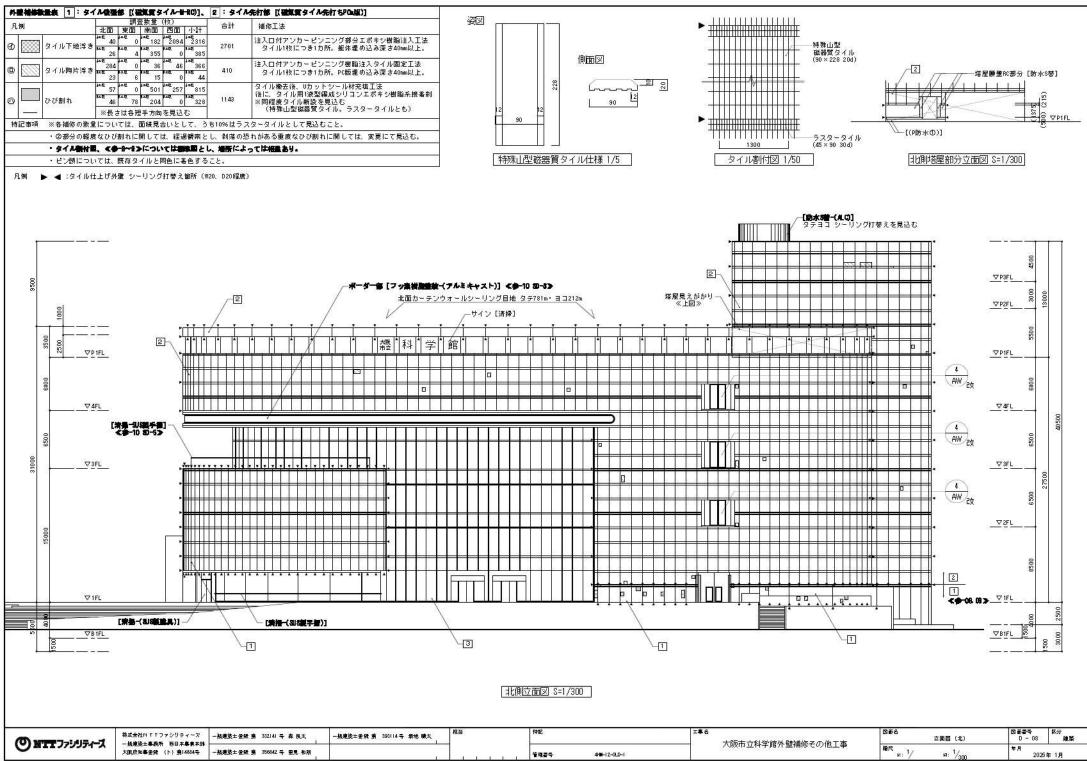












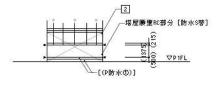
п	例			調	查数量	(权)		合計	補修工法
J.	1991		北面	東面	南面	西面	小計	Oil	細形工法
~	50000	5 / I T I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	#E 40	176	182	2094	2316	0704	注入ロ付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
Ð	××××	タイル下地浮き	26	126	355	1 O	385	2701	タイル1枚につき1カ所。躯体埋め込み深さ40mm以上。
_	222	An of the backets	204	176	36	46	366	14447	注入ロ付アンカーピンニング樹脂注入タイル固定工法
0	777	タイル陶片浮き	23	126	15	- O	44	410	タイル1枚につき1カ所。PC版理め込み深さ40mm以上。
			±€ 57	176	501	257	1±2 815		タイル機去後、Uカットシール材充填工法
0		ひび割れ	46	78	204	0 1 = E	328	1143	│後に、タイル用1液型編成シリコンエポキシ樹脂系接着剤 │※同程度タイル新設を見込む
	72 <u>—</u> 27	52.5810FA35 G	×€ a	は各別	豆手方向	を見込	む		(特殊山型磁器質タイル。ラスタータイルとも)

- ・②部分の軽度なひび割れに関しては、経過観察とし、剥落の恐れがある重度なひび割れに関しては、変更にて見込む。
- ・タイル制作器、<ター3~4>については悪味器とし、場所によっては根蓋あり。

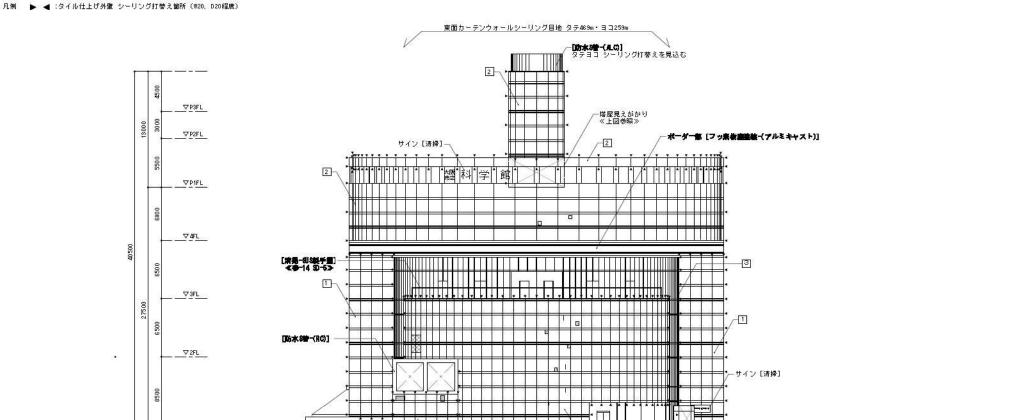
∇ 1FL

© ∇B1FL

・ピン頭については、既存タイルと同色に着色すること。



東側塔屋部分立面図 S=1/300



東側立面図 S=1/300

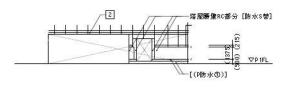
[DP曾·(明版)] 4 4mf

[清掃-(引5號手握)]

			181	C. Cland College	Alexandra and a second a second and a second a second and	Waster 1990	AND A WAY OF	424440000000000000000000000000000000000
(の) NTT ファシリティーズ	株式会社N T T ファシリティーズ - 板建築士事務所 西日本事業本部	-級建築±金銀 第 332 4 号 春 民太	- 振建築士全景 第 393114号 新地 職太	相景	516	ェ	図あ名 立面図(東)	図面書号 区分 D - 09 建築
GHII)/9994-X		-級建築±金條 第 356842 号 里見 和別			管理증무 4/#-12-0LD-1	八阪中立科子路外型補修その他工事	新: 1/ sa: 1/ ₃₀₀	年月 2025年 1月

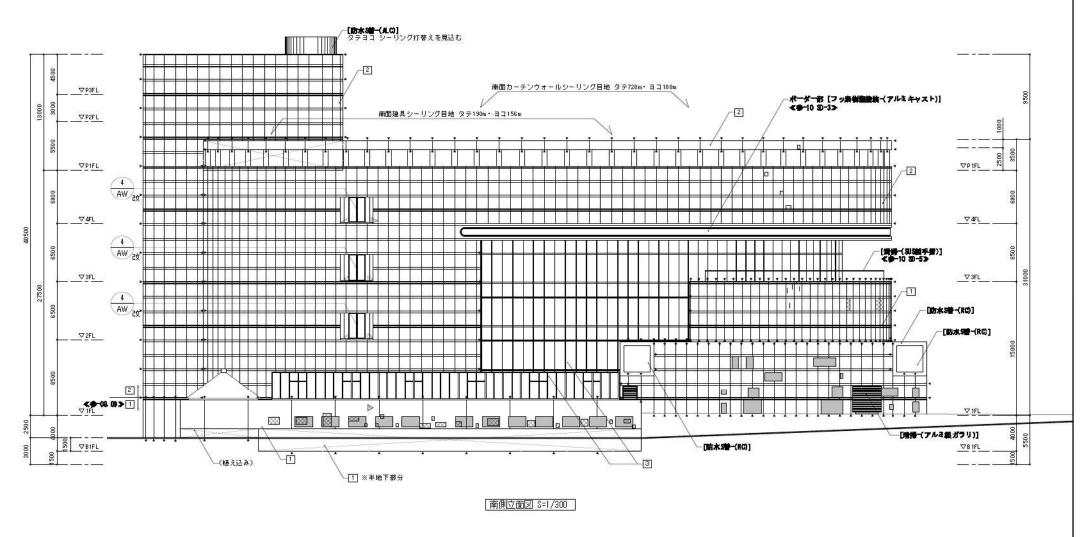
A.	hal	25. 12. 2			調3	重读至	(权)		合計	補修工法
N.	1991		北面	j 3	面	南面	西面	小計	9000000	##16工法
$\overline{}$	50000	与 ノル 下 (16) 60 キ	Tre !	ω ^{**}	0	182	2094	2316	0704	注入ロ付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
Ð	****	タイル下地浮き		6	4	355	1×6 0	385	2701	タイル1枚につき1カ所。躯体埋め込み深さ40mm以上。
_ 1	ESS.		1×2	4 12	0	36	46	366		注入ロ付アンカーピンニング樹脂注入タイル固定工法
0	1.11.	タイル陶片浮き		3 =	6	15	-E 0	44	410	タイル1枚につき1カ所。PC版理め込み深さ40mm以上。
53		5 5	Tre .	7 12	0	501	257	3±2 815		タイル撤去後、Uカットシール材充填工法
20		ひび割れ	TE .	6	78	204	125	328	1143	→ 後に、タイル用1液型編成シリコンエポキシ樹脂系接着剤※同程度タイル新設を見込む
80	<u>-</u> -	\$2,525,000,000 Ge	×₽	t l	t 各 H	手方向	を見込	t		(特殊山型磁器質タイル。ラスタータイルとも)
特	記事項	※各補修の数量	につ	いて	lt.	面積見	合いとし	して、う	ち10%はラブ	スタータイルとして見込むこと。

- ・タイル割付置、《参・8~8》については悪味面とし、場所によっては相違あり。
- ・ピン頭については、既存タイルと同色に着色すること。



南側塔屋部分立面図 S=1/300

凡例 ▶ ◀ :タイル仕上げ外壁 シーリング打替え箇所 (W20、D20程度)



(の) MTT ファシリティーズ	株式会社N T T ファシリティーズ 一級建築士事務所 西日本事業本部	-振建築±金景 第 332 4 号 春 民太	- 級建築士登録 第 393H4号 新地 職太	担当	5912	ェ	図ある 立面図 (南)	図面基号 区分 D - 10 建築
G MII J/JJJ4-X	大阪府知事金録(卜)第14884号	- 振建築士登録 第 356842 号 聖見 和朋		24 10 21 12 23	管理書号 4/#-12-0LD-1	八級市立科子馬外望柵隊その他工事	格尺 at: 1/ aa: 1/300	年月 2025年 1月

-	Jel		調査数量(枚)						合計	補修工法
71	凡例			東面		南面	西面	小計	00000000	細形工法
Ø		タイル下地浮き	40	126	0	182	2094	2316	2701	注入ロ付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 タイル1枚につき1カ所。躯体埋め込み深さ40mm以上。
			26	TE	4	355) 1=6	385		
0		タイル陶片浮き	284	126	0	36	46	366	410	注入ロ付アンカーピンニング樹脂注入タイル固定工法 タイル1枚につき1カ所。PC版理め込み深さ40mm以上。
			23	126	6	15	1 26	44		
0		ひび割れ	±€ 57	TE	0	1≖e 501	1≖E 257	3±2 815	1143	タイル撤去後、Uカットシール材充填工法 後に、タイル用1液型編成シリコンエポキシ樹脂系接着刺 ※同程度タイル新設を見込む
			46	TE	78	204) 12E	328		
			※長さは各短手方向を見込む					t		(特殊山型磁器質タイル。ラスタータイルとも)
特	記事項	※各補修の数重	はについ	ては	. 1	面積見:	含いとし	して、う	ち10%はラ.	スタータイルとして見込むこと。
		・②部分の軽度	なひび	割れ	にほ	剝して	t. 経i	囲観察と	し、剥落の	恐れがある重度なひび割れに関しては、変更にて見込む。
3_		200000000000000000000000000000000000000					000			っては相重あり。

・ピン頭については、既存タイルと同色に着色すること。

株式会社N TTファシリティーズ

一級建造士事務所 西日本事業本部

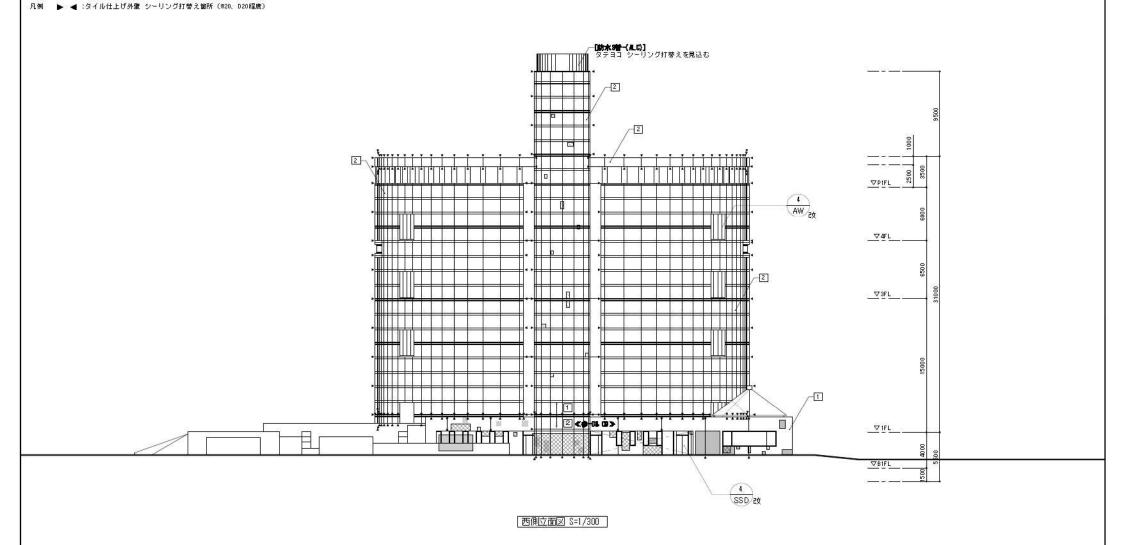
大阪府知事登録 (ト) 第14884号

▼ NTTファシリティーズ

-級建築±金銀 第 332141 号 森 民太

─級建築士登録 第 356842 号 里見 和朋

- 叛建築士登録 第 393114号 新地 職太



4HH-12-0LD-1

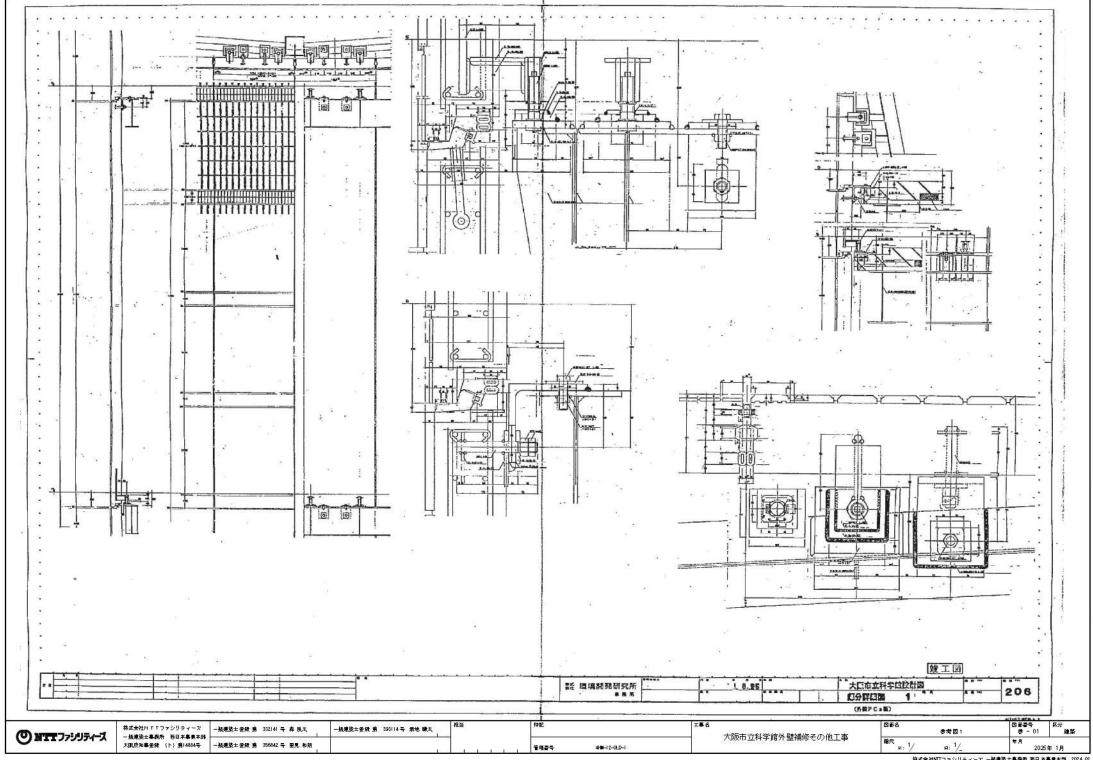
立面図 (西)

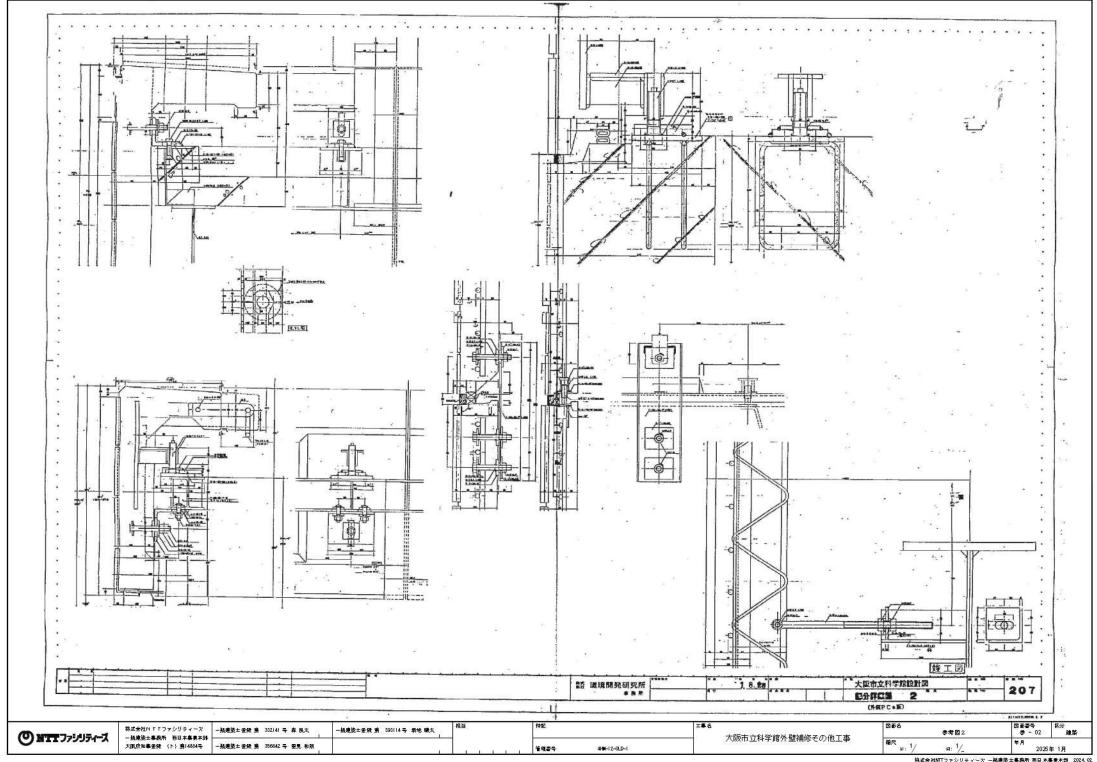
図面基号 D - 11

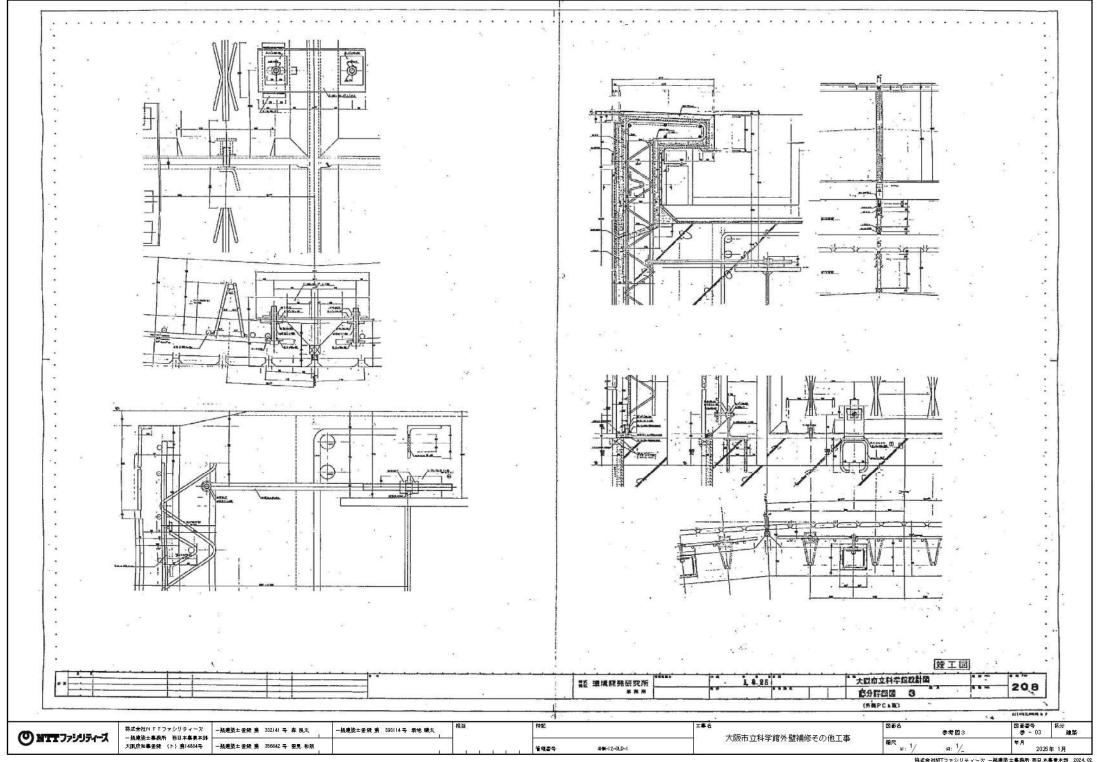
区分 建築

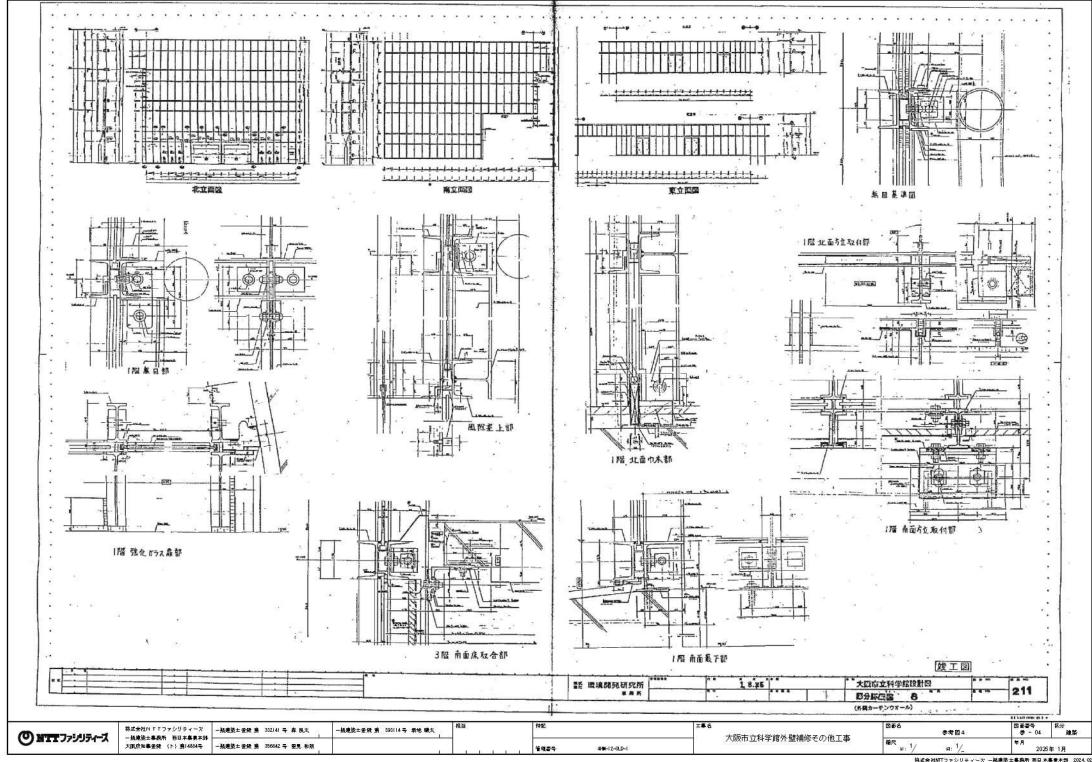
図ある

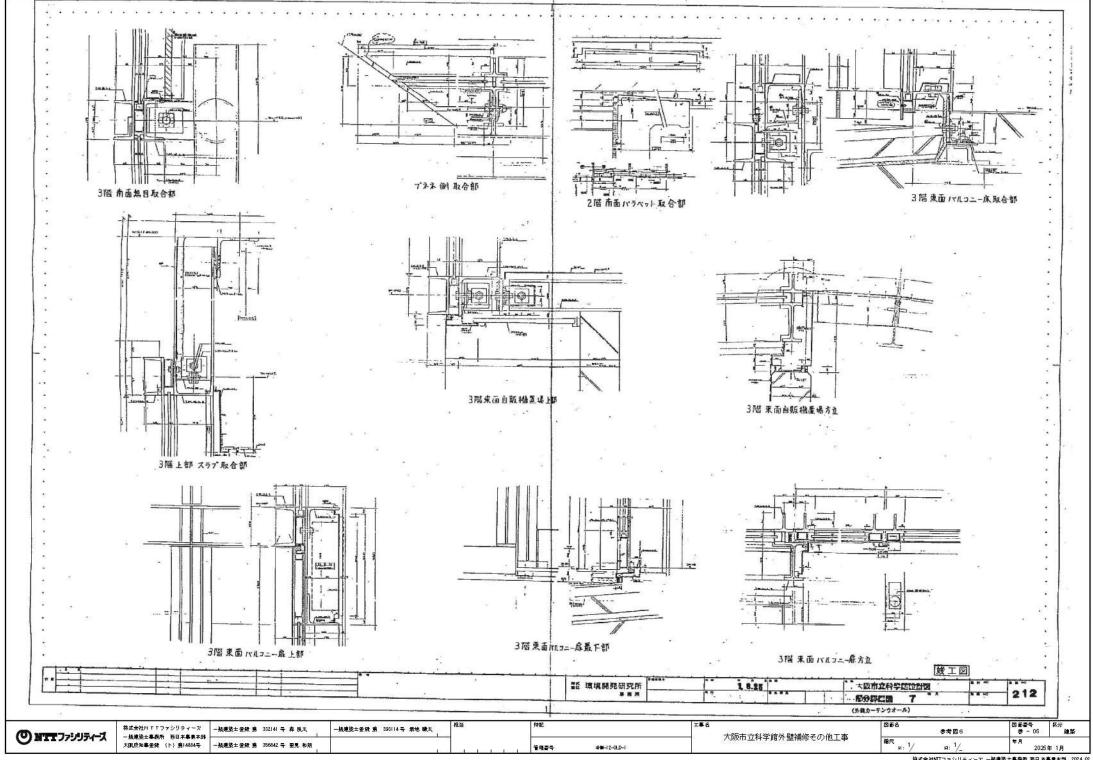
大阪市立科学館外壁補修その他工事

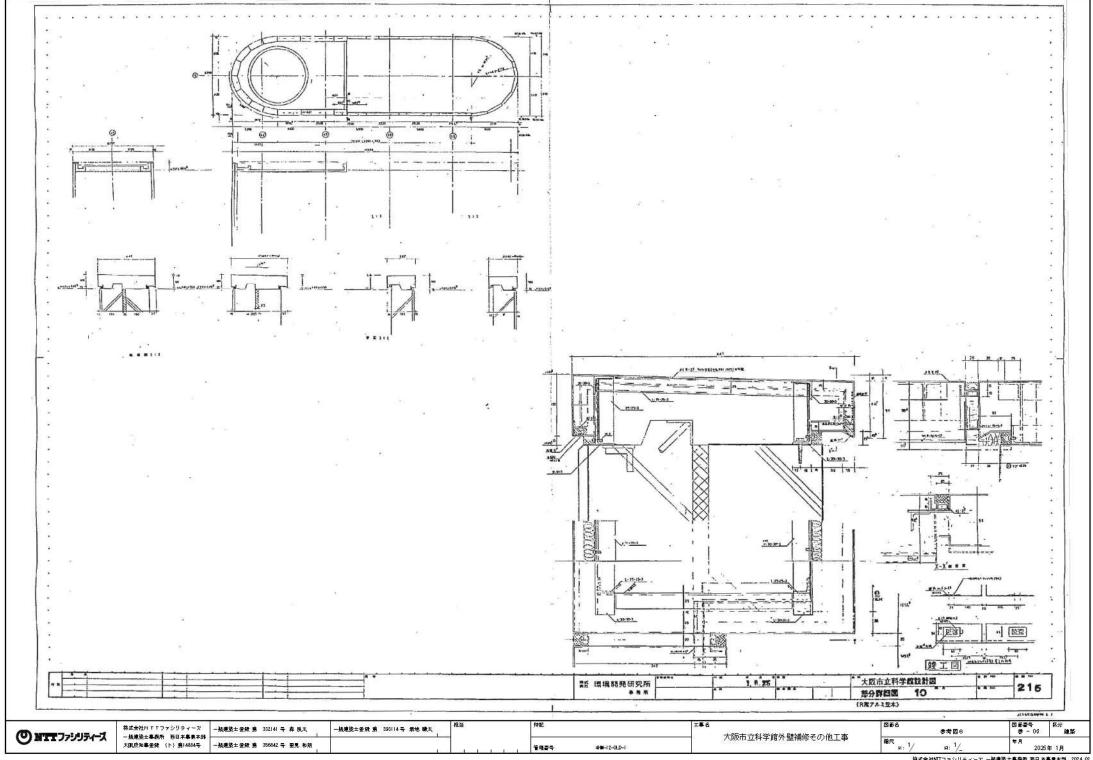


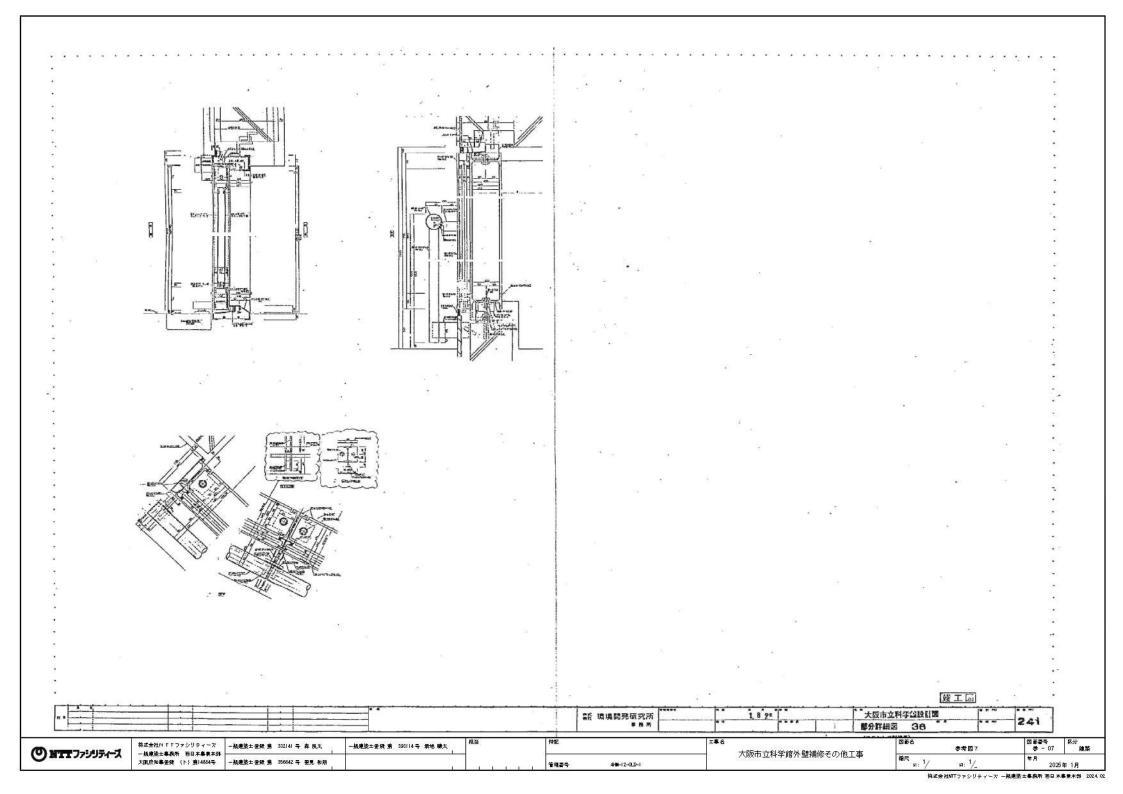


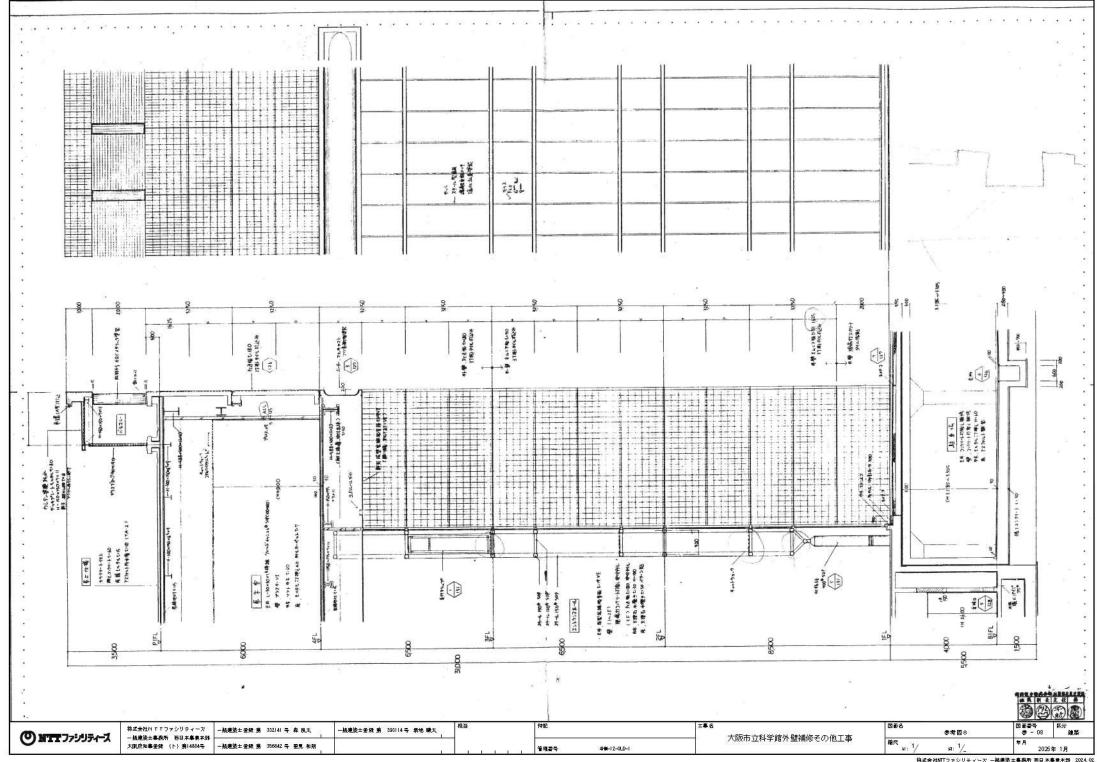


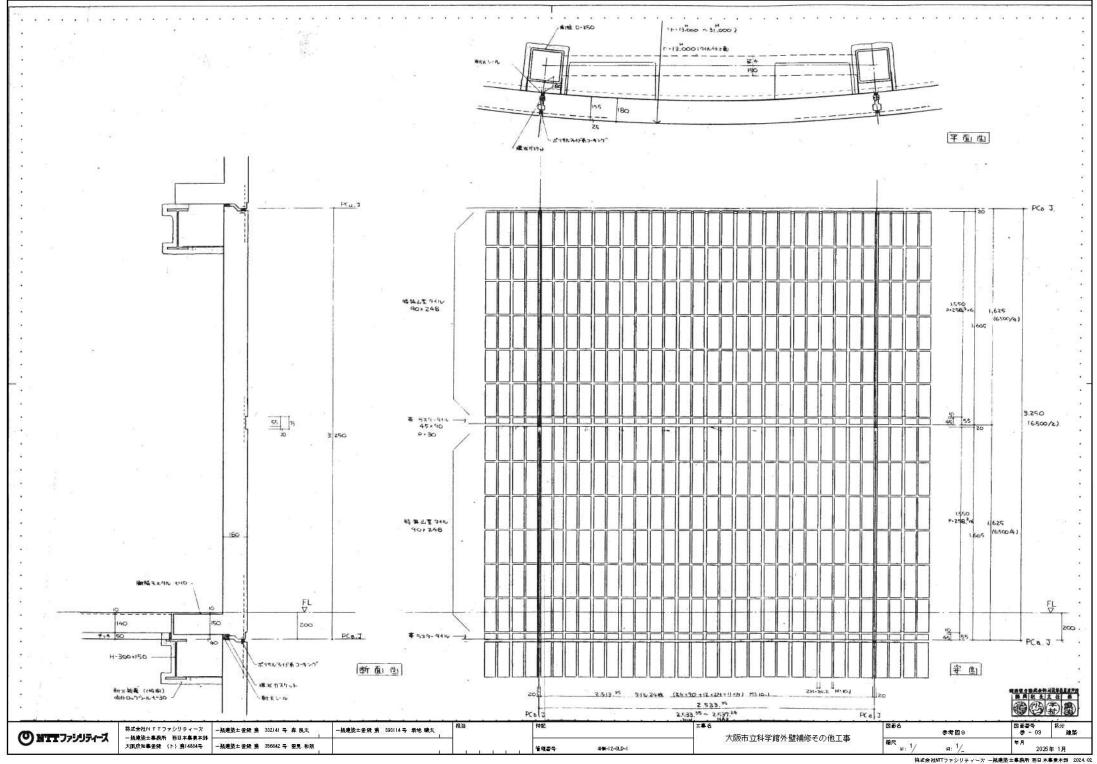


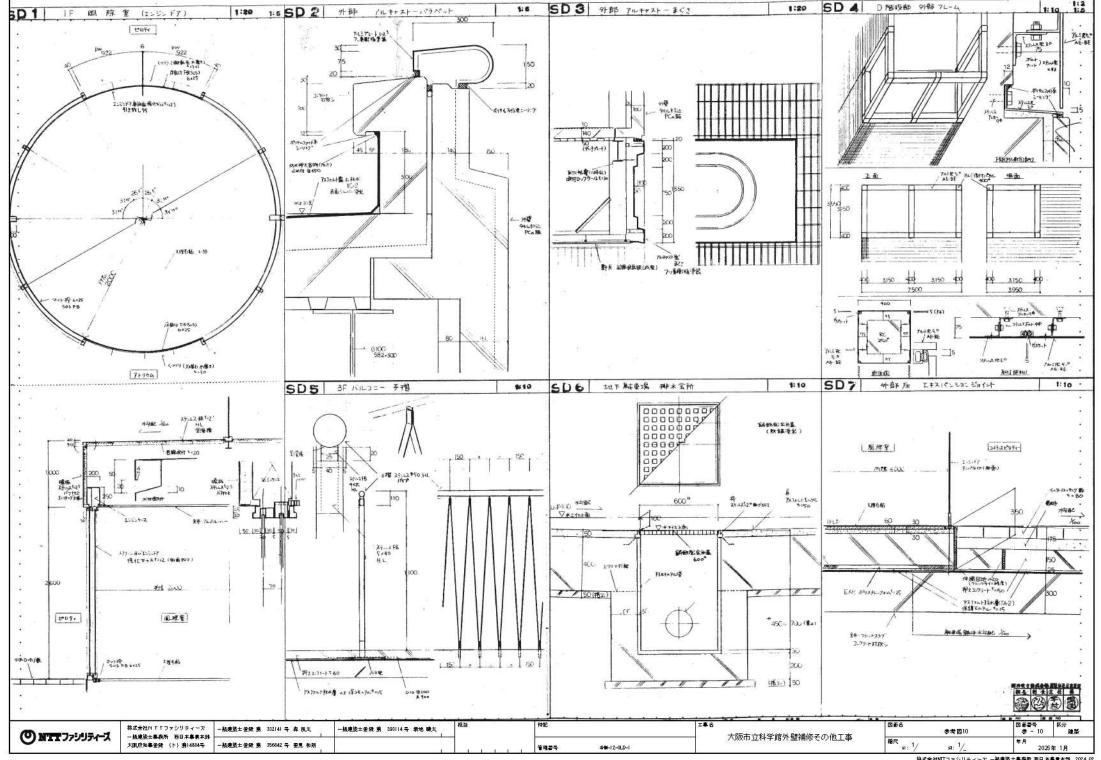


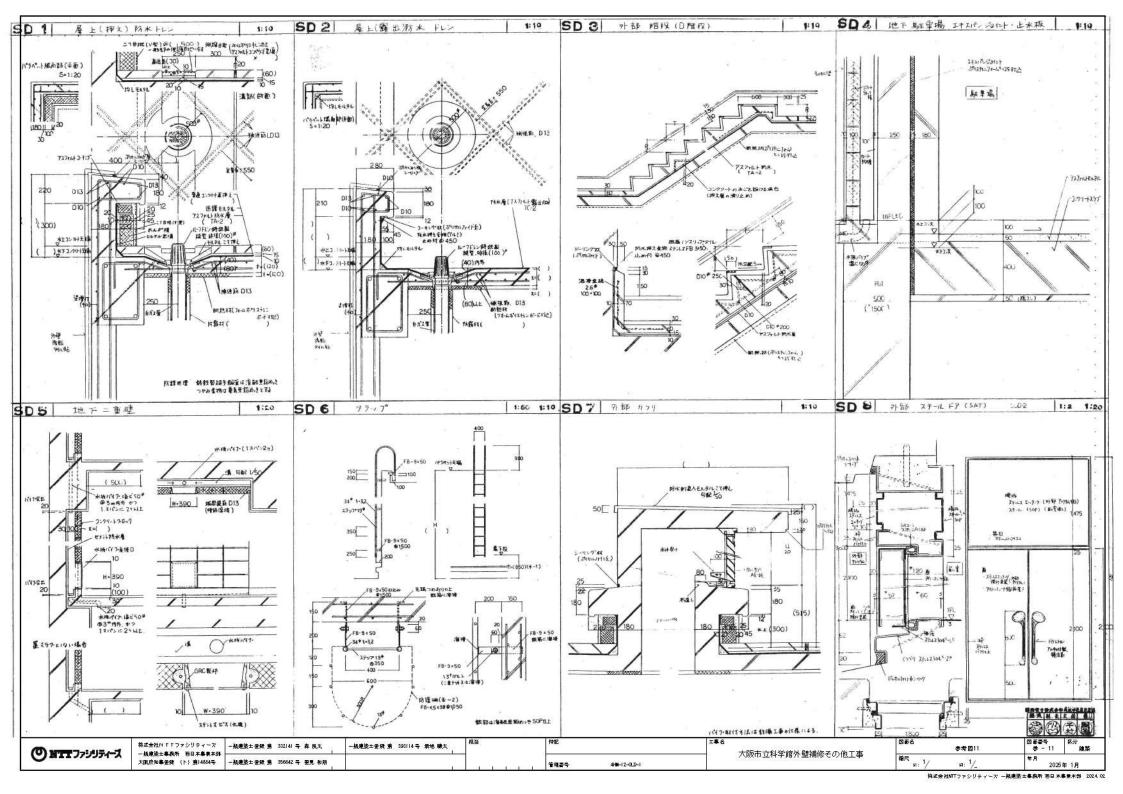


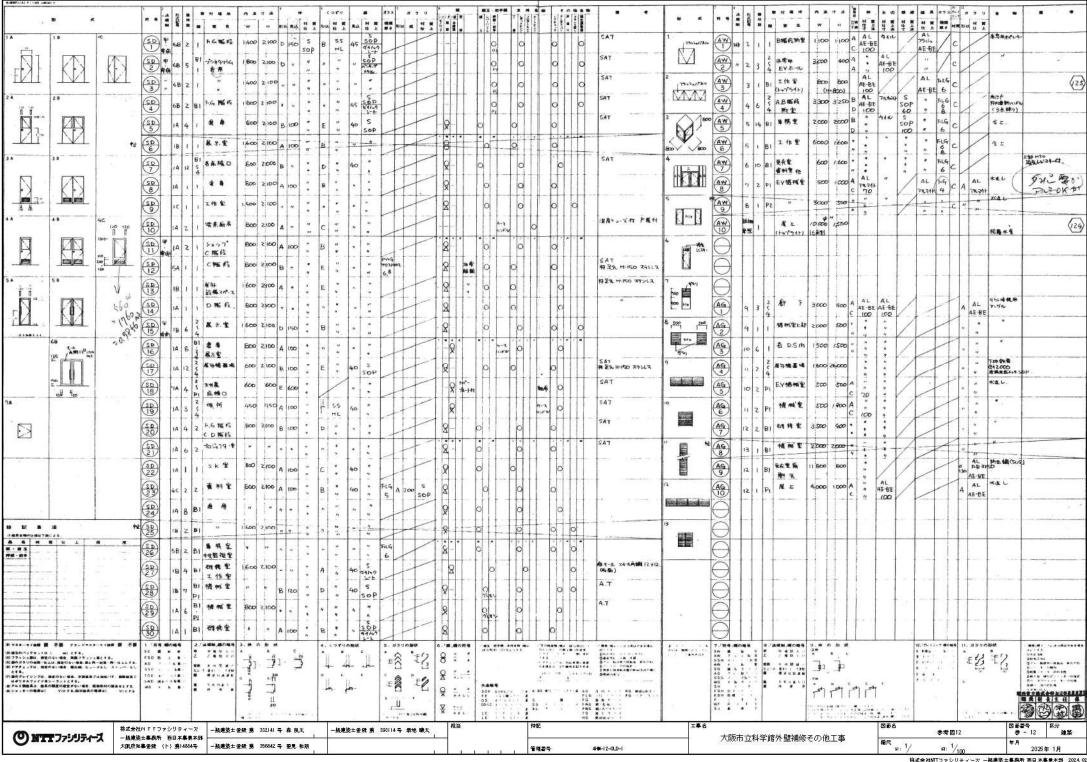


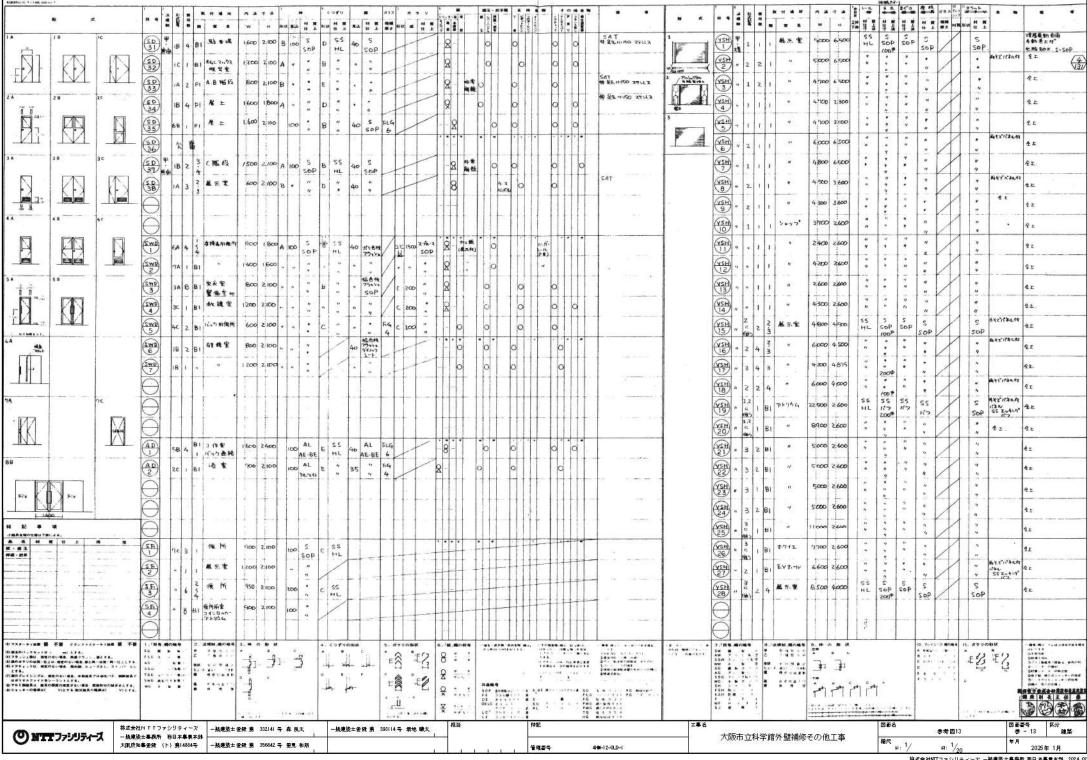


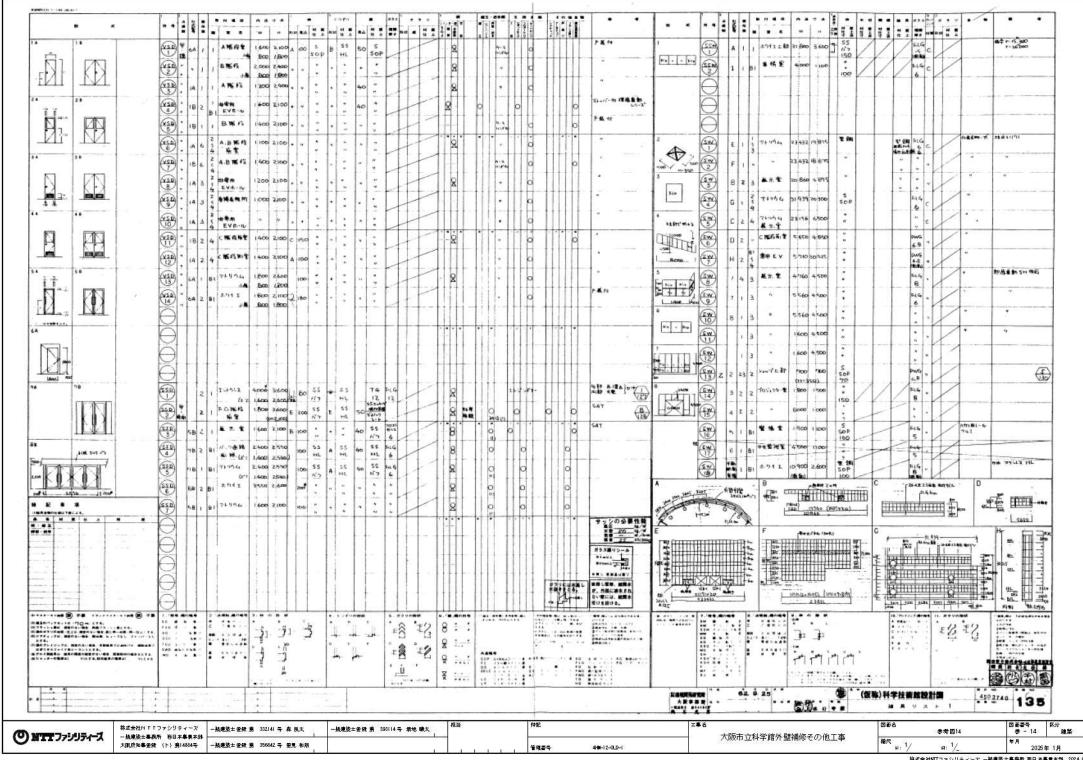




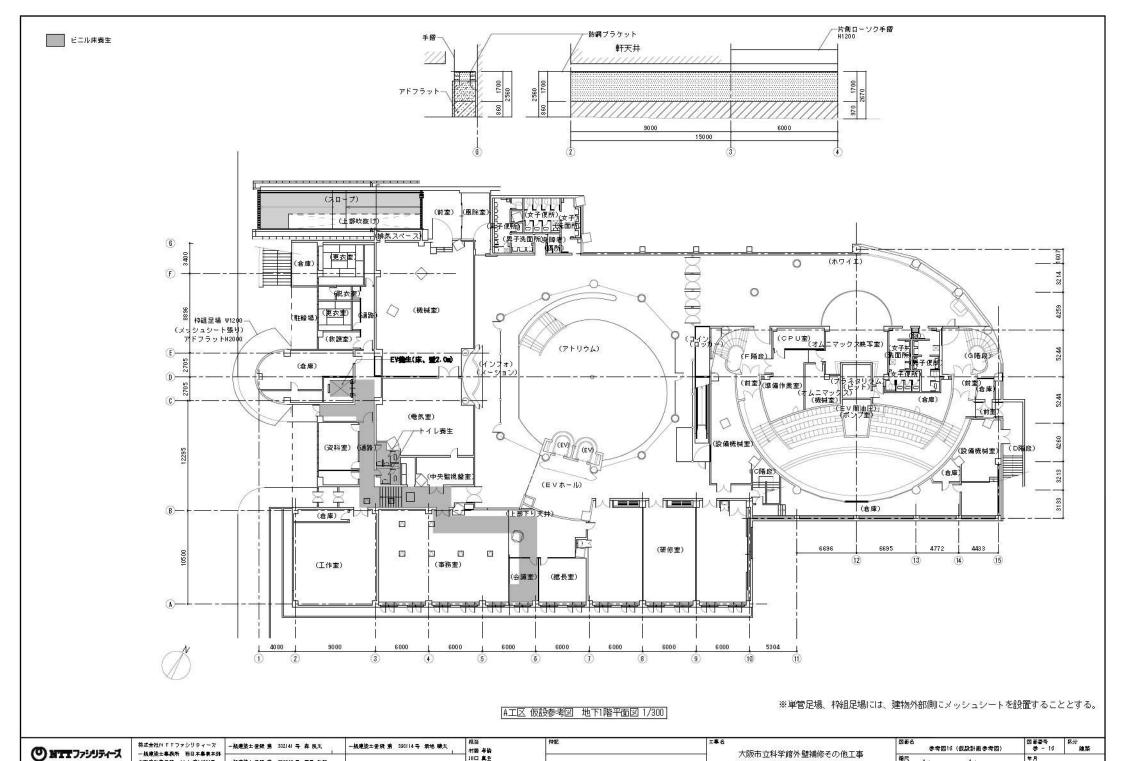








共通特記事項 ・工事施工に使用した進入経路、資材置き場等の作業所内は現況に復旧 すること. ・本工事により破損が生じた箇所は、在来に倣い補修すること。 **電流・ケーブルへの義生について、交流の電圧が600V以下である** 電路を養生するに当たっては耐電圧性能として3,000Vの電圧に (医科大学前通線) 1分間耐えることができる絶縁物(ビニールシート、保護管等)にて 養生を行うこと。 **電流・ケーブルへの養生について、電圧が3,500Vを超え7,000V以下で** ある電路を養生するに当たっては、耐電圧性能として20,000Vの電圧に 1分間耐えることができる絶縁物(ビニールシート・保護管等)にて 養生を行うこと。 施工者は、腕章、ヘルメット、名礼等を着用し、工事施工者であること を明確にすること。 施設の日常活動等運営上、支障なき様十分配慮のこと工程表を作成し、 施設管理者及び、工事監理者と協議の上施工を行うこと。 廃棄物は関係法令を遵守し適切に処理すること。又、敷地内では一切 廉棄処分を処理してはならない。 警察、消防、労働基準監督署等関係各所との綿密に事前協議を実施し、 (国立国際美術館) 必要な手続き完了後に工事を行うこと。 ゴンドラ置場 【館内及び建物周囲の利用について】 点字ブロック■300 キャスターゲー W2700×H2000 ・工事用トイレの利用は、施設管理者の承諾を得た上、決定すること。 移設復旧(14m) 正面エントランス出入口 仮設事務所の場所は、施設管理者の承諾を得た上、決定すること。 (一般出入口) 221.799 資機材経路については、施設管理者の承諾を得た上で、決定すること。 敷地内及び周辺、車内、仮設事務所内は全面禁煙とする。 工事期間中は必要に応じて警備員を待機させ、工事車両等の通行に 十分智意し、利用者に安全を確保するように努めること。 資材搬出入に伴い場内清掃を行い、万一公道を汚した場合は速やかに 済掃すること。 <(国立国際美術館入口) 資材搬出入時及び積み下ろし時は安全管理に努めること。 館内事務室及び会議室を通り南面の室外機置場への通行可能な時間帯 交通誘導員 は、開館前の8時~9時までもしくは、開館後の17時~18時と限定する。 館内を通り、東側ドライエリアへの通行可能な時間帯は、開館前の 点字ブロック■300 8時~9時までもしくは、閉館後の17時~18時と限定する。 移設·復旧(14m) 北側及び東側の敷地について、国立国際美術館が所有する敷地を越境 して足場等の仮設を設置する場合や高所作業車等を通行させる場合、 施設管理者及び関係者と調整の上、承諾を得て工事を実施すること。 敷地西側の駐車場の利用は、原則体館日のみとし、施設管理者の承諾 大阪市立科学館 を得た上、決定すること。 高所作業車 仮囲いの設置について、西側 1 Fスロープ部については車いす利用者へ 十分に配慮した計画とすること。また、西側の駐車場側面の歩道に ついては南北通り抜けられるように歩行者へ配慮した計画とすること。 そして、北西部のガラス底周囲については通路幅が狭いため、歩行者 へ配慮した計画とすること。 (職員用通用由) ▷ 仮設設置エリアに点字ブロックがある場合は、点字ブロックを移設し 適切なルートを構築すること。 足場設置エリアに植栽がある場合は、施設管理者及び、工事監理者と 協議の上、剪定可否を確認すること。 トラック 場内はトイレ、場外は仮設設置に伴う使用箇所の清掃を行うこと。 【仮設工事について】 ・仮設工事をするにあたっては、第三者への安全に十分配慮した計画を - バリカー4ヵ所 取外し、再取付 (揚重機稼働日) 仮設事務所 行い、所管官公庁への手続きも遅延なく行うこと。又、その際に費用 は受注者の負担とする。 受注者はその責任において、工事による危険防止に努めること。 休館日にあっても行事等で作業に制限がかかる場合があるので、事前に 施設管理者と工程実施計画を協議すること。 キャスターゲート W2700×H2000 本工事は工事範囲外の施設を運営しながら行う工事であるため、利用 款鉄板(84mi) 者には最新の注意を払って工事を行うこと。 防水面に足場等を設置する場合は、防水層への傷等を防ぐために通切 な養生をすること。 高所等に取り付ける資機材は、落下の危険性に特に注意すること。 (中之島線) ・入口付近のゴンドラ作業は休館日のみとし、下部に施設利用者が立ち 入らないように区画及び警備員を配置し、安全に主分配慮すること。 作業終了後にゴンドラ等を敷地内に仮置きする場合は、施設利用者の 不意な立入等を配慮して区画することとし、置場等の詳細については 施設管理者と協議すること。 [その他] 本仮設計画図は入札参加者の適正かつ迅速な見積に資するための参考 駐車場 出入口 資料であり、工事請負契約上の拘束力を生じるものではない。 受注者は施工条件、敷地状況を十分に考慮して、仮設、施工方法。 安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者 : 床養生(プラベニ+ビニル養生) 共通 仮設参考図 S=1/500 の責任において定めるものとする。 西側通用ロのフロアヒンジ調整及び下枠改修に伴うセキュリティ方法に ついては、施設管理者と協議し決定すること。 図面書号 株式会社N T T ファシリティーズ - 振建造士登録 第 332141 号 春 民太 - 級建築士全景 第 393114号 新地 職太 参考图15(仮設計画参考图) # - 15 14 SS 付居 李铪 (O) MTTファシリティーズ 一級建築士事務所 西日本事業本部 大阪市立科学館外壁補修その他工事 川口重年 接尺 大阪府知事金操 (ト) 第14884号 ─級建築士登録 第 356842 号 里見 和則 管理基金 4HH-12-0LD-1 2025年 1月



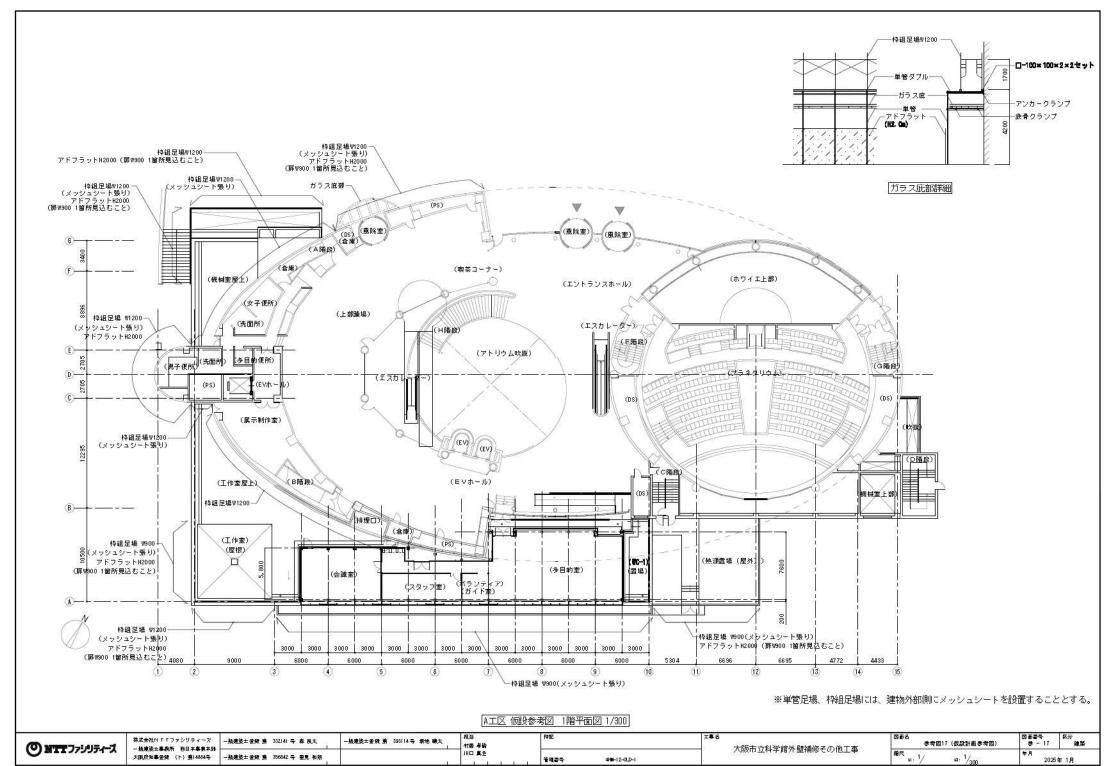
管理基金

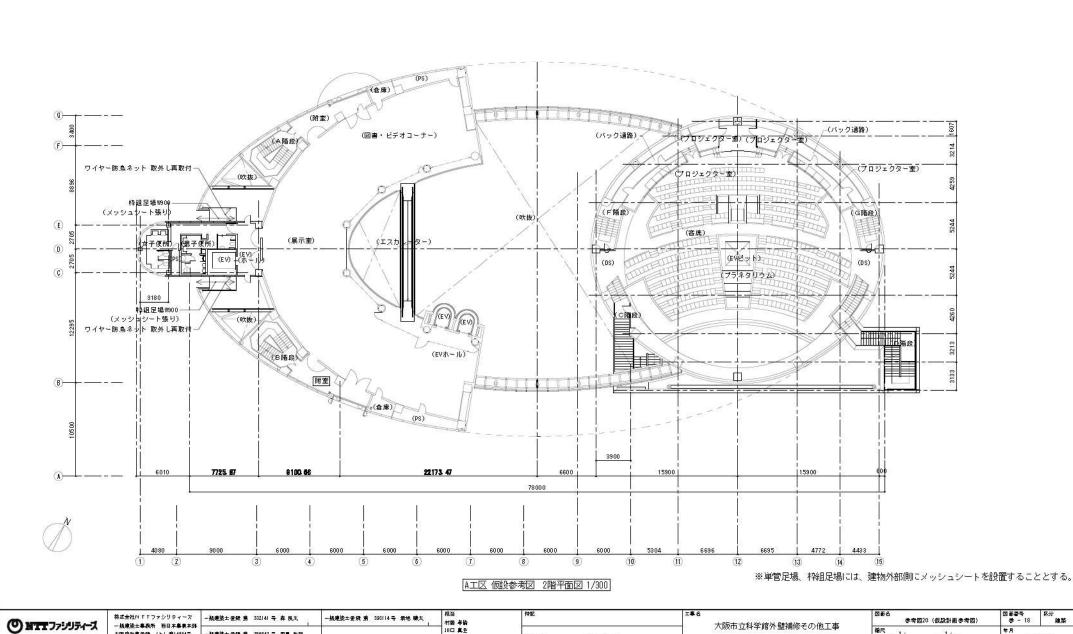
4HH-12-0LD-1

大阪府知事金操 (ト) 第14884号

- 抵建築士登録 第 356842 号 里見 和則

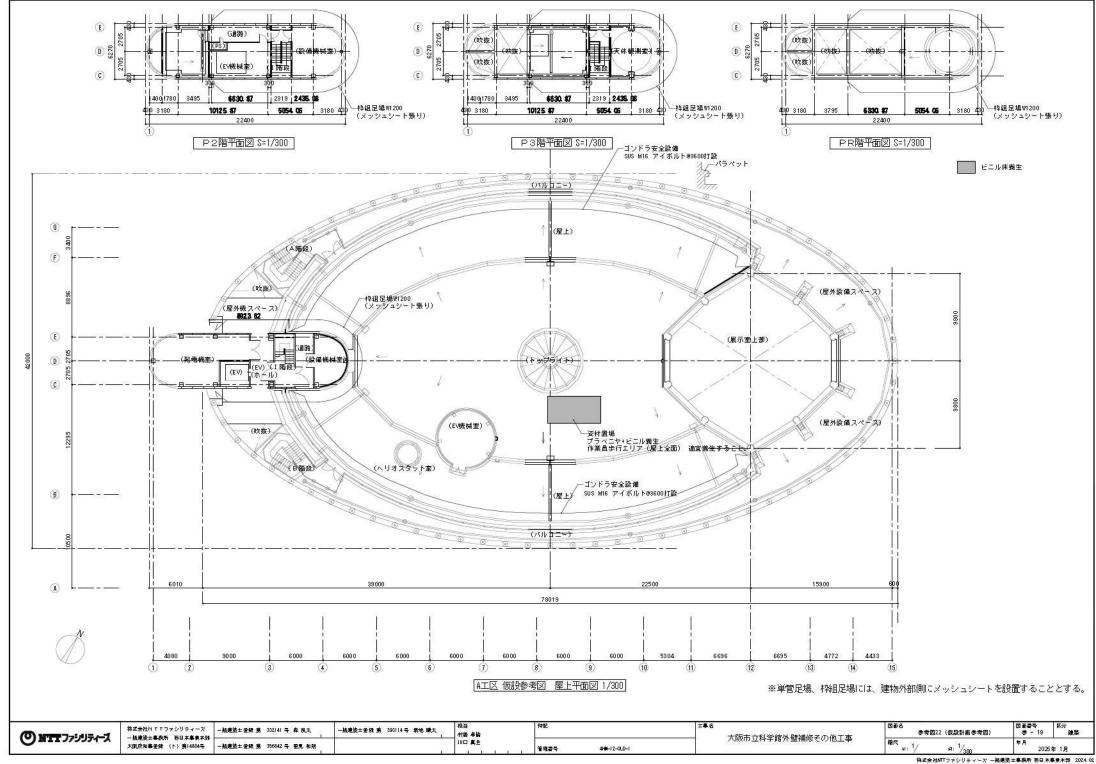
播尺





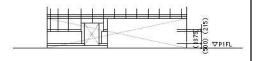
大阪府知事登録 (ト) 第14884号

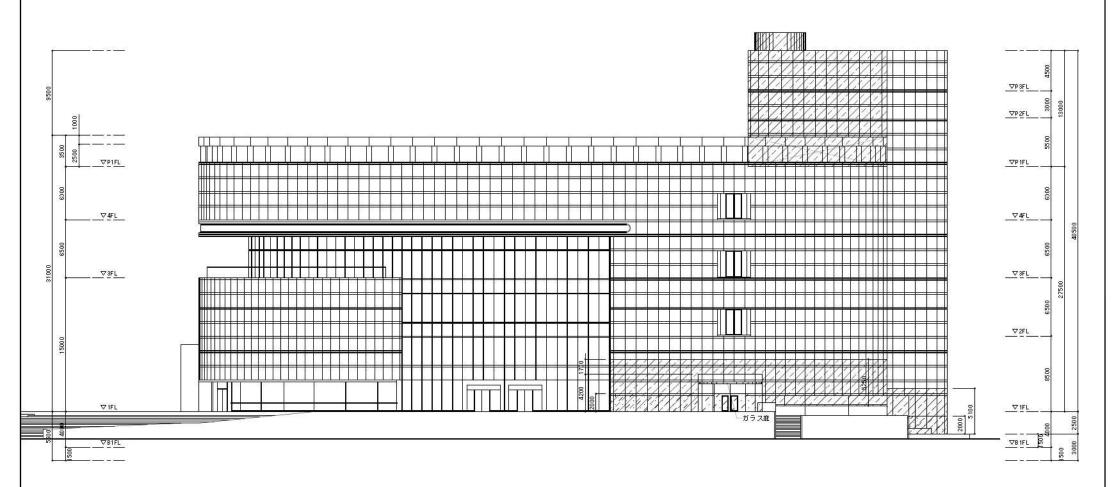
- 級建築±金殊 第 356842 号 里見 和期





1	タイル下地浮き	ゴンドラ作業	AI区	0	枚	BI区	30	枚
1	× 1 // 1 / 1 / 1 / 2 / 3	足場作業	AIK	23 16	枚	BI区	355	枚
-28	by 2 of the LL beauty	ゴンドラ作業	AIE	366	枚	BI区	44	枚
П	タイル陶片浮き	足場作業	AI区	0	枚	BI区	0	枚
-	as a Cobildo Art /h	ゴンドラ作業	AIK	60	枚	BI区	45	枚
11	ひび割れ補修	足場作業	AIK	755	枚	BIK	283	枚



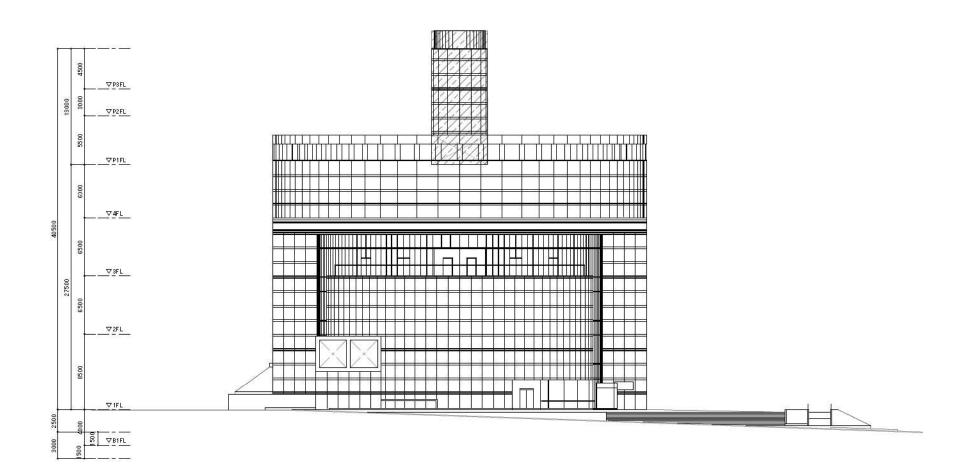


A工区 仮設参考図 北立面図 1/300



,	タイル下地浮き	ゴンドラ作業	AI区	0	枚	BI区	30	枚
1	× 1 // 1 / 1 / 1 / 2 / 3	足場作業	AIK	23 16	枚	BI区	355	枚
п	An of all the LL No. of	ゴンドラ作業	AIK	366	枚	BI区	44	枚
н	タイル陶片浮き	足場作業	AI区	0	枚	BI区	0	枚
-	as a Cobildo Art /h	ゴンドラ作業	AIK	60	枚	BI区	45	枚
71	ハ ひび割れ補修	足場作業	AIK	755	枚	BIK	283	枚





A工区 仮設参考図 東立面図 1/300

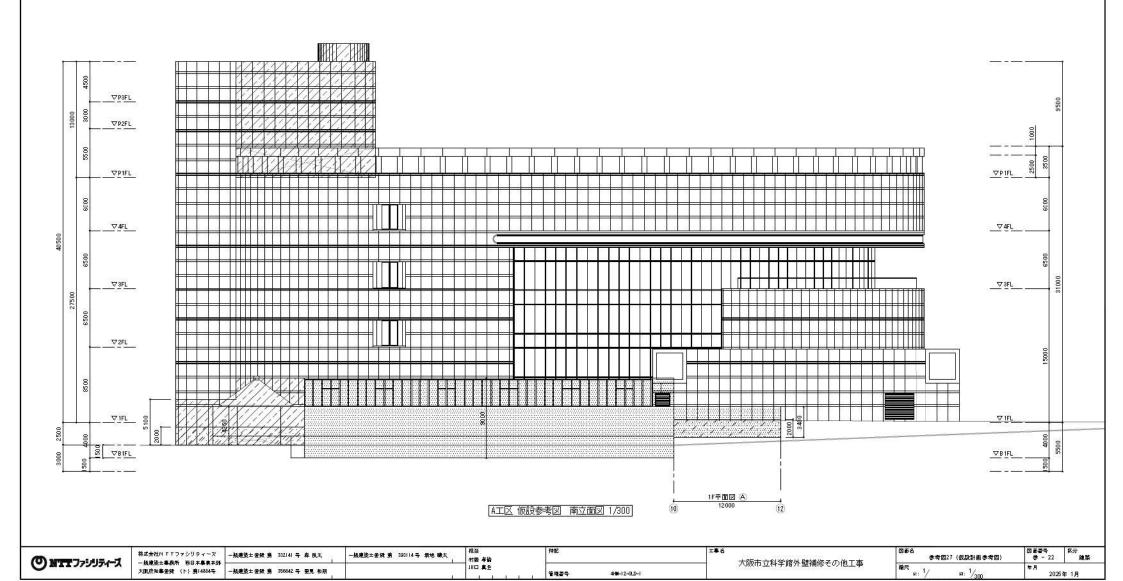
			The state of the s	- Andrews	HEAD!	Westwood	Part and	#30000 PM
(の) NTT ファシリティーズ	株式会社N T T ファシリティーズ - 級建築士事務所 西日本事業本録	-振建築±金鉄 第 332 4 号 森 民太	- 長建築±金景 第 393114号 新地 職太	担当 付居 李論	5169	I 事名 大阪市立科学館外壁補修その他工事	図面名 参考図25(仮設計画参考図)	図面響号 区分 参 - 21 建築
GHII)/9994-X	大阪府知事全景 (ト) 第14884号	-級建築±金鉄 第 356842 号 里見 和朋		川口真生	管理基等 4/新-12-0LD-1	八阪中立科子師が聖柵修その他工事	糖尺 at: 1/ sa: 1/3m	年月 2025年 1月

枠組足場 W900 (メッシュシート張り)

枠組足場 W1200

| アドフラット H2000

25	5 / U T II W +	ゴンドラ作業	AI区	0	枚	BI区	30	#3
1	タイル下地浮き	足場作業	AIE	2316	枚	BI区	355	#3
	タイル陶片浮き	ゴンドラ作業	AIE	366	枚	BI区	44	#3
П		足場作業	AIK	0	枚	BI区	0	#3
1000	as a Cabilda Ant day	ゴンドラ作業	AIE	60	枚	BI区	45	#3
11	ひび割れ補修	足場作業	AIE	755	枚	BI区	283	#3



管理基础

4HH-12-0LD-1

枠組足場 W900 (メッシュシート張り)

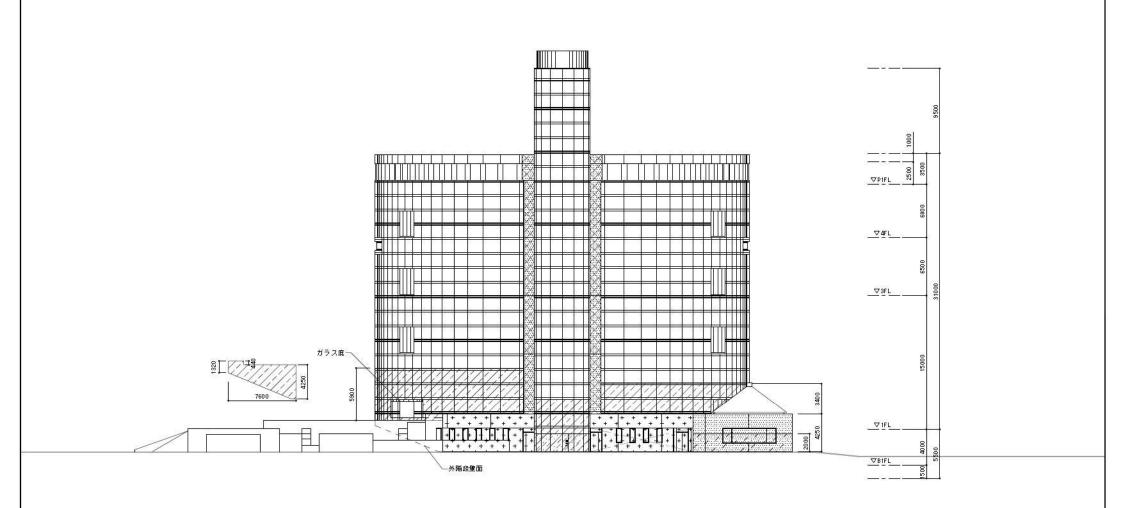
枠組足場 W1200 (メッシュシート張り)

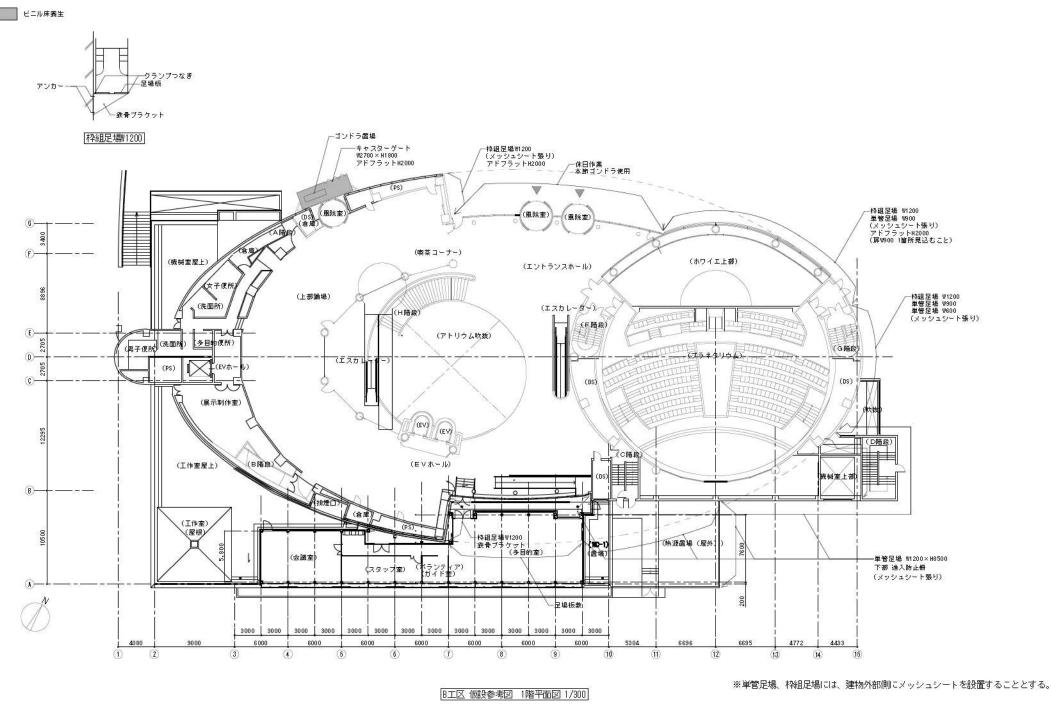
| アドフラット H2000

ワイヤー防島ネット アンカー固定@1000 取外し取付

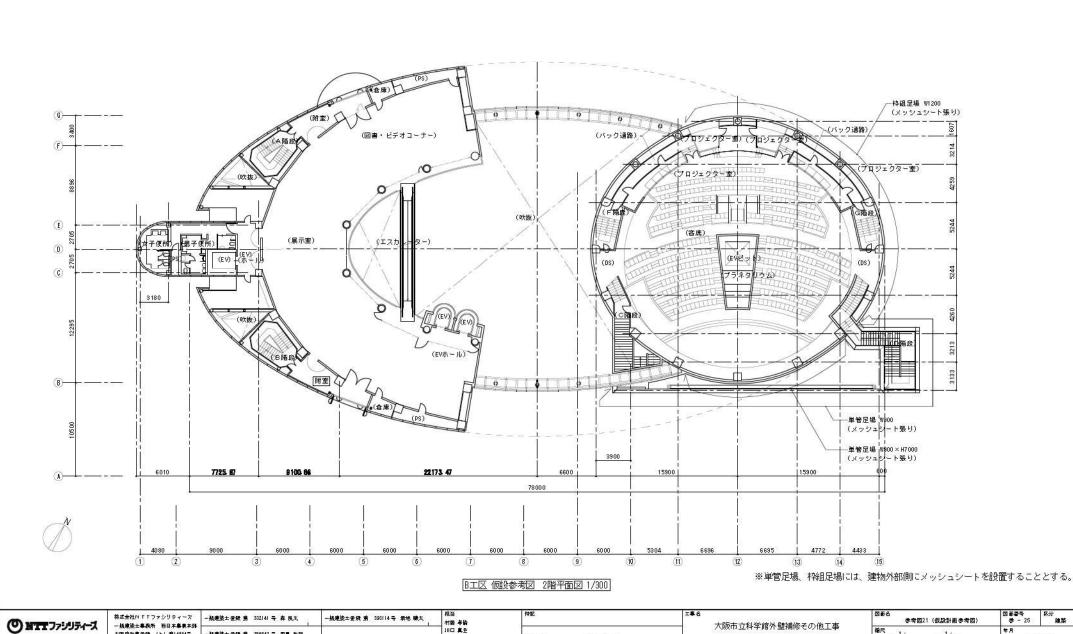
高所作業車、立ち馬 (底側面) (出入口付近)

1	タイル下地浮き	ゴンドラ作業	AI区	0 枚	BI区	30 村久
1	ダイルド地分き	足場作業	AIK	2316 村久	BI区	355 村久
_	A Zul Ballanda	ゴンドラ作業	AIK	366 村久	BI区	44 枚
П	タイル陶片浮き	足場作業	AI区	0 枚	BI区	0 村女
	as a Constant Art Art	ゴンドラ作業	AIK	60 村久	BI区	45 枚
11	1 ひび割れ補修	足場作業	AIE	755 校	BIK	283 村





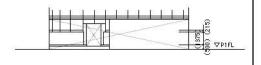
(の) NTT ファシリティーズ	株式会社N T T ファシリティーズ 一板建築士事務所 西日本事業本部	-振建築±金鉄 第 332 4 号 春 艮太	一級建築士全景 第 393114号 新地 職太	担当 付居 李論	516)	工事名 大阪市立科学館外壁補修その他工事	図面名 参考図18(仮設計画参考図)	図面 番号 区分 参 - 24 建築
G MII J/JJJA-X	大阪府知事金操(卜)第14884号	一級建築主金景 第 356842 号 里見 和則		川口真生	管理基号 4HM-12-0LD-1	人際市立科子語が堅備形をつ他工事	新: 1/ 33: 1/300	年月 2025年 1月

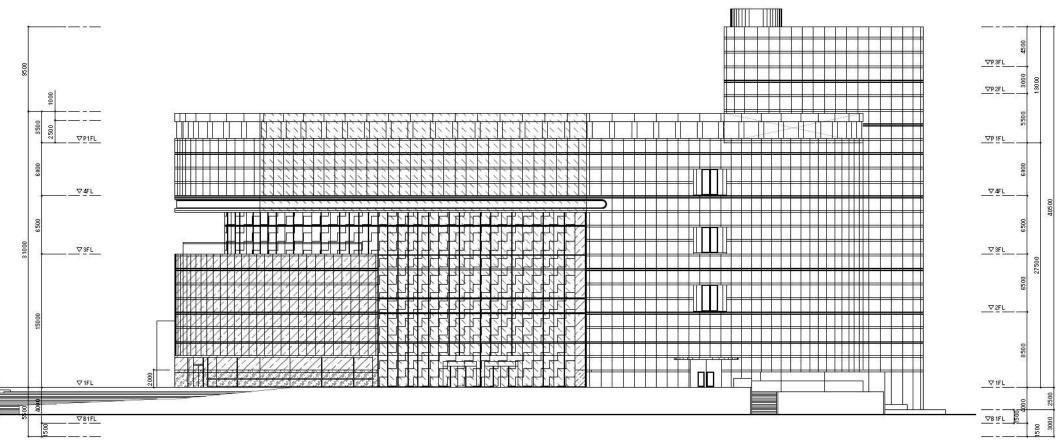


大阪府知事登録 (ト) 第14884号

─級建築士登録 第 356842 号 里見 和朋

単管足場 W900 (メッシュシート張り) ゴンドラ作業 AI区 0 枚 BI区 30 枚 イ タイル下地浮き 足場作業 AI区 2316 枚 BI区 枠組足場 W1200 (メッシュシート張り) AI区 366 校 BI区 ゴンドラ作業 ロ タイル陶片浮き 足場作業 AI区 0 枚 BI区 | アドフラット H2000 ゴンドラ作業 AI区 60 枚 BI区 ハ ひび割れ補修 足場作業 AI区 755 枚 BI区 283 枚 休日作業 | 本設ゴンドラ使用





355 ‡女

44 校

0 枚

45 校

B工区 仮設参考図 北立面図 1/300

(A) seminaria (1)	株式会社N TTファシリティーズ	-振建築±登録 第 332 4 号 森 民太	- 摄建築±金景 第 393114号 新地 職太	担当 付居 李贄	5161	T#8	図面名 参考図24(仮設計画参考図)	図面響号 区分 参 - 26 連聚
② MTT ファシリティーズ	一級建築士事務所 西日本事業本計 大阪府知事登録 (ト) 第14884号	一級建築士登録 第 356842 号 里見 和別		川口真生	管理書号 4HM-12-OLD-1	大阪市立科学館外壁補修その他工事	新尺 1/ sa: 1/300	年月 2025年 1月

単管足場 W600 (メッシュシート張り)

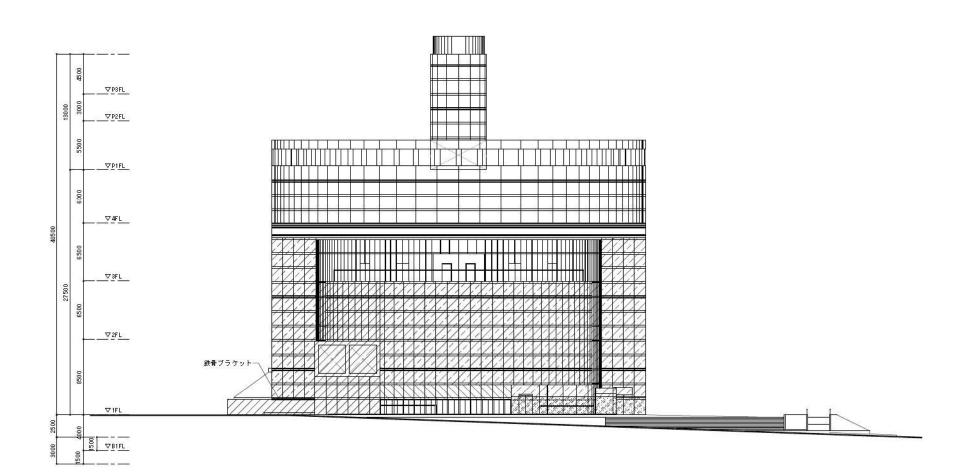
単管足場 W900 (メッシュシート張り) 単管足場 W1200 (メッシュシート張り)

枠組足場 W1200 (メッシュシート張り)

アドフラット H2000

	5 / I T I W #	ゴンドラ作業	AI区	0	枚	BI区	30	枚
1	タイル下地浮き	足場作業	AIK	23 16	枚	BI区	355	枚
_	タイル陶片浮き	ゴンドラ作業	AIK	366	枚	BI区	44	枚
П		足場作業	AI区	0	枚	BI区	0	枚
	21 25 miles 4# /#	ゴンドラ作業	AIK	60	枚	BI区	45	枚
11	ひび割れ補修	足場作業	AIK	755	枚	BI区	283	枚

	-		1	0	
	1			- 	
1000		-		37.	∇P1
-				<u> </u>	- VP



B工区 仮設参考図 東立面図 1/300

	24		20	Control and	VICTORY.	170 - 177 C P	1364,997,000	MACAWARAN NA MACAMA
(の) NTT ファシリティーズ	株式会社N T T ファシリティース 一級建築士事務所 西日本事業本部		- 振建築士全景 第 393114号 新地 職太	担当 付居 李論	516	工事名 大阪市立科学館外壁補修その他工事	図面名 参考図26(仮設計画参考図)	図面音号 区分 建築
GHILDISSIA	大阪府知事金録 (ト) 第14884号	一級建築主金號 第 356842 号 里見 和朋		川口真生	管理書号 4巻-12-00.0-1	へ MXII 立行子路が 室間形での他工事	新 尺 1/ 新: 1/000	年月 2025年 1月

単管足場 W900 (メッシュシート張り)

枠組足場 W1200 (メッシュシート張り)

株式会社NTTファシリティーズ

一級建造士事務所 西日本事業本部

大阪府知事登録 (ト) 第14884号

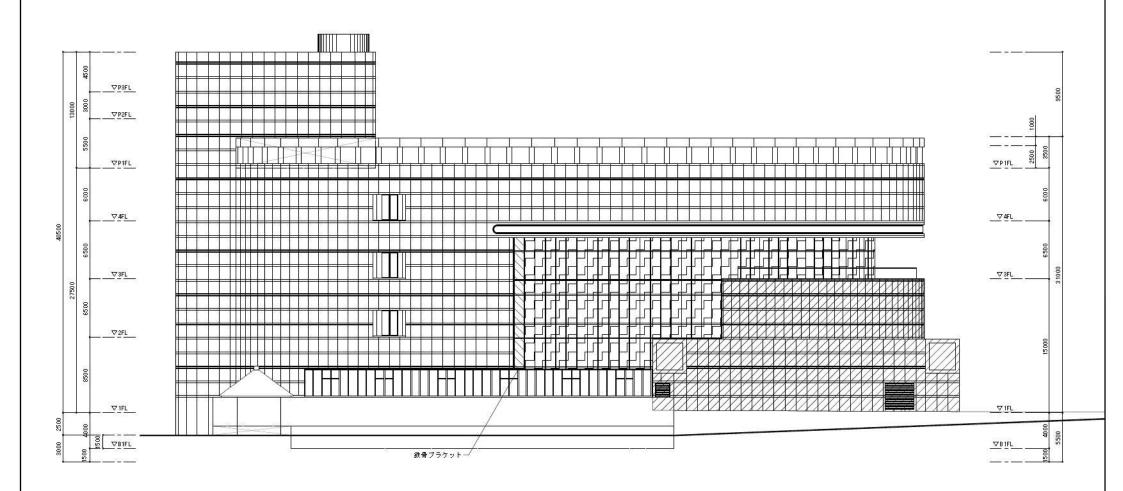
▼ NTTファシリティーズ

─級建築士登録 第 332141 号 森 艮太

─級建築士登録 第 356842 号 里見 和朋

本設ゴンドラ使用

,	5 / I T II W +	ゴンドラ作業	AI区	0	枚	BI区	30	枚
1	タイル下地浮き	足場作業	AIK	23 16	枚	BI区	355	枚
_	A CIT BELLING I	ゴンドラ作業	AIK	366	枚	BI区	44	枚
П	タイル陶片浮き	足場作業	AI区	0	枚	BI区	0	枚
-	as a Cobildo Art /h	ゴンドラ作業	AIK	60	枚	BI区	45	枚
71	ひび割れ補修	足場作業	AIK	755	枚	BIK	283	枚



B工区 仮設参考図 南立面図 1/300

管理基础

4HH-12-0LD-1

- 抵建築士全景 第 393114 号 新地 職太

付居 寿論 川口 真主 参考图28(仮設計画参考图)

大阪市立科学館外壁補修その他工事

図 あ 基号 参 - 28

区分 建築

